
会 告 ・ 通 知

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます
<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku-tsuuchi.html>
(本会ホームページ→左側 MENU 上から3番目会告ページ入る)

————— 平成 24 年 12 月号会告・通知目次 —————

◇第一種研究会開催案内(平成24年12月5日～12月21日)	2
◇第二種研究会開催案内	27
◇2013年総合大会講演募集の御案内	31
◇講演会・講習会・学術研究集会等	
・東京支部 講演会「ビッグデータが拓く新しい情報通信の世界」	32
・東海支部 平成24年度第3回学生会講演会	32
平成24年度第3回一般講演会	32
平成24年度第4回学生会講演会	32
・北陸支部 北陸支部講演会「ネットワークセキュリティの概要」	32
・関西支部 電気四学会関西支部施設見学会「辰巳電子工業(株)新本社」	32
・有機デバイス実践ワークショップ	33
・本会が協賛等のもの	33
◇国際会議	35
◇受賞候補者募集等	36
◇求人欄	37
◇お知らせ	
・シニア会員申請登録は10月1日から開始しています!	39
・平成25年度個人会員会費の御請求を11月末にお送り致しました	39
・和文論文誌C随時公開開始のお知らせ	39
・平成24年12月号及び平成25年1月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	39
◇論文特集原稿募集	
・バイオメトリクス小特集(和文論文誌A)	40
・ワイドバンドシステム小特集(英文論文誌A)	40
・知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と応用技術論文特集(和文論文誌B)	41
・サステナブルな社会の実現に向けたネットワーク・システム技術小特集(英文論文誌B)	42
・情報通信分野における新しい情報ネットワーク科学の展開小特集(英文論文誌B)	43
・電子ディスプレイ小特集(英文論文誌C)	43
・情報ストレージのための最新要素技術小特集(英文論文誌C)	44
・ヒューマンコミュニケーション～価値ある生活環境構築のための情報技術～特集(和文論文誌D)	45
◇会誌DVD第2版「学会誌90年の歩み」購入申込みについて	47
◇IEICE Communications Express (ComEX) 投稿案内	48
♣各種証明, 閲覧の手数料について	34
♣複写される方へ	35
♣本会発行図書案内	
・[実践 通信ネットワークの信頼性評価技術——基礎からRを用いたプログラミングまで——]	38
・[光波工学の基礎]	46
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	36

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 24 年 12 月 5 日～12 月 21 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
思 考 と 言 語	8日(土)	9:05~18:30	早稲田大学・8号館	4
情 報 セ キ ュ リ テ イ	12日(水)	13:00~17:00	機械振興会館	5
応 用 音 響	13日(木)	13:00~17:00	国立情報学研究所	6
	14日(金)	9:30~15:20		
スマートインフォメディアシステム	13日(木)	10:00~17:15	日本大学・生産工学部・津田沼キャンパス	7
	14日(金)	10:00~11:50		
信 頼 性	14日(金)	10:00~11:40	機械振興会館	8
超 音 波	18日(火)	13:20~16:55	東京工業大学・すずかけ台キャンパス	10
非 線 形 問 題	17日(月)	13:00~17:05	福井市地域交流プラザ	19
	18日(火)	9:20~12:25		
技 術 と 社 会 ・ 倫 理	12日(水)	13:00~16:00	常翔学園大阪センター	20
安 全 性	20日(木)	13:00~17:00	京都高度技術研究所	21
情 報 理 論	11日(火)	14:30~17:45	別府湾ロイヤルホテル	27
12月休会の研究会；回路とシステム，VLSI設計技術，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，ITS，イメージ・メディア・クオリティ				

◎通信ソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
ア ン テ ナ ・ 伝 播	13日(木)	12:40~17:00	機械振興会館	5
宇 宙 ・ 航 行 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	14日(金)	13:30~17:10	日本工業大学・百年記念館	8
環 境 電 磁 工 学	14日(金)	9:00~17:15	岐阜大学・医学部	16
通 信 方 式 画 像 工 学	6日(木)	9:20~17:50	福井市地域交流プラザ	17
	7日(金)	9:15~16:15		
情 報 ネットワーク インターネットアーキテクチャ	13日(木)	13:30~19:05	広島市立大学	22
	14日(金)	8:30~16:35		
ネットワーシステム 無線通信システム	13日(木)	9:00~18:50	愛媛大学・城北キャンパス	23
	14日(金)	9:00~16:40		
今後の予定；電子通信エネルギー技術 (27ページ)				
12月休会の研究会；衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，コミュニケーションクオリティ，フォトリックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，モバイルマルチメディア通信，ソフトウェア無線，アドホックネットワーク，ユビキタス・センサネットワーク				

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日 時		会 場	告 頁
レ ー ザ ・ 量 子 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	13日(木)	9:30~17:00	機械振興会館	6
マ イ ク ロ 波	13日(木)	13:30~17:20	山梨大学・甲府キャンパス	7
	14日(金)	9:00~15:00		
集 積 回 路	17日(月)	9:30~18:00	東京工業大学・大岡山キャンパス・東工大 蔵前会館	9
	18日(火)	9:30~16:35		
機 構 デ バ イ ス	21日(金)	13:00~16:35	機械振興会館	12
光 エ レ ク ト ロ ニ ク ス	21日(金)	13:00~17:35	機械振興会館	13
電 子 デ バ イ ス	17日(月)	13:00~17:25	東北大学・電気通信研究所・片平北キャン パス	14
	18日(火)	9:00~15:40		
シ リ コ ン 材 料 ・ デ バ イ ス	7日(金)	10:00~17:00	京都大学・桂キャンパス	19

磁気記録・情報ストレージ	13日(木) 14日(金)	13:30~17:05 9:30~15:00	愛媛大学・総合情報メディアセンター	25
有機エレクトロニクス	5日(水)	12:30~17:40	沖縄県青年会館	26
12月休会の研究会；超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子部品・材料，電磁界理論，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトニクス				

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日時		会場	告頁
クラウドネットワークロボット	7日(金)	13:30~16:40	筑波大学・筑波キャンパス	4
言語理解とコミュニケーション	19日(水) 20日(木)	10:20~17:35 10:00~11:30	東京工業大学・大岡山キャンパス	11
音 声	20日(木) 21日(金)	10:05~17:40 9:00~17:20	東京工業大学・大岡山キャンパス	11
パターン認識・メディア理解 ヒューマン情報処理	13日(木) 14日(金)	11:00~17:00 10:00~16:15	山形大学・工学部・米沢キャンパス	13
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	12日(水)	9:00~17:55	豊橋技術科学大学	15
画 像 工 学 通 信 方 式	6日(木) 7日(金)	9:20~17:50 9:15~16:15	福井市地域交流プラザ	17
ディペンダブルコンピューティング	14日(金)	13:45~17:30	アオッサ福井	18
デ ー タ 工 学	12日(水) 13日(木)	10:00~17:20 10:00~17:30	キャンパスプラザ京都	20
コンピュテーション	10日(月)	9:30~17:50	九州大学・伊都キャンパス	26
12月休会の研究会；ライフインテリジェンスとオフィス情報システム，コンピュータシステム，人工知能と知識処理，ソフトウェアサイエンス，知能ソフトウェア工学，教育工学，医用画像，ソフトウェアインタプライズモデリング，リコンフィギャラブルシステム，情報通信システムセキュリティ，情報論的学習理論と機械学習，マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日時		会場	告頁
福祉情報工学	6日(木)	10:00~16:45	産業技術総合研究所・臨海副都心センター	4
ヒューマン情報処理 パターン認識・メディア理解	13日(木) 14日(金)	11:00~17:00 10:00~16:15	山形大学・工学部・米沢キャンパス	13
今後の予定；ヒューマンコミュニケーション基礎 (27ページ)				
12月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，マルチメディア・仮想環境基礎				

◇第二種研究会開催案内

短距離無線通信研究会 (SRW)	12月10日(月)	富士通・川崎工場本館	27
第4回情報ネットワーク科学研究会	12月14日(金)	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	28
電子通信エネルギー技術研究会 (第二種)	12月14日(金)	台東区生涯学習センター	28
高信頼制御通信研究会 (RRRC)	1月11日(金)	横浜国立大学・MICTセンター	28
第26回多値論理とその応用研究会	1月12日(土)，13日(日)	上智大学・四谷キャンパス	29
第18回ネットワークソフトウェア研究会	1月18日(金)	KDDI 研究所	30

★福祉情報工学研究会 (WIT)

専門委員長 大倉典子 副委員長 井野秀一
幹事 縄手雅彦・渡辺寛望・若月大輔
幹事補佐 酒向慎司・和田親宗・前田義信

日時 12月6日(木) 10:00~16:45

会場 産業技術総合研究所臨海副都心センター(江東区青海2-3-26。新交通ゆりかもめ:テレコムセンター駅下車徒歩約5分。または東京臨海高速鉄道りんかい線:東京レポート駅下車徒歩約15分。http://unit.aist.go.jp/waterfront/access/index.html TEL [093] 695-6048 和田親宗(九工大))

議題 福祉情報工学一般

1. 視覚障害者向けタッチパネル神経衰弱ゲームにおける指操作方法の評価
○浦島卓也・碓井啓二郎(上智大)・福島裕介(NICT)・矢入郁子(上智大)
2. クラウドソーシングを活用した効率良い字幕作成手法
○長妻令子(日本IBM)・広瀬洋子・柳沼良知(放送大)・福田健太郎(日本IBM)
3. ARの仕組みを利用した店舗内ナビゲーションシステムの実装と評価
○本田智史(専修大)・高橋伊久夫(アーク情報システム)・吉田享子(専修大)
4. 非言語読み取りスキルからの自閉症スペクトラム指数の測定
○田中宏季・サクリアニ・サクティ・グラム・ニュービグ・戸田智基・中村 哲(奈良先端大)

午後

5. 手話単語認識のための動作の多様性に応じたHMM生成
○松尾直志・白井良明・島田伸敬(立命館大)
6. ボタン入力インタフェースにおける注視点の動き分析
○前田義信・飯島淳彦(新潟大)
7. Wii ボードを用いたバランストレーニングゲームの開発と評価
○岡田衣理子・大須賀美恵子(阪工大)
8. 同心円構造の温・冷刺激装置を用いた触覚の錯覚現象に関する研究
○日高聡太・上見憲弘(大分大)
9. スマートフォンを用いたCPRにおける胸骨圧迫動作の推定と教示
○兩宮智浩(NTT)・前田太郎(阪大)
10. 視覚障害者補助を目的とした手持型音発生装置による障害物知覚の評価
○田北健人・上見憲弘(大分大)
11. TECHTILE Toolkit を利用した視覚障害者のためのインタラクティブシステムの開発
伊藤孝浩・○高橋信道・大倉典子(芝浦工大)

☆WIT 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月 名工大 [未定]

3月11日(月), 12日(火) 福岡工大 [1月15日(火)]
テーマ:メディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び一般(食メディア研究会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html

【問合先】

和田親宗(九工大)
TEL & FAX [093] 695-6048
E-mail: wada@life.kyutech.ac.jp

★クラウドネットワークロボット研究会 (CNR)

専門委員長 安西祐一郎 副委員長 萩田紀博・土井美和子
幹事 今井倫太・宮下敬宏
幹事補佐 富田仁志・杉山博史・中尾敏康

日時 12月7日(金) 13:30~16:40

会場 筑波大学筑波キャンパス第三エリア 3B210(つくば市天王台1-1-1。つくばエクスプレス:秋葉原駅から快速45分で行く駅下車後, バス。http://www.tsukuba.ac.jp/access/tsukuba_access.html)

議題 災害対応クラウドネットワークロボット・その他一般

1. [招待講演] デバイスのつながりが支えるこれからの世界
風間博之(NTT データ)
2. [特別講演] ネットワークロボットの今昔 萩田紀博(ATR)
3. 移動方向背景ヒストグラムに基づく動きによる不鮮明画像からの背景外動体検出—CNR 応用検討—
○田崎 豪・小林優佳・山本大介・土井美和子(東芝)
4. ロボット空間台帳のユーザ向けアプリケーションへの活用
○寺本やえみ・丸山貴志子・富田仁志(日立)
5. 公道における自動車内 Wi-Fi 通信が相互に与える影響の検討
○内海 章・野間春生・多田昌裕・萩田紀博・宇野雅博・小林 聖(ATR)

☆CNR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月18日(月) 機械振興会館 [12月10日(月)] テーマ:クラウドネットワークロボットサービス及びその他一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmouushikomi.html

★思考と言語研究会 (TL)

専門委員長 阪井和男 副委員長 近藤公久・佐良木 昌
幹事 黒田 航・久保村千明 幹事補佐 横野 光・乾 孝司

日時 12月8日(土) 9:05~18:30

会場 早稲田大学8号館303-305(新宿区西早稲田1-6-1。山手線:高田馬場駅から徒歩20分。西武新宿線:高田馬場駅から徒歩20分。地下鉄東京メトロ東西線:早稲田駅から徒歩5分。http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html)

議題 言語と学習・場の共創・意味の創発

1. ことばの意味の学習と正規化—ことばを正すために—
得丸公明(システムエンジニア)
2. 初期語彙発達の急増期における統計的性質と特徴量抽出
○南 泰浩・小林哲生(NTT)
3. 短文投稿 Web サービス中の談話記録を用いた回答知識の抽出
○中渡瀬秀一・大山敬三(NII)
4. SNS を利用した初等教育における情報教育の可能性—クラスという「場」を活用した情報教育—
○平松裕子(中大)・伊藤 篤(KDDI 研)・島田文江(上巻分方小)・佐藤文博(中大)
5. 日本語書き言葉均衡コーパスの頻度情報に基づく日本語論文・レポートライティング指導の試み
○堀 一成・坂尻彰宏(阪大)
6. 直示的でないことばと場との関わり—現代日本語(共通語)の場合—
定延利之(神戸大)

午後

7. コーパスに基づく知覚動詞の研究—高校生の使用実態と教科

- 書の関係— 井上 聡 (神戸大)
8. アジア圏英語学習者が作文中で使用した法補助詞の頻度分析—学習者コーパスに基づく計量的分析— 陳 曄 (神戸大)
9. 日本人初級学習者のための英語重要前置詞の抽出—母語話者コーパスの計量的分析から— 松下英利香 (神戸大)
10. 中国人学習者向けの日本語教科書の語彙調査—現代日本語コーパスとの比較— 李 楓 (神戸大)
11. [招待講演] ディスカッションマイニング—対面式会議での議論からの知識発見— 長尾 確 (名大)
12. コロケーション処理の影響要因に関する研究 李 文平 (名大)
13. 第二言語習得における英語の自他交替とプリエンションの効果 ○八木岳彦・鈴木孝明 (京都産大)
14. 「単位情報」順に処理できない「2 単位情報文」の変換について 岩垣守彦
15. 熟達度、ワーキングメモリ容量、タスクが日本人英語学習者の文章理解に及ぼす影響—眼球運動を指標とした心理言語学実験による検討— ○榎原啓子・横川博一 (神戸大)
16. 日本人英語学習者の一時的構造曖昧文の理解における有生性・動詞の形態統語情報の利用に熟達度・ワーキングメモリ容量が及ぼす影響—眼球運動測定実験による心理言語学的検討— ○鳴海智之・横川博一 (神戸大)

◆早稲田大学総合研究機構情報教育研究所共催

【問合せ先】

久保村千明 (山野美容芸術短大)
E-mail : ckubomura@yamano.ac.jp

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 松本 勉 副委員長 田中俊昭・櫻井幸一
幹事 四方順司・伊豆哲也 幹事補佐 岩田 哲

日時 12月12日(水) 13:00~17:00
会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

- マルコフ過程を用いた安全かつ入力容易なパスワード生成法に関する考察 ○玉井拓人・稲葉宏幸 (京都工繊大)
- 否定的な評価を考慮した秘匿性を持つ評価システムの拡張 ○野村智也・中西 透・渡邊 寛・船曳信生 (岡山大)
- CANにおける不正送信阻止方式の実装と評価 ○畑 正人・田邊正人・吉岡克成・松本 勉 (横浜国大)
- ベアリング計算や楕円スカラー倍計算に適した準同型写像を持つ楕円曲線の生成について ○金山直樹・岡本栄司・齋藤和孝 (筑波大)
- DPA Contest v3で用いたYNUの消費電力波形取得技術 松本 勉・岸川 剛・大野 仁・土屋 遊・齋藤翔平 (横浜国大)・佐々木明彦 (森田テック)・○遠山 毅 (横浜国大)
- 国際会議CRYPTO2012報告 盛志合帆 (NICT)
- [招待講演] Breaking and Repairing GCM Security Proofs (from CRYPTO 2012) ○岩田 哲・大橋佳祐 (名大)・峯松一彦 (NEC)

8. [招待講演] On the Impossibility of Constructing Efficient Key Encapsulation and Programmable Hash Functions in Prime Order Groups Goichiro Hanaoka・

○Takahiro Matsuda (AIST)・Jacob Schuldt (RHUL)

☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月7日(木), 8日(金) 関西学院大大阪梅田キャンパス [1月14日(月)] テーマ: IT・ISEC・WBS 合同研究会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい.
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

岩田 哲 (名大)
TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723
E-mail : isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 宇野 亨 副委員長 菊間信良
幹事 石井 望・高橋 徹 幹事補佐 道下尚文

日時 12月13日(木) 12:40~17:00

会場 機械振興会館地下3階研修1号室

議題

- 部分的に内円を短絡したパッチアンテナを用いた2周波開口共用パッチアンテナの実験検証 ○後藤 準・山口 聡・高橋 徹・小西善彦 (三菱電機)
- 多層基板を用いた八木・宇田構造マイクロストリップアンテナの数値解析 ○鈴木勇斗・本間尚樹 (岩手大)・森沢茂紀 (RF TestLab)
- J型折返しモノポールアンテナの多共振化の検討 ○小林拓輝・グエン トウワン ハン・森下 久 (防衛大)・小柳芳雄 (パソニックモバイルコミュニケーションズ)
- 可搬デジタルテレビの保持角度と放送到来波偏波がMRCアレー受信感度特性に与える相互影響 ○山崎 誠・本田和博・小川晃一 (富山大)
- 小形MIMOアンテナの伝送容量評価のための相関, 不等電力及びSNRに関する多変量回帰分析 ○北村毅史・本田和博・小川晃一 (富山大)

喜連川隆顧問追悼講演会

- [特別講演] 喜連川さんと道連れの旅を語る (口頭発表) 池上文夫 (京大/拓殖大 名誉教授)
- [特別講演] 喜連川さんの業績 (口頭発表) 片木孝至 (三菱電機)

◆IEEE AP-S Japan Chapter (Chair長 敬三) 共催

◎16:20~17:00にIEEE AP-S Japan Chapter 2011年度総会としてIEEE AP-S Japan Chapter 2012年度活動報告(口頭発表 Chair長 敬三)を行います。その後, 懇親会を予定しておりますので, 御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月21日(金) KDDI 那覇ビル [締切済] テーマ: 無線設備・アンテナ測定技術 (第二種研究会)

1月24日(木), 25日(金) ホテルメリージュ (宮崎市) [締切済] テーマ: 電波伝搬, 一般

2月7日(木) 産総研臨海センター [12月10日(月)] テーマ: 放送技術, 測定, 一般

3月14日(木), 15日(金) 湯河原商工会館 [1月10日(木)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

高橋 徹 (三菱電機)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 津田裕之 副委員長 松尾慎治

幹事 篠田和典・田中 有

日時 12月13日(木) 9:30~17:00

会場 機械振興会館地下3階研修2号室

議題 半導体レーザ関連技術, 及び一般

- 高速 MBE 成長法によって作製した高利得 19 層積層 InGaAs/GaAs 量子ドットレーザ ○田之上文彦・菅原宏治 (首都大東京)・赤羽浩一・山本直克 (NICT)
- ポリマー光回路を用いた面射出光源の研究 ○天野 建・佐々木史雄・浮田茂也・鈴木基史・青柳昌宏・小森和弘 (産総研)
- GaNAsP/InP 横方向電流注入型半導体薄膜レーザの低しきい値動作化 ○進藤隆彦・二見充輝・土居恭平・雨宮智宏・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)
- AlGaInAs 系高抵抗埋め込み型 DR レーザの超高速直接変調 ○下山峰史・松田 学・奥村滋一・植竹理人・江川 満・山本剛之 (富士通研)
- 1550 nm/1310 nm 2 波長発振高出力 LD ○森本慎太郎・森 浩・山田敦史・長島靖明・藤田幹明・大貫紳一・吉田谷弘明・三瀬一明 (アソシエイト)
- 選択的反射波クラッド層を設けた非対称リッジ型半導体レーザ ○檜垣将広・沼居貴陽 (立命館大)
- 午後 (13:25~)
- 〔奨励講演〕 フォトニック結晶レーザによる特異な集光特性を有するビームの発生 ○北村恭子・西本昌哉・酒井恭輔・野田 進 (京大)
- 〔奨励講演〕 ウェハ接合によるシリコン基板上量子ドットレーザの進展 ○田辺克明・荒川泰彦 (東大)
- 窒素プラズマ活性化を用いた III-V/Si 直接貼付とそのハイブリッドレーザへの応用 ○林 侑介・長部 亮・福田溪太・渥美裕樹・カン ジュンヒョン・西山伸彦・荒井滋久 (東工大)
- フォトニック結晶面発光レーザにおける非発振バンドを介した散乱現象 ○廣瀬和義・黒坂剛孝・渡邊明佳・杉山貴浩 (浜松ホトニクス)・梁 永・野田 進 (京大)
- 2 次元光閉じ込め構造を用いた中空導波路 DBR レーザのアサール特性と狭線幅特性の検討 ○山川英明・阿久津友宏・坂口孝浩・小山二三夫 (東工大)
- 単一ストライプ構造を有する集積型波長可変レーザの注入同期特性 アルボレス メヒア アーロン・○嶽塚治彦 (産総研)・金子俊光・上坂勝己・小路 元 (住友電工)・石川 浩 (産総研)
- 1550 nm AlGaInAs 埋込構造を有する DFB アレイ集積型波長可変光源 ○岩井則広・若葉昌布・小早川将子・清田和明・黒部立郎・小林 剛・木本竜也・向原智一・横内則之・粕川秋彦 (古河電工)
- LGLC 型波長可変レーザを用いた Tunable-TOSA の低消費電力動作 ○直江和彦・中村 厚・笹田紀子・中西 慧・

元田勝也・佐久間 康・矢萩智彦・山下 武 (日本ナテロ)

鈴木崇功・有本英生・田中滋久 (日立)

◎13:15~13:25 に LQE 奨励賞表彰式を行います。

☆LQE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス [締切済]

テーマ: フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

【問合せ先】

篠田和典 (日立)

TEL [042] 323-1111

E-mail: kazunori.shinoda.nv@hitachi.com

田中 有 (富士通研)

TEL [046] 250-8251

E-mail: yu_tanaka@jp.fujitsu.com

◎LQE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/~lqe/jpn/>

◎LQE 研究会では平成 18 年度より「LQE 奨励賞」を設けました。対象は発表年度の 4 月 1 日時点で 32 歳以下の若手研究者 (学生を含む) です。積極的に御投稿下さい。

★応用音響研究会 (EA)

専門委員長 小野一穂 副委員長 三好正人・岩谷幸雄

幹事 大谷 真・戸上真人 幹事補佐 水町光徳

日時 12月13日(木) 13:00~17:00

14日(金) 9:30~15:20

会場 国立情報学研究所 (千代田区一ツ橋 2-1-2, 東京メトロ半蔵門線/都営地下鉄三田線・新宿線: 神保町駅下車 A8 出口。または東京メトロ東西線: 竹橋駅下車 1b 出口徒歩 3~5 分。 <http://www.nii.ac.jp/about/access/> TEL [03] 4212-2827 小野順貴)

議題 ブラインド信号処理, 一般

13 日

- 〔招待講演〕 独立成分分析から, 非負値行列因子分解, スパース信号解析へ 甘利俊一 (理研)
- 音源数評価に基づく FDICA 音源分離の計算量削減 ○水野雄介 (名大)・近藤多伸 (ヤマハ)・西野隆典 (三重大)・北岡教英・武田一哉 (名大)
- 非同期マイクロホンアレーのためのサンプリング周波数 mismatches のブラインド補償 ○宮部滋樹 (筑波大)・小野順貴 (NII)・牧野昭二 (筑波大)
- 単一音源区間情報を用いた非同期マイクロホンアレーによる音声強調 ○坂梨龍太郎 (筑波大)・小野順貴 (NII)・宮部滋樹・山田武志・牧野昭二 (筑波大)
- 〔特別講演〕 人工頭脳プロジェクト: ロボットは東大に入れるか 松崎拓也 (NII)

14 日午前

- 〔招待講演〕 時間周波数表現における複数マイクロホンを用いた音源分離 澤田 宏 (NTT)
- 対数スペクトル事前分布を用いた MAP スペクトル推定に基づく劣決定音源分離 ○岩田康明 (名大)・中谷智広・藤本雅清・吉岡拓也 (NTT)・齋藤洋典 (名大)
- 帯域抽出を用いた極推定法における適切な抽出帯域幅 ○村田恵介・古川利博 (東京理科大)・久保田 一 (千葉工大)

宮永喜一 (北大)

14 日午後

4. EV/HEV の報知音を想定した漸増刺激音の定位の主観評価
○竹内大貴・大山貴紀・金子 格 (東京工芸大)
5. スマートミキサー—聴覚心理モデルに基づいたゲインマスク生成—
○大脇 渉・有北知弘・宮地絃司・高橋弘太 (電通大)
6. [招待講演] 非負値行列因子分解とその音響信号処理応用
亀岡弘和 (東大/NTT)

◆日本音響学会; 電気音響研究会共催

◎13 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆EA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 同志社大室町キャンパス寒梅館 [締切済] テーマ: 応用 (電気) 音響, 超音波, 一般 (音響・超音波サブソサイエティ合同研究会)

2 月 休会

3 月 12 日 (火) KDDI 研 [未定] テーマ: 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

戸上真人 (日立中研)

TEL [042] 323-1111, FAX [042] 327-7823

E-mail: masahito.togami.fe@hitachi.com

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和
幹事 吉澤真吾・筒井 弘 幹事補佐 目黒光彦・田中 豪

日時 12 月 13 日 (木) 10:00~17:15

14 日 (金) 10:00~11:50

会場 日本大学生産工学部津田沼キャンパス 39 号館 6 階スプリングホール (習志野市泉町 1-2-1. JR 津田沼駅から徒歩 11 分 または京成線: 京成大久保駅から徒歩 10 分. <http://www.cit.nihon-u.ac.jp/access/> TEL [047] 474-2650 (学科事務室) 目黒光彦)

議題 システムオンシリコン, RFID 関連技術, 一般

13 日午前

1. CIEDE2000 色差式によるカラー画像の領域分割
○鶴岡 倭・目黒光彦 (日大)
2. 色の違いの重要度を考慮したカラー画像のモノクロ変換
○石 宝・田中 豪 (名古屋大)
3. 対話型遺伝的アルゴリズムに基づくユーザの嗜好を考慮した画像鮮鋭化システム
○植田祥明 (宇部高専)・倉本陽平 (山口大)・久保田良輔 (宇部高専)・末竹規哲・内野英治 (山口大)
4. 明度及び色相の影響を考慮した彩度強調法
田中 豪 (名古屋大)

13 日午後 (12:30~)

5. [チュートリアル講演] Robust and Fast Search Algorithm for Lyric Search Covering Erroneous Queries due to Mishearing
○XIN XU・Tsuneo Kato (KDDI R & D Labs.)
6. MIMO-OFDM システム用最大ドップラー周波数推定法
○石原 俊・笹岡直人・伊藤良生 (鳥取大)
7. 伝送距離に応じた低消費電力無線通信システム
○五十嵐康一 (北大)・吉澤真吾 (北見工大)・

第一種研究会開催案内

8. 無線通信におけるユニークワードの検出方式の性能評価
○サグアンウォントーン イサダ・四家 帝・山崎彰一郎・松嶋智子 (職業大)・田中宏和 (東芝)
9. Robust Speech Recognition for Plosive Sound by Extracting Missing Features
○Yusuke Hashimoto・Yoshikazu Miyanaga (Hokkaido Univ.)
10. ユビキタス環境下における NFC を用いた展示支援システムの構築
○中井雄也 (龍谷大)・木村健太郎・岡田至弘 (DARC)
11. モルフォロジフィルタのルート画像近似と画像復元への応用
○中静 真 (千葉工大)・蘆原 優 (阪大)
12. [招待講演] シリアスゲームの現状と今後の可能性について
古市昌一 (日大)

14 日

1. [チュートリアル講演] 携帯端末の利用を前提とした印刷画像へのデータ埋め込みとその検出
棟安実治 (関西大)
2. TV フィルタの FPGA 実装についての検討
○成沢良太郎・三浦 翔・辻 裕之・木村誠聡 (神奈川工科大)
3. 所望の周波数特性を有する L1 フィルタの構築
○齋藤政徳・目黒光彦 (日大)
4. 手持ち撮影時の携帯端末群の視線方向に基づくシーン状況解析の一手法
○森岡貴義・東海彰吾・長谷博行 (福井大)

◎13 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 7 日 (木), 8 日 (金) 愛知 [未定] テーマ: ソフトコンピューティング, 一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

吉澤真吾 (北見工大)

E-mail: yosizawa@mail.kitami-it.ac.jp

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 大平 孝

副委員長 黒木太司・中津川征士・川上憲司

幹事 加屋野博幸・河合 正 幹事補佐 嶋田浩和・清水隆志

日時 12 月 13 日 (木) 13:30~17:20

14 日 (金) 9:00~15:00

会場 山梨大学甲府キャンパス (甲府市武田 4-3-11. 甲府駅北口 2 番バス停乗り場より「武田神社」または「積翠寺」行き約 5 分, 「山梨大学」下車. または甲府駅北口より武田通りを北上, 徒歩約 15 分. http://www.yamanashi.ac.jp/modules/footer_menu/index.php?content_id=5 TEL [055] 220-8393 關谷尚人)

議題 マイクロ波一般

13 日

1. 独立バイアス形 1.2-2.0 GHz 帯 GaAs pHEMT カスコード電力増幅器 MMIC
○田崎悟史・高山洋一郎・石川 亮・本城和彦 (電通大)
2. E 級電力増幅回路の EPWM 送信機への応用に関する一検討
○大山修毅・太郎丸 真 (福岡大)
3. Joint Optimization Predistortion And PAPR Reduction For

告 7

Signals with High Peak-to-Average Power Ratios

○Alexander N. Lozhkin・

Michiharu Nakamura (Fujitsu Labs.)

4. PLLを用いたFMCWレーダ用信号源におけるビート信号帯域のスプリング電力低減方法 ○中溝英之・田島賢一・川上憲司 (三菱電機)

5. 24 GHz帯整流回路のためのコネクタ及びダイオードのモデル化検討 ○波多野 健・篠原真毅・三谷友彦 (京大)

6. CRLH線路を用いた並列リング型疎結合ラットレース回路 ○住友祐馬・河合 正・榎原 晃・太田 勲 (兵庫県立大)・佐藤 圭・鈴木恭宜・岡崎浩司・檜橋祥一 (NTTドコモ)

TJMW2012 タイ学生受賞者特別講演

7. [特別講演] Analysis and Design of a 4 ports TE/TM Mode and Frequency Splitter in Anisotropic

○Piyanat Limjunyawong・Malinda Hongthong・Tuptim Angkaew (Chulalongkorn Univ.)

14 日午前

1. 飛び越し結合を考慮した小型狭帯域フィルタ ○河口民雄・塩川教次・加屋野博幸 (東芝)

2. ダブルストリップ共振器を用いた楕円関数型超伝導デュアルモードハイパワーフィルタの検討 ○松浦広和・關谷尚人 (山梨大)・大嶋重利 (山形大)

3. 共振器並列形回路の合成理論に基づいた有極形帯域通過フィルタの高精度設計 ○青山裕之・大平昌敬・馬 哲旺 (埼玉大)

4. 円筒空洞共振器の TM と TE モードを用いた棒状のフェライト試料の比誘電率と比透磁率の測定法

○川端広一 (東毛産技センター)・小林禧夫 (サムテック)

5. 空洞共振器法に適した誘電体基板評価用 55 GHz 空洞共振器の開発 ○清水隆志 (宇都宮大)・川原祐紀・赤坂清三 (川島製作所)・古神義則 (宇都宮大)

14 日午後

6. 導電性液体の誘導加熱における誘導率 ϵ の導入 ○杉山順一・森住真紀 (産総研)

7. RTM法を用いたマイクロ波吸収効率に対する局在波効果の検討 秋山省悟 (山梨大)

8. 315 MHz帯地板付クロスミアングラインアンテナの検討 ○黒木太司・國重健吾 (呉高専)

9. 60 GHz帯垂直偏波検出プローブの試作 ○黒木太司・沖田靖能 (呉高専)

◆IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎13日7. [特別講演]の原稿は10月の技報に掲載されています。

☆MW研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月16日(水)~18日(金) 機械振興会館 [締切済] テーマ:化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

2月 休会

3月7日(木), 8日(金) 広島大 [1月14日(月)] テーマ:マイクロ波一般

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

鴨田浩和 (ATR)

TEL [0774] 95-1541, FAX [0774] 95-1508

E-mail: kamoda@atr.jp

告 8

加屋野博幸 (東芝)

TEL [044] 549-2110, FAX [044] 520-1801

E-mail: hiroyuki.kayano@toshiba.co.jp

★信頼性研究会 (R)

専門委員長 渡邊 均 副委員長 木村光宏

幹事 馬渡宏泰・田村信幸

幹事補佐 安里 彰・岡村寛之・マラット ザニケエフ

日時 12月14日(金) 10:00~11:40

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 信頼性国際規格, 保全性, 信頼性一般

1. 多目的ネットワーク設計問題におけるパレート解算アルゴリズムに関する研究 ○高橋奈津美 (首都大東京)・秋葉知昭 (千葉工大)・山本久志 (首都大東京)

2. 有限な運用期間をもつ並列システムの定期点検方策 ○水谷聡志 (愛知工大)・中川覃夫 (愛知工大)

3. テスト位置情報を考慮したソフトウェア信頼性評価手法に関する一考察 ○岡村寛之・竹腰祐輝・土肥 正 (広島大)

4. 信頼性に関する国際規格化の動向 (2012)—IEC TC56の概要と仏PAU会議での動向—

○原田文明 (富士ゼロックスアドバンステクノロジー)・後藤博之 (富士通)・高村博紀 (JST)・木下佳樹・武山 誠 (産総研)

◆IEEE Reliability Society Japan Chapter 共催, 日本信頼性学会協賛

☆R研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月15日(金) 住友電装 [12月7日(金)] テーマ:機構デバイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

田村信幸 (法政大)

TEL [042] 387-6262, FAX [042] 387-6126

E-mail: tamura@hosei.ac.jp

★宇宙・航行エレクトロニクス研究会 (SANE)

専門委員長 小瀬木 滋 副委員長 浜 真一

幹事 富木淳史・灘井章嗣 幹事補佐 平田和史

日時 12月14日(金) 13:30~17:10

会場 日本工業大学LCセンター百年記念館1F マルチメディア教室 (南埼玉郡宮代町学園台4-1, 東武伊勢崎線:東武動物公園下車, 西口より徒歩約15分, タクシー約5分。 <http://www.nit.ac.jp/guide/> TEL [0480] 34-4111 高瀬浩史)

議題 レーダ信号処理及び一般

1. [特別講演] レーダによる津波観測活動の調査 (その2) 渡辺康夫

2. SAR画像再生処理回路の小型実装と精度評価 ○浅見廣愛・高橋勝己・尾崎敬夫・若山俊夫 (三菱電機)

3. 焼きなまし法と山登り法を用いた幅広巡回2値符号の探索 ○阿部亘朗・高瀬浩史・神力正宣・平栗健史 (日本工大)

4. 知識データベースに基づくレーダ干渉除去処理の開発

○富木洋一・時枝幸伸・菅原博樹（日本無線）

5. 追尾フィルタの初期値算出方法 小菅義夫（長崎大）
6. 移動プラットフォームによる受信電波の電力情報を併用した複数電波源のグルーピング測位方式 ○網嶋 武・平田和史（三菱電機）

7. 航空用高速データリンク LDACS の BER 特性
○北折 潤・住谷泰人・石出 明（電子航法研）

◆IEEE AES Society Japan Chapter 共催

☆SANE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 24 日（木）、25 日（金）長崎県美術館（締切済）テーマ：測位・航法及び一般

2 月 21 日（木）、22 日（金）沖縄県青年会館〔12 月 7 日（金）〕テーマ：衛星応用技術及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

富木淳史（JAXA）

TEL [050] 3362-6575

E-mail : tomiki.atsushi@jaxa.jp

灘井章嗣（NICT）

TEL [042] 327-6496

E-mail : nandai@nict.go.jp

★集積回路研究会（ICD）

専門委員長 吉本雅彦 副委員長 山村 毅

幹事 松岡俊匡・竹内 健

幹事補佐 渡辺 理・大内真一・土谷 亮

日時 12 月 17 日（月） 9：30～18：00

18 日（火） 9：30～16：35

会場 東京工業大学大岡山キャンパス東工大蔵前会館ロイヤルブルーホール（目黒区大岡山 2-12-1. 東急目黒線／東急大井町線：大岡山下車徒歩 1 分。 <http://www.somuka.titech.ac.jp/ttf/access/index.html>）

議題 学生・若手研究会

17 日午前 デジタル回路 1

1. [招待講演] LSI 設計者の未来一空白の荒野か設計者の天国かー 天野英晴（慶大）

2. 最小動作電圧の予測手法提案と実測による検証
○川島潤也・越智裕之・筒井 弘・佐藤高史（京大）

先端テクノロジー

3. [招待講演] フレキシブル&プリントドトランジスタが切り拓くアンビエントエレクトロニクス 関谷 毅（東大）

4. 擬似ホール効果を利用した MOSFET 型応力検出素子の特性評価
○梅津哲也・原田知親・奥山澄雄・松下浩一（山形大）

17 日午後 先端メモリ（13：30～）

5. [招待講演] 混載 SRAM 置き換え用 STT-MRAM の高性能化とインテグレーション
○杉井寿博・射場義久・青木正樹・能代英之・角田浩司・畑田明良・中林正明・山崎裕一・高橋 厚・吉田親子（LEAP）

6. 250 Msps, 0.5 W FIB に適した大容量 eDRAM ベースサーチエンジンの開発
○黒田泰斗・矢野祐二・岩本 久（ルネサスエレクトロニクス）・山本耕次（ルネサスデザイン）・井上一成（奈良高専／阪大）

ポスターセッション（ショートプレゼンテーション）

7. [ポスター講演] ウェアラブル生体情報計測システムのための瞬時心拍検出アルゴリズム
○山下 顕・中野将尚・小西恵大・和泉慎太郎・川口 博・吉本雅彦（神戸大）

8. [ポスター講演] ReRAM/NAND フラッシュメモリーハイブリッド 3 次元積層ソリッド・ステート・ドライブ向け、単一インダクタ書き込み電圧（Vset/reset, Vpgm）同時生成回路
○中島祥斗（中大）・畑中輝義（中大／東大）・竹内 健（中大）

9. [ポスター講演] 局所電子注入非対称バースゲートトランジスタを有する 6T-SRAM のためのしきい値電圧付近ワード線電圧注入法によるしきい値電圧ばらつきの自己収束
○小林大介・宮地幸祐（中大）・宮野信治（STARC）・竹内 健（中大）

10. [ポスター講演] 高信頼性 SSD 向け非対称符号の効果の 20～40 nm 世代の比較及び符号長依存性の解析
○土井雅史（中大）・田中丸周平（中大／東大）・竹内 健（中大）

11. [ポスター講演] 対数極座標変換を用いたハードウェアフレンドリーな物体認識アルゴリズム
○和田 真・柴田 直（東大）

12. [ポスター講演] 閉ループ制御を用いた ISF 感度解析の新しい手法の提案
○水野順貴・吉村 勉・岩出秀平・牧野博之（阪工大）・松田吉雄（金沢大）

13. [ポスター講演] 強誘電体キャパシタを用いた 6T4C シャドウ SRAM の高性能化技術
○中川知己・吉本秀輔・北原佑起・柳田晃司・梅木洋平・奥村俊介・和泉慎太郎・川口 博・吉本雅彦（神戸大）

14. [ポスター講演] 3x Write and 5x Read Speed Increase for RRAM with Disturb Free Bipolar Operation
○Sheyang Ning（Chuo Univ./Univ. of Tokyo）・Tomoko Iwasaki・Ken Takeuchi（Chuo Univ.）

15. [ポスター講演] 位相比較器の非線形性を考慮した CDR-PLL 回路のプルイン動作解析
○清水真司・吉村 勉・岩出秀平・牧野博之（阪工大）・松田吉雄（金沢大）

16. [ポスター講演] 2.4 倍速実時間 6 万語彙連続音声認識プロセッサの開発
○宮本優貴・何 光霽・和泉慎太郎・川口 博・吉本雅彦（神戸大）

17. [ポスター講演] データ断片化防止アルゴリズムを用いたハイブリッド ReRAM/MLC NAND SSD 向け評価プラットフォームの構築
○岡本 峻・宮地幸祐・上口 光・竹内 健（中大）

18. [ポスター講演] BiCS 型立体的構造 NAND フラッシュメモリーにおけるゲート長、ゲート間隔及び積層数の設計指針
○平澤黎生・宮地幸祐・竹内 健（中大）

19. [ポスター講演] トランザクションモデルベース評価プラットフォームを用いた、3 次元 ReRAM/MLC NAND ハイブリッド SSD の性能評価と実データパターンの解析
○鳥海 航・宮地幸祐・上口 光・蜂谷尚悟・竹内 健（中大）

20. [ポスター講演] HOG 特徴量による実時間物体検出プロセッサの FPGA 実装
○高木健太・水野孝祐・和泉慎太郎・川口 博・吉本雅彦（神戸大）

21. [ポスター講演] 電源 IC のシステムシミュレーションプログラムの開発
○渡辺 啓・古川達也・杉本泰博（中大）

22. [ポスター講演] 相変化メモリの環境温度依存性評価
○江上 徹・上口 光・竹内 健（中大）

23. [ポスター講演] Single Inductor Dual Output DC-DC Boost converter with Serial Control ○Shu Wu・Yasunori Kobori・Mu Rong Li・Zhao Feng・Qulin Zhu・Shaiful Nizam Mohyar (Gunma Univ.)・Takahiro Odaguchi・Tetsuji Yamaguchi・Isao Nakanishi・Kimio Ueda (AKM Tech.)・Jun-ichi Matsuda (AKPD)・Nobukazu Takai・Haruo Kobayashi (Gunma Univ.)
24. [ポスター講演] Ultra-Low-Voltage Dynamic Amplifier ○James Lin・Masaya Miyahara・Akira Matsuzawa (Tokyo Inst. of Tech.)
25. [ポスター講演] 0.18 μ m CMOS プロセスを用いたパッチワーク測定システム的设计 ○中山 渉・大野隆一・安田陽平・川島拓也・中野誠彦 (慶大)
26. [ポスター講演] 0.18 μ m CMOS プロセスを用いたマイクロシステム用オンチップ太陽電池とレギュレータ付き DC-DC コンバータ設計 ○小野東輝・菊地大樹・野村一樹・中野誠彦 (慶大)
27. [ポスター講演] 60 GHz 帯 CMOS ダイレクトコンバージョン型トランシーバの研究 ○河合誠太郎・南 亮・Ahmed Musa・津久井裕基・竹内康揚・岡田健一・松澤 昭 (東工大)

18日午前 デジタル回路2

1. 階層化隠れマルコフモデルを用いた実時間行動認識のハードウェア実装向けアルゴリズム ○福田和巳・柴田 直 (東大)
2. SRAM のランダムアドレスエラーを用いた PUF の安定化向上手法 ○藤原英弘・藪内 誠・塚本康正・中野裕文・大和田 徹・河合浩行・新居浩二 (ルネサスエレクトロニクス)
3. テスト時ピーク電力最適化に向けた 28 nmHKMG プロセスのデジタル電圧ドロップ検出センサー ○五十嵐満彦・高沢義生・五十嵐康人・松下博明・竹内 幹 (ルネサスエレクトロニクス)

高信頼性技術

4. [招待講演] ソフトエラー評価技術と対策技術 上村大樹 (富士通セミコンダクター)
5. 65 nm プロセスにおける低消費電力冗長化 FF (BCDMR-ACFF) の設計と評価 ○増田政基・久保田勘人・山本亮輔 (京都工繊大)・古田 潤 (京大)・小林和淑 (京都工繊大)・小野寺秀俊 (京大)

18日午後 アナログ・RF 回路 (13:30~)

6. [招待講演] CMOS アナログ混載回路とその応用 香西昌平 (東芝)
7. デュアル電源電圧方式による 315 MHz 帯無線送信回路の高効率化 ○井口俊太 (東大)・齋藤 晶・渡辺和紀 (STARC)・桜井貴康・高宮 真 (東大)
8. ヒステリシス制御 DC-DC SIMO 電源のシミュレーション結果 ○長島辰徳・小堀康功・堺 昂浩・田中駿祐 (群馬大)・小田口貴広・山口哲二・中西 功・上田公大 (AKM テック)・松田順一 (旭化成パワテック)・高井伸和・小林春夫 (群馬大)
9. 横型 pin フォトダイオードの光応答電流モデルの開発 ○井村洋介・井瀬 潔 (鈴鹿高専)
10. [招待講演] 回路系トップレベル学会を目指した体験-異分野出身を活かす- 宮地幸祐 (中大)

◎17日ポスターセッション終了後、懇親会を行います。学生・若手と産業界・大学等の交流の場として、奮って御参加下さい。懇親会出席を予定されている方は、12月10日までに、担当幹事補佐(大内)まで御連絡下さい。

☆ICD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月31日(木), 2月1日(金) 早大〔締切済〕テーマ:集積回路とアーキテクチャの協創-新しいアプリケーション創造に向けたアーキテクチャ, 回路技術の貢献-

3月 中大〔未定〕テーマ:シリコンアナログ RF

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

大内真一 (産総研)
TEL [029] 861-5068, FAX [029] 861-5170
E-mail: shinichi.ouchi@aist.go.jp

★超音波研究会 (US)

専門委員長 橋本研也 副委員長 金井 浩・梅村晋一郎
幹事 三浦 光・美谷周二朗 幹事補佐 山口 匡

日時 12月18日(火) 13:20~16:55

会場 東京工業大学すずかけ台キャンパス (横浜市緑区長津田町4259. 東急田園都市線:すずかけ台駅下車徒歩5分. <http://www.titech.ac.jp/about/campus/s.html> TEL [045] 924-5052 中村健太郎)

議題 強力超音波, 一般

- 超音波振動微細鍛造に関する基礎的研究 神 雅彦・藤家広大 (日本工大)・小玉 満 (エコー技研)
- 超音波音場でのマイクロバブルを利用した機械部品の洗浄に関する基礎的検討 ○中村佑紀・池田 宏・栗田勝実・青木 繁 (都立産技高専)・平井聖児・香村 誠 (ものつくり大)
- RF 信号の統計解析によるリンパ節の散乱体密度推定 ○藤田紘資・武 文麗 (千葉大)・Jonathan Mamou (Riverside R)・樋口達矢・蜂屋弘之 (東工大)・山口 匡 (千葉大)
- RFA 治療ナビゲーションシステムにおける三次元超音波像の提示手法 ○前佛聡樹・山口 匡 (千葉大)
- 縦一ねじり超音波複合振動による脆性素材の穴あけ加工特性-加工圧と加工時間の関係- ○浅見拓哉・三浦 光 (日大)
- 超音波による液滴の非接触分注 ○田中宏樹・和田有司・水野洋輔・中村健太郎 (東工大)
- メガヘルツ定在波音場を用いた周期的構造を有する複合めっき被膜の成膜 ○村岡潤一・鈴木庸久 (山形県工技センター)・中村健太郎 (東工大)
- 強力空中超音波を用いた非接触非破壊検査技術の基礎検討-強力音場が光学計測に与える影響について- ○大隅 歩・野嶋泰宏・小林寛政・伊藤洋一 (日大)

◆日本音響学会; 超音波研究委員会, 日本塑性加工学会; 超音波応用加工分科会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 同志社大室町キャンパス寒梅館〔締切済〕テーマ:応用(電気)音響, 超音波, 一般音響・超音波サブソサイエティ合同研究会

2月19日(火) 機械振興会館〔12月12日(水)〕テーマ:アコースティックイメージング, 一般(日本音響学会; アコースティックイメージング研究会共催, 日本非破壊検査協会協賛)

3月 休会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

美谷周二朗 (東大)

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

三浦 光 (日大)

TEL [03] 3259-0776, FAX [03] 3293-8265

E-mail: miura@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 増市 博・竹内孔一

幹事 柳原 正・西崎博光 幹事補佐 金山 博・大塚裕子

日時 12月19日(水) 10:20~17:35

20日(木) 10:00~11:30

会場 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館デジタル多目的
ホール(19日) コレボレーションルーム(20日). 目黒区大岡
山2-12-1. 東急目黒線/大井町線:大岡山駅下車徒歩1分.
<http://www.dst.titech.ac.jp/outline/facility/hall.html>
<http://www.titech.ac.jp/about/campus/index.html>

議題 第4回集合知シンポジウム

19日午前 文化・観光QA

- クラウドソーシングを用いた文化差判定コーパス構築手法の
提案 ○吉野 孝(和歌山大)・宮部真衣(東大)
- Q & A サイトで多くの回答を獲得した質問の調査
○谷口祐亮・小島正裕・西村 涼・渡辺靖彦・
岡田至弘(龍谷大)
- Web上に混在する観光情報を活用した観光地推薦システム
○上原 尚・嶋田和孝・遠藤 勉(九工大)

19日午後 招待講演(13:20~)

- 〔招待講演〕 実用的な自然言語処理アプリケーションの作り
方 工藤 拓(Google)

論文調査

- Random Graphs with Realistic Neighborhood Modeling based
on Online Surveys
Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)
- コミュニティの集合知を活用した論文調査支援システム
○山本美紀・岡本敏雄(電通大)

地域情報&ソーシャルメディア

- 地域特徴語選択を用いたマルチクラス分類によるTwitter
ユーザの居住地推定 ○西村駿人(奈良先端大)・数原良彦・
鷲崎誠司(NTT)
- ソーシャルメディアからの地域固有表現の抽出
○加藤宏紀・荒牧英治・宮部真衣・吉田 稔・佐藤一誠・
中川裕志(東大)
- Recognizing Variations of Japanese words in Twitter
○Yoshinari Fujinuma・
Pascual Martinez-Gomez (Univ. of Tokyo)・
Akiko Aizawa (NII)

20日 基礎技術

- New Dataflow UML for Description and Modeling of Survey
Data Processing Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)
- 携帯端末で動作するTwitterクライアントを用いたつぶやき
音声データの収集とその利用方法の検討 ○嶋田浩希・
西崎博光・関口芳廣(山梨大)

3. Japanese Term Extraction Toward French-Japanese Bilin-
gual Term Extraction on Wind Power Generation Domain

○Koichi Takeuchi・

Shouzaburo Minamoto (Okayama Univ.)・

Planas Emmanuel (LINA)・Teruo Koyama (NII)

◎上記プログラムは変更する場合がございます。最新の情報は
Webページで御確認頂ますようお願い致します。

【問合せ先】

本シンポジウムに係るすべての問い合わせは下記のメールアド
レスに御連絡下さい。

竹内孔一(岡山大)・西崎博光(山梨大)

E-mail: NLC2012@jnlp.org

★音声研究会 (SP)

専門委員長 速水 悟 副委員長 河井 恒

幹事 森 大毅・鈴木基之 幹事補佐 藤本雅清・大谷大和

日時 12月20日(木) 10:05~17:40

21日(金) 9:00~17:20

会場 東京工業大学大岡山キャンパス西9号館(目黒区大岡山
2-12-1. 東急大井町線・目黒線:大岡山駅正面出口徒歩3分.
<http://www.titech.ac.jp/about/campus/index.html>)

議題 第14回音声言語シンポジウム

20日午前 言語モデル・音声対話

- SP-1. 文脈類似度と認識信頼度に基づく音声認識辞書の自動語
彙適応 ○山島祥子・山口義和・政瀬浩和・小川厚徳・
吉岡 理・高橋 敏(NTT)
- 二項事後分布の継承とW-B平滑化に基づく音声認識のため
の言語モデル 吉田正太郎・川端 豪(関西学院大)
 - 方言対訳コーパスを用いた日本語方言音声認識システム
平山直樹・森 信介・奥乃 博(京大)
 - 対話システムにおける単語間の関係性を用いた話題誘導応答
文生成 山内祐輝・Graham Neubig・Sakriani Sakti・
戸田智基・中村 哲(奈良先端大)
 - 説得対話システムにおける話題誘導に基づく対話制御
平岡拓也・Graham Neubig・Sakriani Sakti・戸田智基・
中村 哲(奈良先端大)

20日午後 オーガナイズドセッション:招待講演(1)

SP-6.〔招待講演〕音声・画像情報の融合処理を目指して

有木康雄(神戸大)

オーガナイズドセッション:招待講演(2)

SP-7.〔招待講演〕Making A Technology Seem Natural

Eric Chang (Microsoft Research Asia)

オーガナイズドセッション

- 対話ターン中のユーザ状態の推定に有用なモダリティの分析
○千葉祐弥・伊藤 仁・伊藤彰則(東北大)
 - 高精度なマルチモーダル音声認識の実現に向けた取り組
み ○田村哲嗣・沈 鵬・奥田博也・鶴飼直弥・河崎卓也・
世古拓海・速水 悟(岐阜大)
 - 雑談可能な目的達成型音声対話システム ○大村祐司・
川端 豪(関西学院大)
 - ELIZA的アプローチによって未知語彙を疑似獲得する音声
対話システム ○高橋 勉・川端 豪(関西学院大)
- 21日午前 音声分析
- SP-1. EMA 計測値のnormalizationの検討—子音クラス調音

- 時の舌運動について— ○船津誠也 (県立広島大)・
藤本雅子 (国立国語研)
- SP-2. 気導音声と骨導音声を組み合わせた基本周波数抽出
○箴 恒介・高村徹也 (埼玉大)
- SP-3. 骨導音声における子音-母音間の相対振幅
○加藤達也・高村徹也 (埼玉大)
- SP-4. 音響伝達特性を用いたシングルチャネル音源位置推定に
おける局所的回帰に基づく未学習位置の補間 ○高島遼一・
滝口哲也・有木康雄 (神戸大)

音声検索

5. 複数音声認識結果を用いて構築した Suffix Array に対する音
声検索語検出 ○勝浦広大・桂田浩一・入部百合絵・
新田恒雄 (豊橋技術大)
6. Improving the performance of Letter-To-Phoneme conver-
sion by using Two-STAGE NEURAL NETWORK
○Kheang Seng・Kouichi Katsurada・Yurie Iribe・
Tsuneo Nitta (Toyoashi Univ. of Tech./Waseda Univ.)
- 21 日午後 招待講演
7. [招待講演] 観測経験と体系化作業を通して本質に迫ること
新田恒雄 (早大)

音声特徴量

- SP-8. 識別モデルを用いた英語文発声からの強勢自動検出
○加藤集平・鈴木雅之・峯松信明・広瀬啓吉 (東大)・
山内 豊 (東京国際大)
9. 統計的雑音抑圧法の強調的適用による雑音環境下音声区間検
出 ○大淵康成・武田 龍・神田直之 (日立)
- SP-10. 分散型マイクロホンを用いた音声認識のための特徴量領
域音源分離 ○安藤厚志 (名大)・丹羽健太 (NTT)・
北岡教英・武田一哉 (名大)

ポスターセッション

- SP-11. 波形包絡を用いた音節核の自動抽出とそれを用いた構造
的表象による単語獲得プロセスのモデル化の初期検討
○尾崎洋輔・峯松信明・広瀬啓吉 (東大)・
Donna Erickson (昭和音大)
- SP-12. Sparse Coding を用いた唇情報からの音声変換
○相原 龍・高島遼一・滝口哲也・有木康雄 (神戸大)
13. 話者クラス音響モデルを用いた講演音声認識におけるクラス
タリング手法の各種検討 ○今野和樹・大山拓也・
加藤正治・小坂哲夫 (山形大)
14. 特徴量強調における教師なし話者適応に関する検討
○グェンドウツクズイ (東大)・吉岡拓也 (NTT)・
峯松信明・広瀬啓吉 (東大)
15. 音声中の検索語検出における音素トライグラム照合による高
速検出法 ○鎌田圭祐・伊藤慶明・小嶋和徳・
石亀昌明 (岩手県立大)・田中和世 (筑波大)・
李 時旭 (産総研)
16. トピック関連語推定と STD による未知語推定の評価
○佐藤壮一・伊藤彰則 (東北大)
- SP-17. シンタククスとセマンティッククスに基づく音声認識結果
の2段階訂正 ○中谷良平・滝口哲也・有木康雄 (神戸大)
18. クラスタ選定によるボトムアップ話者ダイアライゼーション
の高精度化 ○陳 伯翰・北岡教英・武田一哉 (名大)
- SP-19. 音声の到来方向により対象言語を切り替える自動通訳シ
ステム ○辻川剛範・岡部浩司・花沢 健 (NEC)
20. 音声ツイートを想定した twitter クライアントの試作・評価
と発話特徴の利用に関する一考察 ○進士智也・

- 甲斐彦彦・王 龍標・小暮 悟 (静岡大)
21. Reactive control of expressive speech synthesis

○Rob Clark・
Magdalena Anna Konkiewicz (Univ. of Edinburgh)・
Maria Astrinak (Univ. of Mons)・
Junichi Yamagishi (Univ. of Edinburgh)

◆情報処理学会; 音声言語情報処理研究会連催, 人工知能学会;
言語・音声理解と対話処理研究会, IEEE Signal Processing
Society Japan Chapter 共催

【問合先】

SP: 河井 恒 (KDDI)
E-mail: hi-kawai@kddilabs.jp
SLP: 篠田浩一 (東工大)
E-mail: shinoda@cs.titech.ac.jp

☆SP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 1 月 30 日 (水), 31 日 (木) 同志社大 [未定] テーマ: 音
声・言語・対話, 一般
2 月 28 日 (木)~3 月 1 日 (金) 大同大 [未定] テーマ: 音声
アプリケーション, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★機構デバイス研究会 (EMD)

専門委員長 長谷川 誠 副委員長 関川純哉・久我宣裕
幹事 服部康弘・阿部宜輝 幹事補佐 上野貴博

日時 12 月 21 日 (金) 13:00~16:35

会場 機械振興会館地下 3 階 1 号室

議題

1. [特別講演] アーク電圧電流特性とその測定方法—開離アー
クの電圧電流計算に応用する立場から— 須原啓一 (東京高専)
2. [特別講演] 電気・電子部品を電磁圧接するための基礎実験
相沢友勝 (都立産技高専)
3. [特別講演] 非線形抵抗による接触状態の評価
箕輪 功 (玉川大)
4. パラジウム電極間アークの電圧電流特性測定—開離電極を使
用する方法による— ○鈴木貴和・須原啓一 (東京高専)
5. ハンマリング加振機構及び微摺動機構による電気接点の劣化
現象—接触抵抗変動のモデリング(26)— ○和田真一・
越田圭治・サインダー ノロブリン (TMC システム)・
寺崎真志 (東京高専)・益田直樹・石黒 明・柳 国男・
久保田洋彰 (TMC システム)・澤 孝一郎 (日本工大)
6. 定在波同軸管法を用いた同軸線路の非接触 PIM 測定に関する
基礎検討 ○王 明・石橋大二郎・久我宣裕 (横浜国大)

☆EMD 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 1 月 25 日 (金) 日立 (横浜) [締切済] テーマ: 一般
2 月 15 日 (金) 住友電装 [12 月 7 日 (金)] テーマ: 機構デ
バイスの信頼性, 信頼性一般 (継電器・コンタクトテクノ
ロジー研究会, IEEE CPMT JAPAN 共催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

関川純哉 (静岡大)
TEL & FAX [053] 478-1618
E-mail: tjsekik@ipc.shizuoka.ac.jp

久我宣裕 (横浜国大)
TEL & FAX [045] 339-4279
E-mail : kuga@ynu.ac.jp

服部康弘 (住友電装)
TEL [059] 382-8634, FAX [059] 382-8591
E-mail : yasuihiro-hattori@gate.sws.co.jp

阿部宜輝 (NTT フォトニクス研究所)
TEL [046] 240-2262, FAX [046] 270-6421
E-mail : abe.yoshiteru@lab.ntt.co.jp

◎EMD 研究会に関する最新の情報は、<http://www.ieice.org/es/emd/jpn/>を御参照下さい。

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 清水健男 副委員長 山田博仁
幹事 小川憲介・植之原裕行 幹事補佐 橋本俊和

日時 12月21日(金) 13:00~17:35

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光パッシブコンポーネント(フィルタ, コネクタ, MEMS), シリコンフォトニクス, 一般

- 埋め込み型空気コアナノ導波路を用いた短軸長偏波変換器
山内潤治・○橋本 貴・中野久松(法政大)
 - 非相反移相効果を用いたシリコン細線導波路型光アイソレータの高アイソレーション動作
○白土雄也・庄司雄哉・水本哲弥(東工大)
 - シリコン導波路型光サーキュレータ
○三矢浩太・庄司雄哉・水本哲弥(東工大)
 - シリコン細線導波路方向性結合器を用いた偏光無依存・低消費電力2×2光スイッチの検討
○牛尾 徹・塚本健太郎(早大)・松島裕一(GCS研究機構)・宇高勝之(早大)
 - モノリシック集積化 GePD によるシリコンマッハ-ツェンダ-型光変調器の光パフォーマンスモニタリング
○日下裕幸・岡 徹・五井一宏・小川憲介(フジクラ)・Tsung-Yang Liow・Xiaoguang Tu・Guo-Qiang Lo・Dim-Lee Kwong(IME)
 - MSM 型ゲルマニウム受光器の差動対光受信回路への応用
○三浦 真・藤方潤一・野口将高・岡本大典(PETRA)・堀川 剛(産総研)・荒川泰彦(東大)
 - 歪みゲルマニウムの光学利得の第一原理シミュレーション
○諏訪雄二・斎藤慎一(PETRA/PECST/日立)
 - 不純物をドーピングした Si ナノ結晶の3次の非線形光学応答
○今北健二・藤井 稔・林 真至(神戸大)
 - オンチップ光回路のためのBCB貼り付けを用いたSi基板上InP 薄膜受動素子の特性
○李 智恩・山原佳晃・渥美裕樹・西山伸彦・荒井滋久(東工大)
 - 低温作製石英系導波路の偏波無依存化
○西 英隆・土澤 泰(NTT)・篠島弘幸(久留米高専)・渡辺俊文・板橋聖一(NTT-AT)・高 磊・福田 浩・山田浩治(NTT)
- ☆OPE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 阪大吹田キャンパス [締切済]
テーマ: フォトニック NW・デバイス, フォトニック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般

2月28日(木), 3月1日(金) 機械振興会館 [締切済] テー

第一種研究会開催案内

マ: 光波センシング, 光波制御・検出, 光計測, ニューロ, 光ファイバ(ホーリーファイバ, マルチコアファイバ等含む)伝送とファイバ光増幅・接続技術, 光ファイバ計測応用, 一般

【問合先】

小川憲介(フジクラ)
〒285-8550 佐倉市六崎1440
TEL [045] 924-5038, FAX [043] 481-1210
E-mail : kenogawa@lab.fujikura.co.jp

植之原裕行(東工大)
〒226-8503 横浜市緑区長津田4259 R2-43
TEL & FAX [045] 924-5038
E-mail : uenohara.h.aa@m.titech.ac.jp

橋本俊和(NTT フォトニクス研究所)
〒243-0198 厚木市森の里若宮3-1
TEL [046] 240-2044, FAX [046] 240-2365
E-mail : hashimoto.toshikazu@lab.ntt.co.jp

◎OPE 研究会ホームページ

<http://www.ieice.or.jp/es/ope/>

◎OPE 研究会では、H18年度より「学生優秀研究賞」を新設しました。学生の方の発表の中から特に優れた研究を表彰致しますので、積極的な御投稿をお待ちしています。詳細は研究会HPを御覧下さい。

——東北支部における開催——

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 山田敬嗣 副委員長 大町真一郎・柏野邦夫
幹事 飯山将晃・関 真規人 幹事補佐 田中 宏・堀田政二

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博
幹事 梅村浩之・洪井 進
幹事補佐 和田有史・清河幸子・齋藤晴美

日時 12月13日(木) 11:00~17:00
14日(金) 10:00~16:15

会場 山形大学工学部米沢キャンパス4号館中示範C(米沢市城南4-3-16. 山形新幹線・奥羽本線: 米沢駅下車, タクシー約10分(約1,200円). または市街地循環バス(右回り: 青バス) 山大正門下車(15分, 200円), 徒歩1分. 市街地循環バス(左回り: 黄バス) 山大正門下車(30分, 200円) 徒歩1分. 山交バス(白布温泉行き) 城南二丁目下車(10分, 240円) 徒歩5分. <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/access/> 井上雅史)

議題 持続可能な社会に貢献するパターン認識

13日午前 一般セッション1

- 隠れマルコフモデルによる自動和音認識を用いたカバー演奏 ストリームからの楽曲同定手法の検討
○中沢彰吾・三河正彦・田中和世(筑波大)・伊藤慶明(岩手県立大)
- 省エネ支援サービス向け使用量予測に基づく行動推薦方法
○関本信博・島田和之・伴 秀行(日立)

13日午後 一般セッション2(13:30~)

- 特徴選択を伴う早期認識
○白石壮馬・フォン ヤオカイ・内田誠一(九大)

4. 高速日本語文字認識のための線形判別分析を用いた高精度クラスタリング手法 ○佐々木崇裕・後藤英昭 (東北大)
一般セッション 3

5. Effects of dimension reduction on appearance based pattern classification ○Hayato Itoh (Chiba Univ.)・Tomoya Sakai (Nagasaki Univ.)・Atsushi Imiya (Chiba Univ.)

6. SVM を用いたテキストチャ分類における高次元モーメントの次数と分類精度について ○ファン チュン グエン パオ・亀山啓輔 (筑波大)

特別講演 1

7. [特別講演] 局所特徴の部分空間による画像特徴表現を用いた特定物体認識 高橋隆史 (龍谷大)

14 日午前 一般セッション 4

1. 互換性を維持したバーコードの大容量化と秘匿化及び誤り訂正の導入 ○寺浦信之 (テラ研)・櫻井幸一 (九大)
2. 変分原理による他フレームオプティカルフロー時間超解像 ○稲垣 俊・井宮 淳 (千葉大)
3. カメラ・プロジェクタシステムを用いたタッチスクリーンの構築 ○吉田龍生・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)
4. MIRU2012 若手プログラム実施報告 ○飯山将晃 (京大)・内海ゆづ子 (阪府大)・清水彰一 (三菱電機)・寺林賢司 (静岡大)・鳥居秋彦 (東工大)・満上育久 (阪大)・船富卓哉 (京大)

14 日午後 特別講演 2

5. [特別講演] 農業におけるセンサネットワークの現状と課題ーフィールドサーバ開発の観点からー 平藤雅之 (農研機構)
6. [特別講演] エネルギーの情報化の取り組みに関する紹介 加藤丈和 (京大)

一般セッション 5

7. Construction of the wig production system for the elderly person and the cancer patient ○Yonghu Zhu・Yoshiaki Adaniya・Kazuhiro Tsujino・Cunwei Lu (Fukuoka Inst. of Tech.)
8. Real-time scene text detection and tracking for wearable camera systems ○Pegeot Faustin・Goto Hideaki (Tohoku Univ.)

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 1 月 23 日 (水), 24 日 (木) 京大 [締切済] テーマ: 実時間処理, 実空間センシングと環境理解 (PRMU, MVE, SIG-MR 共催, IPSJ-CVIM 併催)
- 2 月 21 日 (木), 22 日 (金) 阪府大 [12 月 6 日 (木)] テーマ: 大規模データベースとパターン認識
- 3 月 14 日 (木), 15 日 (金) 電通大 [1 月 7 日 (月)] テーマ: 文字・文書の認識と理解及びアルゴリズム・システム評価
- 2012 年度 3 月の PRMU 研究会は「文字・文書の認識と理解, 及びアルゴリズム・システム評価」のテーマで開催します。今回の研究会では, PRMU 研究会恒例のテーマセッション「文字・文書の認識と理解」と, テーマセッション「アルゴリズム・システム評価」をあわせて開催します。

文字・文書認識技術は, スキャナで取得した高品質な文書画像から, デジタルカメラ, スマートフォン等で撮影した低品質画像まで認識対象を拡大しており, モバイルデバイスを活用した新しいアプリケーションが次々と現れています。それらに対応するため, 情景内文字抽出, 大量文書情報処理などの新しい技術テーマの研究も活発であり, 多くの技術分野に跨った境界的な研究が

活性化しています。例えば, 文字・文書認識に関連した技術として, 画像処理, 特徴抽出, 識別理論, 言語処理, 入出力インタフェースなど, 多くの要素技術が関連しています。

このように多くの要素技術に関連し, 様々な応用が拡大している文字・文書認識技術においては, 開発された技術がユーザにとってどのようなメリットを持つかを見直すことも重要です。もう一方のテーマセッション「アルゴリズム・システム評価」では, 要素技術と応用技術の両面から見た開発技術の評価方法について特集します。PRMU 研究会は, 文字・文書に限らず, 画像, 音声など様々なメディアを扱う研究会です。同じ分野でも課題設定によって評価方法が異なる場合もあります。今後, PRMU 技術が人間の感性に近づき高度化していく中で, 評価技術はますます重要になると考えます。アルゴリズム・システム・手法自体の評価だけでなく, 評価データの整備や応用ターゲットの明確化など, 評価そのものにとどまらない拡がりを持つ, PRMU 技術の全般にとって重要なテーマではないでしょうか。

文字・文書認識技術に興味がある皆様, その周辺技術に興味がある皆様, また, 文字・文書に限らない, それぞれの分野での評価技術に一言をお持ちの方々など, 多くの研究者の皆様からの積極的な御投稿及び御参加をお待ちしております。

また, テーマセッションに加えて, 一般セッションも開催します。こちらにも積極的な御投稿をお願いします。

【問合せ先】

PRMU 研究会幹事宛

E-mail: prmu-kanji@mail.ieice.org

★電子デバイス研究会 (ED)

専門委員長 加地 徹 副委員長 原 直紀

幹事 須原理彦・上田哲三 幹事補佐 葛西誠也・松永高治

日時 12 月 17 日 (月) 13:00~17:25

18 日 (火) 9:00~15:40

会場 東北大学電気通信研究所片平北キャンパスナノ・スピン総合研究棟 4 階カンファレンスルーム (仙台市青葉区片平 2-1-1. <http://www.riec.tohoku.ac.jp/access/index-j.shtml>)

議題 ミリ波・テラヘルツ波デバイス・システム

17 日

1. 歪みと量子閉じ込め効果を考慮したモンテカルロ計算によるナノゲート InGaAs/InAs/InGaAs チャネル HEMT の DC・RF 特性 ○遠藤 聡 (NICT/富士通研)・渡邊一世・笠松章史 (NICT)・三村高志 (富士通研/NICT)
2. 再配線を利用した 77 GHz 帯高出力増幅器モジュールの開発 ○佐藤 優・石月義克・佐々木伸也・松村宏志・鈴木俊秀・谷 元昭 (富士通研)
3. 75-nm InP HEMT を用いた F 帯双方向増幅器 ○芝 祥一・佐藤 優・鈴木俊秀・中舎安宏・高橋 剛・牧山剛三・原 直紀 (富士通)
4. [招待講演] 半導体多層膜結合共振器によるテラヘルツ光発生 ○森田 健・北田貴弘・井須俊郎 (徳島大)
5. 紫外線硬化樹脂を用いた導波路 GaP 結晶からのテラヘルツ波発生高効率化 ○出崎 光・斎藤恭介・小山 裕 (東北大)
6. 光パルス励起によるグラフェン内テラヘルツ反転分布 ○佐藤 昭・リズィーヴィクトール・栗田裕記・尾辻泰一 (東北大)
7. [招待講演] Frequency domain THz spectroscopy and imag-

ing with 1.55- μ m fiber-optic technology and coherent detection

○Jae Young Kim・Katsuhiko Ajito・Ho Jin Song・
Makoto Yaita・Naoya Kukutsu (NTT)

8. [招待講演] 300 GHz~1 THz を利用した無線通信の将来展望
○永妻忠夫 (阪大)・尾辻泰一 (東北大)・
味戸克裕 (NTT)・寶迫 巖 (NICT)

18 日午前

1. [招待講演] LiNbO₃ 導波路を用いたチェレンコフ位相整合型テラヘルツ光源開発とその応用
○塩田和教・小野 茂・
入澤昭好・今村元規 (アドバンテスト)

2. 単一縦モード>1 kW 出力テラヘルツ光パラメトリック光源
○林 伸一郎・縄田耕二 (理研)・川瀬晃道 (名大/理研)・
南出泰重 (理研)

3. Operation temperature performance improvement by utilizing high Al composition AlGaAs in THz QCLs
○Tsung-Tse Lin・Hideki Hirayama (RIKEN)

4. 量子井戸の薄層化と深化による共鳴トンネルダイオードのテラヘルツ発振周波数上昇
○金谷英敏・曾我部 陸・
鈴木左文・浅田雅洋 (東工大)

5. テラヘルツ帯無線通信応用を目指した広帯域アンテナ集積共鳴トンネルダイオードのモデリングと動作解析
○浅川澄人・斉藤光史・須原理彦 (首都大東京)

6. High Frequency Performance of GaAsSb/InAlAs/InGaAs Tunnel Diodes
○Mikhail Patrashin・Norihiro Sekine・
Akifumi Kasamatsu・Issei Watanabe・
Iwao Hosako (NICT)・Tsuyoshi Takahashi・Masaru Sato・
Yasuhiro Nakasha・Naoki Hara (Fujitsu Lab.)

7. サブミリ波帯無バイアス動作 InP 系 SBD モジュール
○伊藤 弘 (北里大)・村本好史 (NTT)・
山本 洋 (北里大)・石橋忠夫 (NEL)

18 日午後 (13:30~)

8. [招待講演] 非冷却ポロメータ型フォーカルプレナレイによるテラヘルツカメラとその応用
小田直樹 (NEC)

9. レーザーテラヘルツエミッション顕微鏡を用いた太陽電池評価技術の開発
○川山 巖 (阪大)・中西英俊・
伊藤 明 (大日本スクリーン)・Salek Abu Khandoker・高山和久・
村上博成・斗内政吉 (阪大)

10. Frequency-Tunable Narrowband Time-Domain Terahertz Wave Generation by Optical Rectification
○Caihong Zhang (Osaka Univ.)・Yuri Avetisyan (YSU)・
Iwao Kawayama・Hironaru Murakami・
Masayoshi Tonouchi (Osaka Univ.)

11. [招待講演] Plasmon induced transparency in terahertz metamaterials
○Jianguang Han (Tianjin Univ./Osaka Univ.)・
Jianqiang Gu・Zhen Tian (Tianjin Univ.)・
Masayoshi Tonouchi (Osaka Univ.)・
Weili Zhang (Oklahoma State Univ.)

○17 日研究会終了後、懇親会を開催します。

☆ED 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 16 日 (水)~18 日 (金) 機械振興会館 [締切済] テーマ: 化合物半導体デバイス及び超高周波デバイス/マイクロ波一般

2 月 27 日 (水), 28 日 (木) 北大百年記念会館 [12 月 7 日 (金)] テーマ: 機能ナノデバイス及び関連技術

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合せ]

須原理彦 (首都大東京)

TEL [042] 677-2765, FAX [042] 677-2756

E-mail: michihiko.suhara@tmu.ac.jp

上田哲三 (パナソニック)

TEL [075] 956-8273, FAX [075] 956-9110

E-mail: ueda.tetsuzo@jp.panasonic.com

——東海支部における開催——

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 小池康晴 副委員長 中尾光之

幹事 井澤 淳・渡邊高志 幹事補佐 吉村奈津江・中村和浩

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 西井 淳 副委員長 古川徹生

幹事 小澤誠一・宮下真信 幹事補佐 佐藤直行・木村聡貴

◎本研究会は MBE 研究会と NC 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12 月 12 日 (水) 9:00~17:55

会場 豊橋技術科学大学 A1 棟, A2 棟 (豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1. 豊橋駅東口 2 番乗り場から豊鉄バスにて豊橋技科大線に乗車「技科大前」にて下車 (約 35 分)。 <http://www.tut.ac.jp/about/access.html> TEL [0532] 44-6772 福村直博)

議題 ME, 一般

午前 MBE1-1 (9:30~11:35)

MBE-1. 立体映像追従が重心動揺に及ぼす影響 吉川一輝・

○酒井正樹・酒井達也・平田隆幸・高田宗樹 (福井大)

MBE-2. アルコール摂取が座位姿勢制御に及ぼす影響

高田宗樹・平田隆幸・谷口慎一・○稗田裕太 (福井大)

MBE-3. 確率共鳴を用いた高齢者胃電図の数値解析

木下史也・○笠松千雅・高田宗樹・平田隆幸・

松浦康之 (福井大)

MBE-4. 環境変化を考慮した光電容積脈波信号からのカフレス血圧変動量推定

○横井都司如・河中治樹・

小栗宏次 (愛知県立大)

MBE-5. 超音波 B-mode 画像において周辺組織の動きも利用した頸動脈の弾性率推定

○横田康成・河村洋子・

野方文雄 (岐阜大)

午後 パネルディスカッション「工学と脳神経科学との接点」(NC/MBE 共通) (12:50~14:40)

共通-6. [パネル討論] マイクロ/ナノプローブアレイデバイスのニューラルインタフェース応用 河野剛士 (豊橋技科大)

共通-7. [パネル討論] 神経伝達物質を視るデバイスが拓く神経科学の展開—求められる技術を開発する技術—

○吉田祥子・穂積直裕 (豊橋技科大)

共通-8. [パネル討論] 自由行動する動物での行動計測・多点電位計測の重要性と電気刺激の必要性 木村哲也 (長寿研)

共通-9. [パネル討論] 計算論的神経解剖学からアプローチする BMI リハビリテーション 井澤 淳 (ATR)

MBE1-2 (14:50~17:20)

MBE-10. オープンソース・ソフトウェアを使用した医療機器管

理支援パッケージソフトウェアによる物品管理の解析
 ○渡邊翔太郎・守田憲崇・北間正崇・清水久恵・山下政司・木村主幸・有澤準二（北海道工大）・有澤博明・松崎智哉・坂 武敏（坂泌尿器科病院）

MBE-11. データベースアプリケーションの連動による透析回診・医療材料管理支援システムの構築 ○泉 朋伸・渡邊翔太郎・守田憲崇・北間正崇・清水久恵・山下政司・木村主幸・有澤準二（北海道工大）・有澤博明・松崎智哉・坂 敏文（坂泌尿器科病院）

MBE-12. 聴覚定常応答の搬送周波数依存性とアニメーション呈示効果 ○工藤文美恵・栗城真也・田中慶太・内川義則（東京電機大）

NC-13. 聴覚特性に基づいた頭部伝達関数の補正による音像定位精度の改善 ○大橋幸則・村越一支（豊橋技科大）

NC-14. 脳波ダイナミクスによる単文の意味的統合メカニズムの検討 ○荒井翔真・岩淵俊樹・水原啓暁・朝倉暢彦・乾 敏郎（京大）

NC-15. Mere Exposure Effect Reflected in Gamma Oscillation—an EEG study—
 ○Nutchakan Kongthong（ToyoHashi Univ. of Tech.）・Tetsuto Minami（EIIRIS）・Shigeki Nakauchi（ToyoHashi Univ. of Tech.）

午前 NC1-1（9：00～11：30）

NC-16. 遷移した状態の集約によって適切な Shaping 報酬を提示する強化学習 ○岡 晋之介・村越一支（豊橋技科大）

NC-17. 拡散的好奇心を取り入れた未知の情報へ行動を誘発する強化学習手法 ○中島健志・村越一支（豊橋技科大）

NC-18. 動的バイナリーネットワークの応用：マトリックスコンバータのスイッチ信号の学習 ○中山雄太・斎藤利通（法政大）

NC-19. 階層型 ART-Map の分類機能について ○岡本祐輔・斎藤利通（法政大）

NC-20. 動径基底関数ネットワークにおける学習係数の数値的導出 ○徳田 悟・永田賢二・岡田真人（東大）

NC-21. シナプス抑圧による偽記憶の不安定化 ○村田 伸・大坪洋介・永田賢二（東大）・岡田真人（東大／理研）

午後 パネルディスカッション「工学と脳神経科学との接点」（NC/MBE 共通）（12：50～14：40）（前掲）

NC1-2（14：50～16：30）

NC-22. 神経回路モデルによる図形の輪郭の非対称性を用いた歪対称図形の傾き推定 ○杉浦 崇・村越一支（豊橋技科大）

NC-23. 画素値の類似度新たに輪郭の類似度を追加した情報を基にした画像修復手法 ○古木裕一・村越一支（豊橋技科大）

NC-24. マルコフ確率場モデルにおけるハイパーパラメータの分布推定 ○大野義典・永田賢二（東大）・庄野 逸（電通大）・岡田真人（東大／理研）

NC-25. スパイクトリガー平均のスパース推定 ○四倉晋平（東大）・大森敏明（神戸大）・永田賢二・岡田真人（東大）

NC1-3（16：40～17：55）

NC-26. 多チャンネル計測による網膜外網状層反対色変換機構の解析を目指して ○カミジ ニュートン リュウジ（理研）・針本哲宏・石田 誠（豊橋技科大）・山田雅弘（理研）・臼井支朗（豊橋技科大）

NC-27. ジャーク最小規範に基づいた経路点の空間的な位置を考慮した手話認識手法 ○猪狩晋平・福村直博（豊橋技科大）

NC-28. 神経回路網によるマハラノビス判別関数の学習—信号が正規分布に従わない場合— ○泉 寛幸（愛知学院大）・伊藤嘉房（愛知医科大）・Cidambi Srinivasan（ケンタッキー大）

◆NC：日本神経回路学会，IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter 共催

MBE：日本生体医工学学会；ME とバイオサイバネティクス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 1月25日（金），26日（土）九工大〔締切済〕テーマ：ME，一般
 3月13日（水）～15日（金）玉川大〔1月15日（火）〕テーマ：ME，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】
 吉村奈津江（東工大）
 〒226-8503 横浜市緑区長津田町 4259-J3-10
 TEL [045] 924-5054, FAX [045] 924-5085
 E-mail : yoshimura@cns.pi.titech.ac.jp

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
 1月24日（木），25日（金）北大百年記念会館〔締切済〕
 テーマ：一般
 3月13日（水）～15日（金）玉川大〔1月15日（火）〕
 テーマ：ME，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】
 宮下真信（沼津高専）
 〒410-8501 沼津市大岡 3600
 TEL & FAX [055] 926-5782
 E-mail : miyasita@numazu-ct.ac.jp

★環境電磁工学研究会（EMCJ）

専門委員長 桑原伸夫 副委員長 多氣昌生
 幹事 王 建青・内海邦昭 幹事補佐 平井義人・青柳貴洋

日時 12月14日（金）9：00～17：15

会場 岐阜大学医学部小会議室（岐阜市柳戸1-1, JR・名鉄：岐阜駅下車，直行バスで「岐阜大学病院」下車（約25分）。注意：下車バス停は、「岐阜大学」ではなく，その2つ後の「岐阜大学病院」です。タクシーの場合も「岐阜大学病院」までお出で下さい。バス停の前は大学病院で，その右隣り（南側）の建物が医学部です。医学部正面玄関の右側にインターホンがあるので，研究会参加を告げると開錠されて入館できます。小会議室は，玄関の右奥1階。<http://www.gifu-u.ac.jp/view.rbz?cd=393> TEL [058] 293-2727 関根敏和）

議題 電力，生体，EMC，一般

EMCJ-1. 反射箱内の小動物に対する数値ドシメトリ

○チャカロタイ ジェドヴィスノブ・王 建青・藤原 修（名工大）・和氣加奈子・渡辺聡一（NICT）

EMCJ-2. 通話情報記録端末（SMP）を用いた疫学研究ばく露評価の基礎的検討 ○渋谷まりこ・生田祐也・江崎かおる・多氣昌生（首都大東京）・和氣加奈子・渡辺聡一（NICT）

清原康介・小島原典子・山口直人（東京女子医科大）

EMCJ-3. ダイポールアンテナによる頭部内温度上昇の血流量変

化により生じるばらつきを検討 ○浅井龍一・
ラークソ イルッカ・平田晃正 (名工大)
EMCJ-4. ノート PC 内蔵アンテナの SAR

○椎名健雄 (首都大東京)・大西輝夫 (NTT ドコモ)・
多氣昌生 (首都大東京)

5. 接触電流による体内電界評価とその電気安全への適用—電磁
界防護における計算手法を用いた電気安全パラメータの算出—
山崎健一 (電中研)

EMCJ-6. 半波長ダイポール近傍の空間インピーダンス分布に着
目した電界強度計算法 ○中山 勝・小林岳彦 (東京電機大)

EMCJ-7. 測定距離による利得変化を利用した位相中心の推定
張間勝茂 (NICT)

EMCJ-8. 電波暗室のサイト VSWR に関する基礎検討—暗室の
寸法とサイト VSWR の相関性— ○竹山弘章・須賀良介・
橋本 修 (青学大)

午後

EMCJ-9. ESD 試験用透明シールドボックスの作成とシールド
性能に関する基礎検討 ○長野友彦・大塚信也 (九工大)・
田畑隆司・高倉 肇・久保賢児・佐藤永一 (E&C)

EMCJ-10. 生活支援ロボットにおける帯電フレームモデルの
ESD イミュニティ試験法の検討—電動車いすの製品規格で規
定された試験法に関する考察— ○村上真之・
池田博康 (労働安全衛生総研)

EMCJ-11. Fundamental Study of Flashover Phenomenon be-
tween Foil Conductors on Printed Wiring Board on ESD Test
with a ESD-gun ○Kotaro Tsuboi・Sho Iwai・
Shinya Ohtsuka (Kyushu Inst. of Tech.)

EMCJ-12. ESD ガンを用いた静電気放電試験時のプリント配線
板上パターンギャップ間に発生する電圧の FDTD 法及び
EMTP による検討 ○岩井 将・坪井浩太郎・
大塚信也 (九工大)

13. 伝導性電磁雑音に対する IP 機器のイミュニティ評価法の検
討 ○山崎健一・遊佐博幸・宮島清富・工藤健裕 (電中研)

EMCJ-14. Wii リモコンを利用した 3 次元低周波磁界分布測定
○櫻村宜孝・佐藤 健・上村佳嗣 (宇都宮大)

EMCJ-15. 2 ポート測定による 3 ポート S パラメータ推定とそ
のイミュニティ試験系への応用 ○前田 登・
福井伸治 (部品総研)・市川浩司・櫻井礼彦 (アソシ)・
関根敏和・高橋康宏 (岐阜大)

EMCJ-16. EMC マクロモデルによる暗号モジュールのサイド
チャンネル攻撃に対する安全性の予測 ○五百旗頭健吾・
天野哲夫・岡本 薫・豊田啓孝 (岡山大)

EMCJ-17. Survey on Secure Adiabatic Logic for Countermeas-
ure against Side-Channel Attacks ○Cancio Monteiro・
Yasuhiro Takahashi・Toshikazu Sekine (Gifu Univ.)

EMCJ-18. [特別講演] ハーネスは線路かアンテナか
中村 隆 (岐阜大)

◆電気学会；電磁環境技術委員会連催。IEEE EMC Society Ja-
pan Chapter, URSI-E 分科会共催。IEEE EMC Society Sendai
Chapter 協賛

◎研究会終了後に懇親会を予定していますので、是非御参加下さい。
会場：大学近くの和食処。バス送迎有(帰りは JR 岐阜駅まで)
日時：17:45～ 会費：4,500 円

☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月10日(木), 11日(金) 長崎大〔締切済〕テーマ：通信,
EMC, 一般

第一種研究会開催案内

2月 休会

3月8日(金) 機械振興会館〔1月14日(月)〕テーマ：放
送, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ】

青柳貴洋 (東工大大学院社会理工学研究科人間行動システム専攻)
〒152-8552 目黒区大岡山 2-12-1-W9-110
TEL & FAX [03] 5734-2992
E-mail: emcj@mail.ieice.org

——北陸支部における開催——

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 小崎成治・梅原大祐

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 如澤裕尚 副委員長 藤井俊彰・井口和久

幹事 内藤 整・久保田 彰 幹事補佐 浜本隆之・坂東幸浩

日時 12月6日(木) 9:20~17:50

7日(金) 9:15~16:15

会場 福井市地域交流プラザ研修室 607号室(福井市手寄1-4。
JR北陸本線:福井駅徒歩1分, えちぜん鉄道:福井駅徒歩1
分。http://www.aossa.jp/city.html TEL [0776] 20-1535
(会場) 吉田俊之(福井大)

議題 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

6日午前

1. 特定ラジオマイクの周波数移行に向けた回線設計の検討
○小郷直人・濱住啓之 (NHK)
2. TDD-双方向 FPU における Type-II HARQ 方式の適用に関
する検討 ○鶴澤史貴・光山和彦・池田哲臣 (NHK)・
平栗健史 (日本工大)
3. モバイルデータ通信による NOTTV 番組内テレビ中継に関す
る報告 ○林 康彦・西澤伸一・大矢智之 (mmbi)
4. 動き情報の時間相関性を考慮した x-means クラスタリングに
よる動オブジェクト分割法の精度改善 今村幸祐 (金沢大)
5. 手持ちカメラと点群マーカーを用いた 3 次元モデリングシステ
ム ○衣川 彰・松田一朗・深井寛修・
伊東 晋 (東京理科大)
6. 超解像を用いた JPEG コーデックに関する一検討
○清川正徳・黒木修隆・廣瀬哲也・沼 昌宏 (神戸大)
7. [特別講演] 低遅延デジタルラジオマイクの開発動向
濱住啓之 (NHK)
8. [特別招待講演] 高臨場感通信のための次世代映像符号化
坂東幸浩 (NTT-AT)

6日午後 (13:55~)

IE-9. 部分画像検索における色相特徴と照明不変色特徴 H' の比
較 ○松本 亘・亀山啓輔 (筑波大)

IE-10. 多方向多色照明下における映像オドメトリの伝送量削減
○江崎諒介・南 遥・岩橋政宏 (長岡技科大)

IE-11. 部分的な奥行き指定に基づく映像コンテンツの疑似 3 次
元化 ○成田裕介・松田一朗・深井寛修・
伊東 晋 (東京理科大)

告 17

CS-12. VHDL 記述の最適化による Bemis 網の並列制御回路の性能改善 ○市村英也・加藤陽介・小原 仁 (秋田大)

CS-13. 減衰定数を学習する位置推定アルゴリズム

○坂口大樹・相河 聡 (兵庫県立大)

CS-14. 高速度カメラ画像の実時間ソフトウェア処理による可視光通信システム ○笠井 信・圓道知博 (長岡技科大)・

山里敬也・岡田 啓・藤井俊彰 (名大)・

荒井伸太郎 (香川高専)

CS-15. [特別招待講演] M2M 無線ネットワークを実現する次世代 IEEE 802.11 無線 LAN 守倉正博 (京大)

CS-16. [特別招待講演] 医工連携領域の最近の研究概要の御紹介—すべてをスクラッチから造り上げることの素晴らしさ—

川島 信 (中部大)

7 日午前

IE-1. 高速カメラを用いた降雪粒子の画像計測

○堀内 尚・久保 守 (金沢大)・村本健一郎 (石川高専)

IE-2. 全天魚眼画像の回転パラメータ校正 ○櫻井孝洋・

久保 守 (金沢大)・鎌田直人 (東大)

IE-3. 高フレームレート画像の特徴を用いた勾配法に基づく高精度動き推定

○佐藤佑樹・菅井男也・

浜本隆之 (東京理科大)

IE-4. ハイブリッドカメラシステムによる遠距離離標識画像取得システムの検討 ○蜂巢拓巳・圓道知博 (長岡技科大)

IE-5. 並列可視光通信における LED アレイの輝度値推定

○伊藤貴紀・圓道知博 (長岡技科大)・

荒井伸太郎 (香川高専)・山里敬也・岡田 啓・

藤井俊彰 (名大)

6. 地域観光振興と防災に向けた地域情報プラットフォームとエリアワンセグ放送システムの研究

○三代沢 正・

広瀬啓雄・土屋 健 (諏訪東京理科大)

7. 『Ω FINDER (オメガファインダー)』の開発—AR 技術を採用した中継現場下見支援用 Android アプリケーション—

加藤克行 (TBS)

8. [特別招待講演] ICIP 国際会議の動向 吉野知伸 (KDDI 研)

9. 映像符号化情報を用いたシーン判定手法の一検討

○三反崎暁経・小野尚紀・清水 淳 (NTT)

10. A Consideration on Comic Reader's Behavior using Gaze Path and Pupil Size

○Ny Sokhour・Mutsumi Suganuma・

Pao Sriprasertsuk・Wataru Kameyama (早大)

11. フーリエ記述子と色情報を用いた野菜識別手法

○山崎太一・石井大介・渡辺 裕 (早大)

CS-12. ガードインターバルを超える遅延波による干渉を考慮した OFDM の等化技術に関する一検討

○田中佑樹・

藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)

CS-13. SC-FDMA のための軟判定復号法に関する一検討

○山内惇史・藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)

CS-14. Rate-Compatible LDPC 符号を用いた ARQ システムにおけるスループット特性に関する一検討

○柳沼悠介・

藤井雅弘・渡辺 裕 (宇都宮大)

IE-15. 帯域分割型 Shape From Focus/Defocus 法の高精度化について

○小寺加南子・仲野 豊・吉田俊之 (福井大)

IE-16. ワーピングとブロックマッチングを併用したフレーム補間法について

○大久保雄介・仲野 豊・吉田俊之 (福井大)

◆情報処理学会；オーディオビジュアル複合情報処理研究会，映像情報メディア学会；放送技術研究会連催

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 24 日 (木), 25 日 (金) 愛媛大 [締切済] テーマ：コア・メトロシステム, 光アクセスシステム・次世代 PON, ブロードバンドアクセス方式, (広域) イーサネット, 光伝達網 (OTN), 高速インタフェース, アナログ光伝送, 量子通信, 一般

2 月 休会

3 月 慶大鶴岡キャンパス [未定] テーマ：ネットワークプロセッサ, 通信のための信号処理, 無線 LAN/PAN, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

小崎成治 (三菱電機)

TEL [03] 3218-6305, FAX [03] 3218-6454

梅原大祐 (京都工繊大)

E-mail : kanji2012@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

☆IE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 11 日 (月), 12 日 (火) 福岡工大 [1 月 15 日 (火)]

テーマ：メディア・コミュニケーションの品質と福祉, 及び

一般 (食メディア研究会協賛)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

久保田 彰 (中大)

E-mail : ie-kanji2012@mail.ieice.org

★ディペンドブルコンピューティング研究会 (DC)

専門委員長 梶原誠司 副委員長 金川信康

幹事 中村友洋・土屋達弘

日時 12 月 14 日 (金) 13 : 45 ~ 17 : 30

会場 アオッサ福井 (福井市手寄 1-4-1. JR 北陸本線 : 福井駅 徒歩 1 分. えちぜん鉄道 : 福井駅徒歩 1 分. <http://www.aossa.jp/access.html> TEL [0776] 20-1535 (会場) 岩田浩司 (鉄道総研))

議題 安全性及び一般

1. Mobile device prediction for location-based cloud service

○Haibo Yan・Masato Kitakami (Chiba Univ.)

2. 転置索引を用いた可逆圧縮データに対する誤り制御

○戸山光平・北神正人 (千葉大)

3. CAN プロトコルによる車載 LAN における高電磁ノイズ下での耐故障性

○根岸正彦・サイサナソノカム アロムハック・

新井雅之・福本 聡 (首都大東京)

4. 系再構成機能を有する分散制御システムの開発

○望月 寛・武田裕太・遠山雄二郎 (日大)

5. 過剰テスト緩和のためのテスト生成モデルと故障の許容性に基づくテストへの応用

○櫻田正明・市原英行・岩垣 剛・

井上智生 (広島市大)

6. Research on Formalization and Analysis of Automatic Train Protection and Block System

○Guo Xie・

Hiroshi Mochizuki・Sei Takahashi・

Hideo Nakamura (Nihon Univ.)

7. SMT ソルバを用いた単線自動閉そくの仕様検証

寺田夏樹 (鉄道総研)

【問合先】

岩田浩司 (鉄道総研)

E-mail : kouji-i@rtri.or.jp

☆DC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月13日(水) 機械振興会館 [12月7日(金)] テーマ:
VLSI 設計とテスト及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

土屋達弘 (阪大)

E-mail : t-tutiya@ist.osaka-u.ac.jp

○最新情報は、DC 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/iss/dc/jpn/>

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 上田哲史 副委員長 池口 徹

幹事 高坂拓司・神野健哉 幹事補佐 坪根 正・木村貴幸

日時 12月17日(月) 13:00~17:00

18日(火) 9:20~12:25

会場 福井市地域交流プラザ研修室 607 (福井市手寄 1-4-1
AOSSA 6 階. <http://www4.fctv.ne.jp/~kouryu/shisetuannai.html> TEL [0776] 27-8762 茂呂征一郎)

議題

17日

1. 大脳皮質の自発発火モデルにおける非同期と同期の遷移過程に関する基礎研究
○嘉田久嗣 (立命館大)・岩本隆広 (北陸先端大)・徳田 功 (立命館大)・寺前順之介 (理研)
2. 非同期型逐次更新 PSO の解探索の基本性能について
○関口卓嗣・進藤卓也・神野健哉 (日本工大)
3. 動的結合ネットワークの振動停止現象を誘発する結合パラメータの設計—パラメトリックなロバスト安定性解析の活用—
○小西啓治・原 尚之 (阪府大)
4. 2段階増分コンダクタンス法を用いた最大電力点追尾アルゴリズムの一考察
○大塚裕輔・木村貴幸 (日本工大)
5. 周期的なしきい値を有する合成力学系における分岐点の一計算法—しきい値を分岐パラメータとする場合—
○池田剛毅・麻原寛之 (大分大)・合原一幸 (東大)・高坂拓司 (大分大)
6. 不確かなパラメータを伴う1次元興奮性媒体モデルに伝搬するパルス波のフィードバック制御
○森 祐介・丸橋 翔・小西啓治・原 尚之 (阪府大)
7. 結合に遅延を含む複雑ネットワークにおける振動現象とセンターノードに関する考察
○森下 猛・茂呂征一郎 (福井大)
8. 拡張 BVP 発振器にみられる MMOs 遍歴とカオス
○清水邦康・斎藤悠斗 (千葉工大)・伊藤 薫・稲葉直彦・遠藤哲郎 (明大)
9. 特異摂動系におけるアヒル解の数値計算について
○児玉貴大・土居伸二 (京大)

18日

1. 前後に動く受動歩行機の数理モデル導出とその解析
○竹本雅哉・小西啓治・原 尚之 (阪府大)
2. 逆関数ゼロ遅延 (IDL) モデル
○渡邊裕斗 (東北大)・早川吉弘 (仙台高専)・佐藤茂雄・中島康治 (東北大)

3. 高次結合離散 ID ネットワークのハードウェア実装

○松井孝輔 (東北大)・早川吉弘 (仙台高専)・佐藤茂雄・中島康治 (東北大)

4. ニューラルネットワークによる途絶耐性ネットワークのスケジューリング最適化
○佐々木大輔 (東北大)・早川吉弘 (仙台高専)・佐藤茂雄・中島康治 (東北大)

5. 非線形素子を含むパワーエレクトロニクス回路のハルウェーブレット変換を用いた解析法とその評価

○望月政孝・茂呂征一郎 (福井大)

6. An Approach to Logical Behavior of Memory Devices in Coupled MEMS Resonators
○Atsushi Yao・Takashi Hikiyara (Kyoto Univ.)

7. DC-AC インバータのスイッチング位相の最適化
○森田和也・栗原拓哉・神野健哉 (日本工大)

☆NLP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 北大百年記念会館 [締切済]
テーマ: 一般

【問合先】

高坂拓司 (大分大)

E-mail : takuji@oita-u.ac.jp

TEL [097] 554-7799, FAX [097] 554-7790

— 関西支部における開催 —

★シリコン材料・デバイス研究会 (SDM)

専門委員長 奈良英雄 副委員長 大野裕三

幹事 野村晋太郎・笹子佳孝

日時 12月7日(金) 10:00~17:00

会場 京都大学桂キャンパス A1 棟地下講義室 (A1-001) (京都市西京区京都大学桂. 阪急桂駅 (西口) からバス 15分「京大桂キャンパス前」下車. http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/access/campus/map6r_k.htm TEL [075] 383-2300 木本恒暢)

議題 シリコン関連材料の作製と評価

1. 超高耐圧 SiC PiN ダイオードの作製と低オン抵抗化
○梶 直樹・丹羽弘樹・須田 淳・木本恒暢 (京大)
2. 塩素系ガスによる SiC のプラズマレス・エッチング
○畑山智亮・堀 良太・田村哲也・矢野裕司・冬木 隆 (奈良先端大)
3. 電子線照射による SiC の正孔の各種散乱機構の変化
○村田耕司・森根達也・松浦秀治 (阪電通大)・小野田 忍・大島 武 (原子力研)
4. 4H-SiC (11-20) 面上に形成した MOS 界面へのリン導入による界面単位密度の低減効果
○梅澤奈央・矢野裕司・畑山智亮・冬木 隆 (奈良先端大)
5. イオン液体 BMIM-PF6 イオンビーム照射によるガラス基板の表面改質
○竹内光明・濱口拓也・龍頭啓亮・高岡義寛 (京大)
6. 直鎖炭化水素イオンビームによるシリコン表面照射効果の分子量依存性
○今中浩輔・竹内光明・龍頭啓亮・高岡義寛 (京大)
7. DNA を用いたメモリトランジスタのキャリア挙動の検討
○前野尚子・松尾直人・部家 彰・高田忠雄・山名一成 (兵庫県立大)
8. タンパクを利用した金ナノ粒子配置プロセスとそのプラズモ

ン特性 ○西城理志・石河泰明・鄭 彬・山下一郎・
浦岡行治 (奈良先端大)

午後

9. 薄膜トランジスタによるニューラルネットワーク非対称回路での動作確認— ○木村 陸・山口裕貴・森田竜平・藤田悠佑・宮谷友彰・笠川知洋 (龍谷大)
10. 薄膜フォトリソトランジスタを用いた周波数変調方式の人工網膜 ○門目亮之・松村 篤・東山剛士・大山翔平・木村 陸 (龍谷大)
11. デバイスシミュレーションによるアモルファス酸化半導体における劣化現象の理論的解析 ○浦川 哲・上岡義弘・山崎はるか・石河泰明・浦岡行治 (奈良先端大)
12. 低価格に適した X 線検出素子 (Silicon Drift Detector) の提案 ○岡田亮太・松谷一輝・松浦秀治 (阪電通大)
13. ナノスケールシリコンエッチング法を用いた Si 極浅接合の深さ方向ホトルミネセンス分析 ○村井剛太・田川修治・奥谷真士・吉本昌広 (京都工繊大)・Woo Sik Yoo (WaferMasters)
14. レーザードーピングで形成したエミッタ層及びセレクトティブエミッタ層の深さ制御とその太陽電池特性 ○田中成明・西村英紀・冬木 隆 (奈良先端大)
15. テクスチャシリコンへのレーザードーピングにおける基板-ドーパント間の界面制御による電子状態の改善 ○西村英紀・田中成明・森崎翔太・湯本伸伍・冬木 隆 (奈良先端大)
16. レーザードーピング法による n 型単結晶シリコン太陽電池の高効率化 ○森崎翔太・西村英紀・杉村恵美・冬木 隆 (奈良先端大)
17. 連続発振レーザーにより形成した電極下高濃度不純物層を有する結晶系シリコン太陽電池の最適化 ○湯本伸伍・西村英紀・平田憲司・杉村恵美・冬木 隆 (奈良先端大)
18. MOS 構造を有する太陽電池による変換効率の向上 ○小林孝裕・松尾直人・部家 彰 (兵庫県立大)
19. 結晶系 Si 太陽電池による逆方向エレクトロルミネッセンス法を用いた電気的特性の解析 ○杉村恵美・嶋崎成一・谷 あゆみ・冬木 隆 (奈良先端大)
20. プロトンビームを用いた強誘電体微構造の作製 ○山口正樹・渡辺和貴 (芝浦工大)・増田陽一郎 (八戸工大)
21. HfO₂ Conducting-Bridge memory におけるリセットパラメータの相関関係 ○鶴田茂之・木下健太郎・長谷川 祥・榎本優太郎・岸田 悟 (鳥取大)
22. 微細領域に閉じ込められた ReRAM フィラメントのメモリ特性 ○高 相圭・木下健太郎・福原貴博・澤居優士・岸田 悟 (鳥取大)
23. 金属/TiO₂/金属積層構造の抵抗スイッチング特性に対する電極材料の影響 ○沖元直樹・岩田達哉・西 佑介・木本恒暢 (京大)

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆SDM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月27日(水), 28日(木) 北大百年記念会館 [12月7日(金)] テーマ: 機能ナノデバイス及び関連技術

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★技術と社会・倫理研究会 (SITE)

専門委員長 中西通雄 副委員長 吉開範章・岡田仁志
幹事 鈴木一弘・杉山典正 幹事補佐 山肩大祐・宮田純子

日時 12月12日(水) 13:00~16:00

会場 常翔学園大阪センター 301 教室 (大阪市北区梅田 3-4-5
毎日インテシオ 3F, JR 大阪駅から徒歩約 10 分。 <http://www.josho.ac.jp/facility/osakacenter.html> 中西通雄・杉山典正 (阪工大))

議題 情報教育, 一般

1. 地域通貨的価値を利用した価値の交換システム ○田島佳明・宮田純子 (神奈川大)・森住哲也 (ネットエスアイ東洋)・木下宏揚 (神奈川大)
2. 最近のハニーポットの動向と倫理的問題 ○李 超・宮田純子・木下宏揚 (神奈川大)
3. 最近のライフログの研究について—プライバシー保護の観点から— ○藤原葉平・成瀬一明・上杉志朗 (松山大)
4. Feedback, Nationality and Trust in Cross-Border Electronic Commerce ○Vanessa Bracamonte (SOKENDAI)・Hitoshi Okada (NII)
5. 情報倫理教育におけるジレンマの導入と、大学の授業改革 ○辰己丈夫 (東京農工大)・中野由章 (阪電通大)

◎プログラムは修正・変更される場合があります。

☆SITE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3月14日(木), 15日(金) 奈良県 [未定] テーマ: インターネットと情報倫理教育, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鈴木一弘
E-mail : kazuhiro@tutetuti.jp

◎<http://www.ieice.org/ess/site/>

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 中野美由紀 副委員長 森嶋厚行・木俣 豊
幹事 義久智樹・吉田尚史 幹事補佐 灘本明代・新谷隆彦

日時 12月12日(水) 10:00~17:20
13日(木) 10:00~17:30

会場 キャンパスプラザ京都 (京都市下京区西洞院通塩小路下る。ビックカメラ前, JR 京都駅ビル駐車場西側。 http://www.consortium.or.jp/contents_detail.php?co=cat&frmId=585&frmCd=14-3-0-0-0)

議題 ビッグデータとソーシャルコンピューティング, 及び一般
12日午前 情報抽出と情報検索

1. CRF による和英文の参考文献文字列からの自動書誌要素抽出 ○荒内大貴・太田 学 (岡山大)・高須淳宏・安達 淳 (NII)
2. 検索エンジンを用いた英文動詞誤り検出システム ○谷本太都由・太田 学 (岡山大)
3. 2 単語間の関係に注目したユーザ未知情報 Web 検索 ○山下浩平・アダムヤトフト・田中克己 (京大)
4. サービス情報検索と適格性に基づくランキング ○田麥節治 (京大)・是津耕司・木俣 豊 (NICT)・田中克己 (京大)

12 日午後 データ処理の効率化

5. 仮想化環境下における下位キャッシュの参照の時間的局所性の解析 ○竹内洗祐・日名川幸矢・山口実靖 (工学院大)
6. 暗号化ストリームデータ処理における効率化の検討
富山克裕・川島英之・北川博之 (筑波大)
7. ストリームデータ処理における異常検知手法の共有化に関する検討 ○川島英之・大桶真宏・北川博之 (筑波大)
8. 共有辞書を用いた効率の良い圧縮アルゴリズム
○関根 溪・笹川裕人・吉田諭史・喜田拓也 (北大)
- DE-9. 探索性を保持した大規模ソーシャルグラフの縮退
○島田 論・三浦孝夫 (法政大)

ソーシャルメディア

10. ソーシャルメディアを含む多メディアビッグデータの統合的解析による情報抽出
○上田高德・浅井洋樹 (早大)・武井宏将 (早大/日本エス)・藤木紫乃・山本祐輔・秋岡明香・山名早人 (早大)
11. 写真画像からの人間関係抽出とコミュニティに基づく写真検索
○捧 隆二・中村聡史・田中克己 (京大)
12. 動画共有サイトにおける公開動画リストを用いた動画検索
○西 友規・山口実靖 (工学院大)
13. ハウツー情報間の対応関係に基づく閲覧システム
湯本高行 (兵庫県立大)
- DE-14. 能動学習とタグ推薦を用いたオンライン映像アノテーションゲーム
○渡邊結衣・白浜公章・上原邦昭 (神戸大)

13 日午前 ソーシャルコンピューティング

- DE-1. プライバシーコミュニティ検知に向けた SNS 投稿記事の時系列分析
○宋 洋・小山貴之・町田史門・嶋田 茂 (産技大)
- DE-2. 震災時における中心性に基づく Twitter 分析とアカウント分類
○石原裕規・諏訪博彦 (電通大)・鳥海不二夫 (東大)・太田敏澄 (電通大)
- DE-3. Classifying Twitter Users for Spatio-temporal Entity Retrieval
○Liang Yan・Qiang Ma・Masatoshi Yoshikawa (Kyoto Univ.)
- DE-4. 領域リバースジオコーダーの実現と旅程生成システムへの応用
○樋川貴一・高橋直久・山本大介 (名工大)

13 日午後 招待講演

- DE-5. [招待講演] サイバーセキュリティの最前線とビッグデータへの挑戦
井上大介 (NICT)

情報検出と提示

- DE-6. 集合知に基づくオンライン小説のランキング手法に関する検討
○清水一憲・伊東栄典・廣川佐千男 (九大)
- DE-7. 確率的データストリームからの複合的イベント検出モデルについて
○加藤 翔・石川佳治 (名大)
- DE-8. 任意形状 Focus 生成機能を有する Focus+Glue+Context マップシステムの実現
○加藤史也・高橋直久・山本大介 (名工大)
- DE-9. 携帯端末向き Focus+Glue+Context マップにおけるフリック入力型操作機能の実現
○細井純太・高橋直久・山本大介 (名工大)

ビッグデータ

- DE-10. MapReduce 環境におけるアドホックなクエリを対象とした、Adaptive indexing 適用に関する一検討
○奥寺昇平・横山大作・中野美由紀・喜連川 優 (東大)
- DE-11. オンライントランザクション処理における VM 挙動の詳細解析
○石田 渉・横山大作・中野美由紀・豊田正史・

喜連川 優 (東大)

- DE-12. ハイブリッドクラウド環境における性能と実行コストに基づいたデータ処理最適配置ミドルウェアの提案と実装
○笠江優美子・小口正人 (お茶の水女子大)
- DE-13. Cassandra による局所性を考慮した分散並列処理の提案
○菱沼直子 (お茶の水女子大)・竹房あつ子・中田秀基 (産総研)・小口正人 (お茶の水女子大)

◆情報処理学会；データベースシステム研究会連催

【問合せ先】

DE 研究会幹事宛
E-mail : de-org@mail.ieice.org

★安全性研究会 (SSS)

専門委員長 向殿政男 副委員長 平尾裕司
幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 12月20日(木) 13:00~17:00

会場 京都高度技術研究所 10階プレゼンテーションルーム (京都市下京区中堂寺南町134. JR丹波口駅から徒歩2~3分.
<http://www.astem.or.jp/about/access>)

議題 製品・機械の安全を主として

- 食品機械の安全設計—新潟県プロジェクトで開発した高圧処理装置の安全性の検討経緯について—
○福田隆文 (長岡技科大)・藤井淳平 (NICO)・伊藤広貴 (長岡技科大)
 - A Relay Drive Circuit for a Safe Operation Order
○Sansak Deeon・Yuji Hirao (Nagaoka Univ. of Tech.)・Kiyoshi Tanaka (Tri Engineering)
 - 電気機器の押しボタンの色等に関する一考察
○芳司俊郎 (労働安全衛生総研)・杉本 旭 (明大)
 - 根拠に基づく機械のリスクマネジメント戦略の提案
○梅崎重夫・濱島京子・清水尚憲 (労働安全衛生総研)
 - 労働・機械安全分野における情報学的視点導入の必要性
○濱島京子・梅崎重夫 (労働安全衛生総研)
 - 逆ETA法と安全性解析技法 和田 浩 (関西経営管理協会)
- ☆SSS研究会今後の予定 []内発表申込締切日
3月14日(木) 明大 [1月15日(火)] テーマ:食品の安全を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

木村昌臣 (芝浦工大工学部情報工学科)
TEL & FAX [03] 5859-8507
E-mail : masaomi@shibaura-it.ac.jp

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承
幹事 堀 賢治・五十嵐弓将 幹事補佐 田坂和之・野村啓仁

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 中村素典
副委員長 秋山豊和・石橋圭介・中村 豊
幹事 衛藤将史・北辻佳憲
幹事補佐 垣内正年・塚本和也・義久智樹・山本 寛

◎本研究会は IN 研究会と IA 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月13日(木) 13:30~19:05
14日(金) 8:30~16:35

会場 広島市立大学講堂小ホール(広島市安佐南区大塚東3-4-1。広島そごう3Fバスセンターより「くすの木台」行きバス乗車「市立大学前」にて下車。http://www.hiroshima-cu.ac.jp/page/content0002.html TEL [082] 830-1500(内線)1509 前田香織)

議題 インターネットやイントラネットの信頼性、品質、計測、監視、セキュリティ、トラヒック理論及び一般

13日

IN-1. ユーザの自律行動とネットワークとの相互作用を記述する階層的性能評価 ○島山創太・会田雅樹(首都大東京)

IN-2. 日本のオーケストラコンサート市場におけるべき乗則 竹内玄信(阪市大)

IN-3. Randomness Optimizer for Trajectory Performance Sampling ○Marat Zhanikeev (Tokyo Univ. of Science)・Yoshiaki Tanaka (Waseda Univ.)

経路・アクセス制御、応用

IA-4. データ指向型ネットワークにおけるモバイル方式の評価 ○松原大典・藪崎仁史(日立)・山中直明・岡本 聡(慶大)・高橋達郎(京大)

IA-5. ユーザコンテキストに基づいた個人・組織情報へのアクセス制御 ○伊藤 仁・小林秀幸・岡本圭史(仙台高専)・青野雅樹(豊橋技科大)・高橋 薫(仙台高専)

IA-6. LISPを用いたトラフィック局所化によるDDoS攻撃緩和手法に関する一実験 ○齋藤利文・榎本真俊・榎山寛章・門林雄基(奈良先端大)

IA-7. クラウド環境におけるライブマイグレーションとトラヒックエンジニアリング統合の適用領域に関する評価 ○間中雄士・小泉佑揮・大崎博之(阪大)

共通-8. [招待講演] ShareCastを用いたP2P活用事例の検討—動画配信・制作からスマートグリッドへの応用まで— 高野雅晴(ビッドメディア)

共通-9. [招待講演] P2Pライブ配信システムによるロンドン五輪競技のライブストリーミング実験 ○遠藤洋介・西村 敏・青木勝則・中川俊夫・石川清彦(NHK)

共通-10. [招待講演] マルチモード非線形ネットワーク論の展開—SNS FacebookとCyworldのネット近似モデルでの分析— 小関 健(上智大)

14日午前

IN-1. フロースペース仮想化における任意のフロー定義が可能

なフロー変換手法 ○山中広明・河合栄治・石井秀治・下條真司(NICT)

IN-2. アプリケーションレベルでのTCPスループットの定常性解析と予測モデル構築 ○吉田裕志・里田浩三(NEC)

IN-3. 無線マルチホップネットワークにおけるTCP通信へのネットワークコーディングの適用 ○胡 懷穎・瀧本栄二・毛利公一(立命館大)

IN-4. ユーザ及びアクセスポイントの移動を考慮した移動協力型アクセスポイント選択方式 ○濱本 亮・高野知佐・小畑博靖・石田賢治(広島市大)・村瀬 勉(NEC)

IN-5. ブロードキャスト通信における確率的フラッディングに対する感染症数理モデルを用いた性能評価 ○小林秀次・榎原勝己・武次潤平(岡山県立大)

共通-6. [招待講演] 大学におけるクラウド利用の問題点—メールアドレス喪失は何故起こったか— 石川千温(札幌学院大)

共通-7. [招待講演] クラウドインフラの設計と運用(仮題) 大久保修一(さくらインターネット研)

14日午後 クラウド、省電力(13:05~)

IA-8. 複数のクラウドを利用したサーバ広域分散配置システムの提案 ○神屋郁子・川津祐基・下川俊彦(九州産大)

IA-9. アプリケーションへの影響を考慮した動的なサーバ統合手法の提案 ○橋本雅至(奈良先端大)・池部 実(大分大)・岡本慶大・猪俣敦夫・藤川和利(奈良先端大)

IA-10. データセンターネットワークにおけるネットワークトラフィックの変化を考慮した消費電力削減のためのフロー最適化 ○津田 徹・市川晃平・猪俣敦夫・藤川和利(奈良先端大)

IA-11. 遅延を考慮した省電力化のための動的リンク数制御手法の検討 ○山下泰明・福田 豊・池永全志・尾家祐二(九工大)

IN-12. 構造化オーバーレイにおける経路表の順序関係に基づくノードの近接性及び信頼性を考慮したDHTアルゴリズム ○玉 コン・城間政司・長田智和・谷口祐治(琉球大)

IN-13. 堅牢性と安全性を備えた分散アーカイブ方式 アヒメット タラット(東京電機大)

IN-14. SIPを用いたSRTPの共有鍵交換における課題 ○高原尚志(新潟県立大)・中村素典(NII)

IN-15. 通信ネットワークの修理時間分布と修理パターンに関する検討 ○船越裕介・越地弘順(NTT)

◎13日研究会終了後に懇親会を予定していますので、是非御参加下さい。

☆IN研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
1月24日(木), 25日(金) 鹿児島県産業会館[締切済]
テーマ: ソーシャルネットワーク, セキュリティ管理, 災害時情報流通, オーバーレイネットワーク, P2Pネットワーク, 自律分散制御及び一般

3月7日(木), 8日(金) 残波岬ロイヤルホテル[1月14日(月)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html

【問合先】 IN研究会幹事及び幹事補佐
E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

堀 賢治(KDDI研)
TEL [049] 278-7651, FAX [049] 278-7510

田坂和之(KDDI研)
TEL [049] 278-7574, FAX [049] 278-7510

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎なお、原稿の締切日を過ぎますと技報への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2月14日(木), 15日(金) 機械振興会館〔未定〕テーマ: スマートグリッド, 一般

3月14日(木), 15日(金) 奈良県〔未定〕テーマ: インターネットと情報倫理教育, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室内)

TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

—四国支部における開催—

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・栗本 崇 幹事補佐 武田知典

★無線通信システム研究会 (RCS)

専門委員長 府川和彦 副委員長 大槻知明・樋口健一

幹事 小西 聡・ベンジャブール アナス

幹事補佐 須山 聡・星野正幸・増野 淳・森田基樹

◎本研究会は NS 研究会と RCS 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 12月13日(木) 9:00~18:50

14日(金) 9:00~16:40

会場 愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町3. 松山市駅から伊予鉄道市内電車環状線(大街道方面行き): 赤十字病院前下車, 北へ徒歩約2~5分. JR松山駅から伊予鉄道市内電車環状線(古町方面行き): 赤十字病院前下車, 北へ徒歩約2~5分. または伊予鉄バス東西線: 愛媛大学前下車. <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> 野口一人)

議題 モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

13日午前(A会場)(9:00~11:30)

RCS-1. LTE-AdvancedにおけるEPDCCH分散型マッピング法に関する検討 ○武田和晃・永田 聡・岸山祥久・中村武宏(NTTドコモ)・ムー チン(ドコモ北京研)

RCS-2. LTE-Advanced 拡張下り制御チャネルのサーチスペースデザイン法 リュウ リュウ・ムー チン(ドコモ北京研) ○武田和晃(NTTドコモ)・チン ラン(ドコモ北京研)

RCS-3. Investigation on CQI Definition for CoMP in LTE-Advanced Downlink Jing Wang・Xiang Yun (DOCOMO Beijing Lab.)・○Satoshi Nagata (NTT DOCOMO)・

Lan Chen (DOCOMO Beijing Lab.)

RCS-4. Interference Measurement Scheme for CoMP in LTE-Advanced Downlink ○Satoshi Nagata (NTT DOCOMO)・Wei Xi・Xiang Yun (DOCOMO Beijing Lab.)・Yoshihisa Kishiyama (NTT DOCOMO)・Lan Chen (DOCOMO Beijing Lab.)

RCS-5. 高密度小型セル配置ヘテロジニアスネットワークにおける Non full buffer トラフィックを用いた JT-CoMP 特性評価 ○星野正幸・湯田泰明(パナソニック)・高田智史(PMCRD)・西尾昭彦(パナソニック)

RCS-6. LTE-Advanced 下りリンクヘテロジニアスネットワークにおける干渉抑圧合成受信器によるユーザスループット改善効果に関する検討 ○大渡裕介・森本彰人・三木信彦・奥村幸彦(NTTドコモ)

RCS-7. 様々なトラフィック環境における LTE 基地局間負荷分散手法の検討 ○山本俊明・小西 聡(KDDI 研)

13日午前(B会場)(9:00~11:30)

NS-8. リアルタイム Web 技術による HEMS サービスクラウド化の検討 ○増尾 剛・中村二郎・松岡茂登(NTT)・長谷川 剛・村田正幸(阪大)・松田和浩(NTT-AT)

NS-9. 収集周期の倍数関係に基づくセンサデータストリーム配信手法 ○川上朋也・義久智樹・石 芳正(阪大)・寺西裕一(NICT/阪大)・下條真司(阪大)

NS-10. サーバにおける省電力化のための宛先 IP アドレスを考慮した Gigabit Ethernet の通信速度切り替え方式 ○村田 陵・木村成伴(筑波大)

RCS-11. 同時送信のための分散協調アクセス制御に関する理論的検討 ○岩淵匡史・岸田 朗・新宅俊之・阪田 徹(NTT)

RCS-12. 次世代無線 LAN システムに適したマルチユーザ・マルチチャネル伝送技術 ○篠原笑子・B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・浅井裕介・井上保彦・溝口匡人(NTT)

RCS-13. DATA フレームフラグメンテーションと SBA 信号を用いて指向性隠れ端末問題を軽減する指向性 MAC プロトコル ○茂木 翔・関屋大雄・馬 ジン・眞田耕輔・阪田史郎(千葉大)

RCS-14. Pulse/Tone 信号を用いて制御チャネル上の RTS フレーム衝突を軽減するマルチチャネル MAC プロトコル ○満足 亮・関屋大雄・馬 ジン・眞田耕輔・阪田史郎(千葉大)

13日午後 無線マルチホップネットワーク特集セッション1 (A会場)(12:30~)

共通-15. Augmented Synchronized Multi-Hop Protocol with Fast Transmission Failure Recovery for IEEE 802.11 Multi-Hop Wireless Network ○Xinru Yao・Zilu Liang・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

共通-16. 無線ネットワークコーディング試作装置の屋外伝送実験特性 ○丸田一輝・増野 淳・大槻暢朗・杉山隆利(NTT)

共通-17. マルチホップ協力通信における中継局間データ共有効果のフィールド実験による評価 ○宮越 淳・村田英一・吉田 進・山本高至(京大)・梅原大祐(京都工繊大)・田野 哲(岡山大)・守倉正博(京大)

共通-18. アドホックネットワークにおける近傍ノード協力形再送制御方式 ○山崎 託(芝浦工大)・山本 嶺(早大)・三好 匠(芝浦工大)

共通-19. 駅構内における無線 LAN との接続時間に基づく通信

量の公平化のための帯域割当制御 ○西巻宏一・

森野博章 (芝浦工大)

大鐘武雄 (北大)

無線マルチホップネットワーク特集セッション2 (A会場)

共通-20. 無線センサネットワークのためのハイブリッド型ルーティングプロトコルとその動的再構成手法

○サンバト プリヤンカラ・木下和彦 (阪大)・

戸出英樹 (阪府大)・村上孝三 (阪大)

共通-21. 中継器の二重化による広域・高信頼 ZigBee センサネットワークの開発 ○小林 翔・鈴木貴暁・中嶋信生・

山尾 泰 (電通大)

共通-22. 局所的経路変更による高性能無線マルチホップ通信手法 ○埴 祐樹・松垣博章 (東京電機大)

共通-23. IRDT-GEDIR におけるマルチホップ配送性能評価

○竹平貴紀・松垣博章 (東京電機大)

無線マルチホップネットワーク特集セッション3 (A会場)

共通-24. 無線マルチホップネットワークにおける通信容量予約プロトコル ○中川岳士・松垣博章 (東京電機大)

共通-25. 無衝突無線マルチホップ配送のための時間スロット割当て手法 ○北原 翼・松垣博章 (東京電機大)

共通-26. 無線メッシュネットワークにおける Multi-User MIMO と Single-User MIMO の面的伝送効率による比較評価

○楠本博則・岡田 啓・小林健太郎・片山正昭 (名大)

共通-27. 直線状無線マルチホップネットワークにおける非飽和状態及び最大スループット解析 ○眞田耕輔・関屋大雄・

阪田史郎 (千葉大)

招待講演 (A会場)

共通-28. [招待講演] 可視光通信の最新動向

春山真一郎 (慶大)

共通-29. [招待講演] 電気自動車を利用する大規模災害時の通信確保及び被災地モニタリング 間瀬憲一 (新潟大)

14日午前 (A会場) (9:00~11:50)

RCS-1. 周波数分割多重を基とする狭帯域無線通信システムにおける AGC の影響を考慮した受信機特性の検討

成枝秀介 (明石高専)

RCS-2. 同一拡散符号環境下におけるチャンネル次数及び遅延タイミングのブラインド推定に関する一検討

○渡部農士 (東京農工大)・王 宏裕 (東京ベネットワーク)・

梅林健太・鈴木康夫 (東京農工大)

RCS-3. 下りリンク OFDMA における TDM ベースの制御情報の判定帰還チャンネル推定の特性 ○岡庭俊介 (東京都市大)・

三木信彦・川村輝雄 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-4. プリアンブルレス OFDM 通信方式のチャンネル伝搬時における性能解析 ○奥井寛樹・鈴木 誠・李 斗煥・

長谷良裕・森川博之 (東大)

RCS-5. アナログネットワーク符号化を用いるシングルキャリア双方向中継通信のための時間多重パイロットチャンネル推定法及び雑音電力推定法に関する一検討 ○宮崎寛之・小原辰徳・

安達文幸 (東北大)

RCS-6. ITS 車車間ブロードキャスト通信のパケットペイロード合成中継法 ○レ ティエン チエン・菅原英紀・

チェン フィティン・山尾 泰 (電通大)

RCS-7. フェムトセルネットワークの上り回線における準協調セルブランキングを用いた同一チャンネル干渉抑圧に関する一検討

○小川明紘・衣斐信介・三瓶政一 (阪大)

RCS-8. OFDM を用いた上り回線仮想 MIMO システムの動的環境における特性評価 ○小林拓也・小川恭孝・西村寿彦・

Express セッション (A会場) (11:50~12:10)

RCS-9. 複数アンテナを持つ終点での FDE を用いた Full-Duplex AF リレー伝送に関する検討 ○清見直史・西村寿彦・

大鐘武雄・小川恭孝 (北大)

14日午前 (C会場) (9:00~12:10)

NS-10. [奨励講演] 無線アクセス網におけるユーザ効用に基づく分散型ユーザ帰属制御の性能評価 ○岩見隆広・

稲元 勉・高木由美・太田 能・玉置 久 (神戸大)

NS-11. DDNS サーバの CoA バルク登録による MIPv6 のハンドオーバー処理方式 ○友成貴之・木村成伴 (筑波大)

NS-12. モバイルコアネットワークにおけるトンネル集約方式 ○岩井孝法 (NEC)・長谷川 剛・若宮直紀 (阪大)・

本吉 彦・吉川隆士 (NEC)

NS-13. 消費電力量を考慮した Comfort Route の提案とその特性評価 ○金井謙治・甲藤二郎 (早大)・村瀬 勉 (NEC)

RCS-14. ホワイトスペース LTE システムに関する研究開発

○原田博司・石津健太郎・村上 誉・伊深和雄・

松村 武 (NICT)

RCS-15. 干渉存在下の周波数チャンネル間隔に関する検討

○熊川成正・山本高至・村田英一・吉田 進 (京大)・

梅原大祐 (京都工繊大)・田野 哲 (岡山大)・

守倉正博 (京大)

RCS-16. オペレータ共用ピコ基地局のための固定比率リソース交換法 ○三村智彦・山本高至・守倉正博 (京大)・

岩田綾子・田村尚志 (パソニック)

RCS-17. バックホールとアクセスリンク間干渉を考慮した光無線 RN の設計法 ○中島彰之・大塚裕幸 (工学院大)

RCS-18. Performance Evaluation of An Intelligent Directional Antenna System for Indoor Wireless Backhaul

Ximing Huang・○Osamu Muta・Kuninori Ohsaki・

Hiroshi Furukawa (Kyushu Univ.)

14日午後 (A会場) (13:10~16:40)

RCS-19. LTE-Advanced 下りリンク 4-by-2 マルチユーザ MIMO の基地局アンテナ構成に関する屋外実験評価

○井上祐樹・齊藤敬佑・安川真平・川村輝雄・

安藤英浩 (NTT ドコモ)

RCS-20. LTE-Advanced 下りリンク 4-by-2 MU-MIMO におけるユーザ間角度差を考慮したスループット特性の屋外実験評価 ○齊藤敬佑・井上祐樹・川村輝雄・安藤英浩 (NTT ドコモ)

RCS-21. Vector perturbation におけるストリーム間干渉を考慮した modulo 格子サイズ設定に関する一検討 ○矢野一人・

藺部聡司・侯 亜飛・塚本悟司・宇野雅博・小林 聖 (ATR)

RCS-22. 格子基底縮小を用いた符号化 MIMO-OFDM の演算量削減と特性評価 ○森谷健太郎・西村寿彦・大鐘武雄・

小川恭孝 (北大)

RCS-23. User Scheduling Algorithm with User grouping for Multi-user MIMO Downlink System utilizing Block Diagonalization ○Therdkiat Aphichartsuphaphajorn・

Yuyuan Chang・Kiyomichi Araki (Tokyo Inst. of Tech.)

RCS-24. DFT-Precoded OFDMA における繰り返し判定帰還チャンネル推定を用いたときのターボ周波数領域等化のブロック誤り率特性 ○田中良和 (東京都市大)・川村輝雄・

三木信彦 (NTT ドコモ)・佐和橋 衛 (東京都市大)

RCS-25. DFT-Precoded OFDMA における送信ダイバーシティ及び低レートターボ符号を用いたときの繰り返し判定帰還チャネ

ル推定のブロック誤り率特性 ○美和啓太(東京都市大)・三木信彦・川村輝雄(NTTドコモ)・佐和橋 衛(東京都市大)
RCS-26. DFT-Precoded OFDMAにおける周波数領域等化器を用いたときの64APSKの平均ブロック誤り率特性

○森 千尋(東京都市大)・川村輝雄・三木信彦(NTTドコモ)・佐和橋 衛(東京都市大)

RCS-27. Impact of Replica Length Reduction on Imperfect Circular Property Restoration ○Zheng Min・Peng Wei・Fumiyuki Adachi (Tohoku Univ.)

RCS-28. 送受信協調 MMSE フィルタリングを用いる適応シングルキャリア MIMO 伝送 ○熊谷慎也・小原辰徳・山本哲矢・安達文幸(東北大)

14日午後(C会場)(13:10~16:00)

RCS-29. 最小CWサイズ選択によるIEEE802.11ユーザとの周波数共有の一検討 ○森田正樹・梅林健太・鈴木康夫(東京農工大)

RCS-30. 60GHz帯直交偏波MIMO伝送方式におけるアンテナ配置のチャンネル容量への影響 ○江林達矢・梅比良正弘(茨城大)・沢田浩和(東北大)

RCS-31. 稠密に展開された無線LANにおけるRSSIを用いたキャリアセンス閾値制御法 ○佐々木亜耶・梅比良正弘(茨城大)

RCS-32. 仮想グループ化を利用したスリープ制御によるM2Mネットワークの省電力方式 ○小川浩平・三軒谷勇貴・守倉正博・山本高至(京大)・杉原智行(アライドテレシス)

RCS-33. WLANにおける仮想連続CWmin制御の提案 ○三軒谷勇貴・守倉正博・山本高至(京大)・布 房夫・杉山隆利(NTT)

NS-34. Analysis of cooperation of node movement and its effects on messaging delay in DTN systems

○Hisaya Wakayama (NEC)・Kunal Dawn (SRM Univ.)・Masatsugu Ogawa (NEC)

NS-35. Reliable Local Recovery in Wireless Ad Hoc Networks ○Zilu Liang・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

NS-36. 無線LANにおけるピース分割とオーバヒアリングを用いた冗長トラヒック削減方式へのネットワークコーディングの適用 ○横瀬広明・大坐島 智・加藤聰彦(電通大)

◎13日研究会終了後、懇親会を予定しておりますので御参加下さい。会費は以下を予定しております。

一般:3,500円, 学生:2,000円

☆NS研究会今後の予定〔〕内発表申込締切日

1月24日(木), 25日(金) 熊本大〔締切済〕テーマ:ネットワークソフトウェア(ソフトウェアアーキテクチャ, ミドルウェア), NWアプリケーション, SOA/SDP, NGN/IMS/API, 分散制御・ダイナミックルーティング, グリッド, NW及びシステム信頼性, NW及びシステム評価, 一般

3月7日(木), 8日(金) 残波岬ロイヤルホテル〔1月14日(月)〕テーマ:一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

武田知典(NTT) TEL [0422] 59-7434

栗本 崇(NTT) TEL [0422] 59-3121

◎最新情報は, NS研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆RCS研究会今後の予定〔〕内発表申込締切日

1月31日(木), 2月1日(金) ビューポートくれ〔締切済〕

テーマ:無線通信のための信号処理及び一般

2月27日(水)~3月1日(金) 早大〔12月6日(木)〕

テーマ:移動通信ワークショップ

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

星野正幸(パソニック)

E-mail: rcs_ac-entry@mail.ieice.org

★磁気記録・情報ストレージ研究会(MR)

専門委員長 杉田龍二

幹事 稲葉信幸・小出大一 幹事補佐 白鳥聡志・神邊哲也

日時 12月13日(木) 13:30~17:05

14日(金) 9:30~15:00

会場 愛媛大学総合情報メディアセンターメディアホール(松山市文京町3. 環状線(古町方面行き)「赤十字病院前」下車, 北へ徒歩約2~5分. <http://www.ehime-u.ac.jp/access/johoku/index.html> TEL [089] 927-9781 岡本好弘)

議題 信号処理, 一般

13日

1. 複数軸のシフト選択性を用いたホログラム多重記録の高密度化 ○松原昂亮・小澤尚平・倉田博之・山本 学(東京理科大)

2. 区分線形補間を用いたホログラムメモリ用再生等化器 ○木下延博・室井哲彦・石井紀彦・上條晃司・菊池 宏(NHK)

3. ホログラム記録におけるLDPC符号化5:9変調方式の復号とHD映像再生 ○室井哲彦・石井紀彦・木下延博・上條晃司・菊池 宏(NHK)

MR-4. GPGPUによるマイクロマグネティックシミュレータの高速化 ○山口諒輔・山口実靖・吉田和悦(工学院大)・金井 靖(新潟工科大)

MR-5. シングル磁気記録におけるNLTSと記録補償の一検討 ○高田一樹・岡本好弘・延原寛史・仲村泰明・大沢 寿(愛媛大)・村岡裕明(東北大)

MR-6. [招待講演] リムーバブルHDD(iVDR)における標準化活動と用途拡大へのアプローチ—iVDRコンソーシアムと国際標準化— ○斎藤 温・釘屋文雄(HGST)・兒玉直樹(山形大)

14日午前

1. ビットパターン媒体における熱磁気緩和に基づくライトエラーとバリアエネルギー 村岡裕明(東北大)

MR-2. コリメータスパッタリングによる傾斜磁気異方性膜の作製 ○本多章人・本多直樹(東北工大)

MR-3. bcc-Fe_{1-x}Co_x (x≤0.5)単結晶薄膜のダンピング定数 ○鶴池正典・土田晴久(山形大)・桐野文良(東京藝術大)・稲葉信幸(山形大)

MR-4. [招待講演] エピタキシャル高Ku磁性合金薄膜の形成と構造解析 ○大竹 充・二本正昭(中大)

14 日午後

MR-5. 白色 LED 光源偏光顕微鏡を用いた垂直磁化膜の磁区観察と M-H 曲線の測定 ○岩崎孝喜・岡本研正 (香川大)

MR-6. ペロブスカイト型 Mn 酸化物 $Tb_{0.8}Ca_{0.2}MnO_3$ 薄膜の電気及び磁気特性における異方性 ○高山寛貴・吉田和悦・山崎貞郎・鷹野一郎 (工学院大)・長谷山秀悦 (豊島製作所)

MR-7. [チュートリアル招待講演] Soft Magnetic Thin Film Applications at Radio Frequencies

Mashairo Yamaguchi (Tohoku Univ.)

◆映像情報メディア学会：マルチメディアストレージ研究会／四国支部連催

☆MR 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1 月 25 日 (金) パナソニック企業年金基金松心会館 [締切済] テーマ：映像情報機器，一般

3 月 8 日 (金) 名大 [12 月 7 日 (金)] テーマ：光記録，一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

◎最新情報は，MR 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.or.jp/es/mr/jpn/index.html>

——九州支部における開催——

★有機エレクトロニクス研究会 (OME)

専門委員長 白井博明 副委員長 加藤景三

幹事 松田直樹・中村二郎 幹事補佐 鴻野晃洋

日時 12 月 5 日 (水) 12:30~17:40

会場 沖縄県青年会館 (那覇市久米 2-15-23. TEL [0942] 81-4034 松田直樹 (産総研))

議題 バイオ，界面，材料，センサ，電子移動，一般

1. スラブ光導波路分光法を用いた固液界面におけるチトクローム c 機能のその場観察 松田直樹 (産総研)

2. 電気光学ポリマーの損失要因 ○杉原興浩・室伏貴信・蔡 斌・戒能俊邦 (東北大)

3. 光化学反応による硫黄官能基修飾カーボン系材料の作製及び金表面上における挙動 ○中村拳子・大花継頼 (産総研)・萩原佑太・坪田敏樹 (九工大)

4. 酵母細胞における解糖系振動現象の分子プロセス 雨宮 隆 (横浜国大)

5. [招待講演] バイオインターフェースの設計 長崎幸夫 (筑波大)

6. 磁力制御によるがん細胞のオンチップ遺伝子発現解析 大河内美奈 (名大)

7. 微生物体内電子移動における非線形電子電導特性 ○中西周次・松田翔一・橋本和仁 (東大)

8. [招待講演] 生体親和性ポリマーを用いた高感度バイオセンシング 高井まどか (東大)

9. 半導体ナノ粒子と有機色素の FRET を利用した pH センサー ○福田武司・船木那由太・倉林智和・秋山真之介・鈴木美穂 (埼玉大)

10. 陰極バッファ材料として MoO_3 を用いる有機薄膜太陽電池の作製と評価 宮城英介・○景山 弘 (琉球大)・大森 裕 (阪大)・城田靖彦 (福井工大)

11. [招待講演] 表面プラズモン共鳴及び複合導波モード薄膜による高性能化学センサ 長村利彦 (北九州高専)

【問合先】

松田直樹 (産総研)

E-mail : naoki.matsuda@aist.go.jp

中村二郎 (NTT)

E-mail : jnaka@a ecl.ntt.co.jp

★コンピューテーション研究会 (COMP)

専門委員長 今井桂子 副委員長 伊藤大雄

幹事 全 眞嬉・河村彰星

日時 12 月 10 日 (月) 9:30~17:50

会場 九州大学伊都キャンパスウエスト 2 号館 3 階 307 号室 (第 4 講義室) (福岡市西区元岡 744. JR 筑肥線：九大学研都市駅下車，昭和バス「九大工学部前」行に乘車。 <http://suisin.jimu.kyushu-u.ac.jp/info/index.html> 神山直之・来嶋秀治)

議題

1. べき則グラフ上での対立する噂の拡散の解析—二種類の次数の頂点からなるグラフの場合— ○山口裕生・渡辺 治 (東工大)

2. 種々のパターン照合問題に対するポジションヒープの構築 ○大友雄平・成澤和志・篠原 歩 (東北大)

特別企画：FOCS2012, SODA2013 論文紹介

3. 次数制約付き点連結度ネットワーク設計問題に対する反復丸め近似アルゴリズム 福永拓郎 (京大)

4. 4-連結射影平面的グラフのハミルトン連結性 河原林健一・○小関健太 (NII)

午後 (13:30~) 特別企画：「計算限界解明」チュートリアル講演第 1 回

5. [チュートリアル講演] 計算複雑さへの招待：基本+おもしろさ 渡辺 治 (東工大)

6. 二次元三角格子型無線ネットワークにおける電力最小ブロードキャストの下界 ○光地洋平・松林 昭 (金沢大)

7. Reconfiguration of List L (2, 1)-Labelings in a Graph Takehiro Ito・○Kazuto Kawamura (Tohoku Univ.)・Hirotaka Ono (Kyushu Univ.)・Xiao Zhou (Tohoku Univ.)

8. Enumeration of PLCP-orientations on the 4-cube Komei Fukuda・Lorenz Klaus (ETH Zurich)・○Hiroyuki Miyata (Tohoku Univ.)

9. 単体法に対する最悪多面体の比較—Klee-Minty Cubes are also Goldfarb Cubes— Bernd Gaertner・Christian Helbling (ETH)・○太田佳来・高橋 洸 (東北大)

☆COMP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

3 月 18 日 (月) 岐阜大 [未定]

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

全 眞嬉 (東北大学院情報科学研究科)

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-3-09

E-mail : jinhee@dais.is.tohoku.ac.jp

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 鎌部 浩 副委員長 大橋正良
幹事 井坂元彦・野村 亮 幹事補佐 古賀弘樹

日時 12月11日(火) 14:30~17:45

会場 別府湾ロイヤルホテル(速見郡日出町大字平道字入江
1825. 大分空港よりバス30分, JR 亀川駅より車で5分.
<http://www.daiwaresort.jp/beppu/access/index.html/> TEL
(0977) 72-9800(会場) 實松 豊(九大))

議題 若手研究者のための講演会

1. [招待講演] 追悼: Thomas Cover 山本博資(東大)
2. [招待講演] 情報理論のひろがりースタンフォード滞在中で得たことー 川端 勉(電通大)
3. [招待講演] 多端子情報理論と情報理論的不等式 大濱靖匡(電通大)
4. [招待講演] Cover先生の研究室で思い出に残っているテーマー一定常エルゴードな系列に対してのユニバーサルな予測ー 鈴木 譲(阪大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter, SITA2012 実行委員会共催,
情報理論とその応用サブサイエティ協賛

☆IT研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 1月21日(月) 電通大[締切済] テーマ: 一般
3月7日(木), 8日(金) 関西学院大大阪梅田キャンパス [1
月14日(月)] テーマ: IT・ISEC・WBS 合同研究会

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐
E-mail: it-sec@mail.ieice.org

— 今後の予定 —

★電子通信エネルギー技術研究会 (EE)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智
幹事 石塚洋一・馬場崎忠利 幹事補佐 山下暢彦

☆EE研究会今後の予定

- 1月24日(木), 25日(金) 阿蘇ファームランド
テーマ: エネルギー変換技術, 電池関連技術, 一般

◎今回の研究会は, 阿蘇ファームランド(熊本県)にて開催します。宿泊施設に限られるため, 宿泊される方は事前の申し込みをお願いします。申込方法・申込先等はEE研究会のホームページ(<http://www.ieice.org/cs/ee/jpn/>)にてお知らせしますので, 御確認下さい。

【問合先】

山下暢彦(NTT環境エネルギー研究所)
TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682
E-mail: yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

★ヒューマンコミュニケーション基礎研究会 (HCS)

専門委員長 渡辺昌洋 副委員長 伊藤京子・松田昌史
幹事 井上智雄・渡邊伸行
幹事補佐 林 勇吾・小森政嗣・田中貴紘

☆HCS研究会今後の予定

- 1月24日(木), 25日(金) 高知市文化プラザかるぼーと
テーマ: コミュニケーションの心理及び一般(日本社会心理学会協賛)

HCS研究会では, 人のコミュニケーションの活動の解明に関する基礎研究から, 人や社会を幸せにするコミュニケーションのあり方や方法の探求に関する応用研究まで幅広いテーマを扱っています。

今回の研究会では, コミュニケーションにおける心理を中心テーマとし, 対人コミュニケーションの方法論や基盤的知見の発見に関する研究, インタフェースやヒューマン・エージェント・インタラクションに関連した機械と人とのコミュニケーションの技術などの研究発表を致します。

また, 24日の夜には高知市内で懇親会を予定しています。

【問合先】

松田昌史
E-mail: matsuda.masafumi@lab.ntt.co.jp
村山 綾
E-mail: murayama@kwansei.ac.jp

◎<http://www.ieice.org/hcs/>

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●短距離無線通信研究会 (SRW)

専門委員長 加藤修三 副委員長 原田博司・加藤正文

日時 平成24年12月10日(月) 9:50~17:15

会場 富士通川崎工場本館(川崎市中原区上小田中4-1-1,
<http://jp.fujitsu.com/facilities/kawasaki/> TEL [044] 874-2459 加藤正文)

議題 Network, MAC, Adhoc 関連技術, 一般

1. [招待講演] アクティブフェイズドアレイによる屋外WiFiの高効率エアタイム処理とMIMOの拡張
江副 浩(アイランド・シックス・キャピタル・ファンド・テイバロップメント)
2. スペクトル分割を用いたNull DCサブキャリアDFTs-OFDM方式の特性評価 ○西沢拓也・梅比良正弘・武田茂樹(茨城大)
3. アクティブ・タグ移動速度検出による児童見守りシステムの検討 ○岩井健太郎・久保田周治(芝浦工大)
4. Ubiquitous Environment Through Utilizing Cloud Computing
○Ahmed Tallat・Hiroshi Yasuda(Tokyo Denki Univ.)・Yoshihiro Shin(Univ. of Hyogo)

午後

5. 基地局連携無線LANシステムにおける選択マルチビームフォーミングによるセル間干渉制御 ○石原浩一・村上友規・浅井裕介・溝口匡人(NTT)
6. SVDを用いた周波数オフセット推定法における特性改善法
○長谷部雅孝・田野 哲・富里 繁・秦 正治(岡山大)

7. 60 GHz 帯 WPAN/WLAN 広帯域変調信号評価における参照面の検討 ○柴垣信彦・羽生 広 (日立)
8. ミリ波通信機器の 60 GHz 帯における周波数特性補正法の検討 ○秋田米生 (メダス)・羽生 広・柴垣信彦 (日立)
9. [招待講演] That's Interesting! 森川博之 (東大)
10. [パネルディスカッション]短距離無線通信のセンサへの応用
司会:加藤修三 (東北大)・
江副 浩 (アイランド・シックス・キャピタル・アンド・デベロップメント)

その他、短距離無線に携わる方々をパネリストに招待し、議論する。

参加費 一般 2,500 円, 学生 1,500 円

◎研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

2 月 28 日 (木) 早大 [12 月 10 日 (月)] テーマ WLAN, WPAN 関連, 一般

【発表申込・問合先】

沢田浩和 (東北大)

TEL [022] 217-6112, FAX [022] 217-5476

E-mail : sawahiro@riec.tohoku.ac.jp

◎最新情報は、SRW 研究会ホームページを御覧下さい

<http://www.ieice.org/srw/>

主催 短距離無線時限研究専門委員会

●第 4 回情報ネットワーク科学研究会

委員長 村田正幸 (阪大)

副委員長 会田雅樹 (首都大東京)・中村 元 (KDDI)

日時 平成 24 年 12 月 14 日 (金) 13:00~18:00

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス 1405 教室

プログラム

- レプリケーターダイナミクスを用いた 2 元トラヒック制御の提案 ○中村峻生・宮田純子・森住哲也・木下宏揚 (神奈川大)
- 準静的アプローチによる再試行トラヒックの特性評価
○島山創太・会田雅樹 (首都大東京)
- 東日本大震災時の実道路網トポロジの推定と道路網復旧最適化問題 ○辻 広志・巳波弘佳 (関西学院大)
- [招待講演] 高速衛星回線を用いたコンピュータ間通信
○石田賢治・小畑博靖・高野知佐・舟阪淳一 (広島市大)
- [招待講演] 統計力学的アプローチによるネットワークポロジの転移現象の研究 加美伸治 (NEC)
- [招待講演] 細胞間コミュニケーションによる細胞社会の自己組織化ダイナミクス 古澤 力 (理研)

◎最新情報や今後の研究会の予定等は情報ネットワーク科学時限研究専門委員会の Web サイト <http://www.ieice.org/netsci/> を御参照下さい。

【問合先】

成瀬 誠 (NICT)・巳波弘佳 (関西学院大)

久保 健 (KDDI 研)・井上 武 (JST ERATO)

E-mail : netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会 (NetSci)

●電子通信エネルギー技術研究会 (第二種研究会)

専門委員長 庄山正仁 副委員長 大津 智

日時 平成 24 年 12 月 14 日 (金) 13:00~16:55

会場 台東区生涯学習センター 5F 504 教育研修室 (台東区西浅草 3-25-16. 地下鉄日比谷線:入谷駅から徒歩約 8 分. <http://www.taitocity.net/>)

議題 ICT エコ社会を創造する電源システムの要素技術

昨年の東日本大震災や原発事故発生以降、我が国におけるエネルギー問題が大きくクローズアップされています。同時に地球温暖化等の環境問題の対応も大きな社会問題となっており、低炭素社会の実現に向けて各種再生可能エネルギーの活用が推進されています。

一方で限られたエネルギーを有効に活用し、また自然にもやさしいエコロジーな社会の実現も重要な課題として注目されており、ICT (Information and Communication Technology) を利用したスマートグリッドのような社会インフラからエコ家電に致るまで省エネに向けた多彩な研究や取り組みが推進されています。電源システムはエネルギーにダイレクトに係わる中核技術としてこうした課題に積極的に関与することが期待されます。

このような状況を踏まえて、本年度の第二種研究会では ICT エコ社会を創造する電源システムの要素技術やその関連技術について、次世代技術や最新の応用事例を紹介し、幅広く議論することを提案します。

特別招待講演

1-1. Current collapse phenomenon in GaN power HEMT devices
Yung C. Liang (National Univ. of Singapore)

一般招待講演 次世代技術

2-1. 次世代半導体デバイス (SiC) の開発動向 三浦峰生 (ロム)

2-2. EV/HEV 用次世代インバータの開発動向

中津欣也 (日立)

一般招待講演 最新の応用事例

2-3. UPS 技術とエネルギーマネジメントシステムへの応用事例
加藤康司 (サンケン電気)

2-4. 「東京スカイツリー (R) 地区」熱供給 (地域冷暖房: DHC) の概要について 今野真一郎 (東武エネルギーマネジメント)

参加費: 無料 資料代: 3,000 円 (当日受付でお支払い下さい)

◎研究会に参加御希望の方は、12 月 7 日 (金) までに問合先へお申込みをお願い致します。

※今回は席に限りがあり、満席になりますと参加をお断りする場合がございますので、事前申込みをお願い致します。

【問合先】

山下暢彦 (NTT 環境エネルギー研究所)

TEL [0422] 59-4222, FAX [0422] 59-5682

E-mail : yamashita.nobuhiko@lab.ntt.co.jp

主催 電子通信エネルギー技術研究専門委員会

共催 IEEE Power Electronics Society Japan Chapter

●高信頼制御通信研究会 (RRRC)

専門委員長 片山正昭 副委員長 原 晋介・三浦 龍

日時 平成 25 年 1 月 11 日 (金) 13:00~18:25

会場 横浜国立大学 MICT センターみなとみらいサテライトラボ (横浜市西区高島 1-1-2 横浜三井ビルディング 15F. 横浜駅東口徒歩 5 分. <http://yokohamamitsui.com/access/>)

テーマ 一般講演, 技術展示, パネル討論

一般講演

1. 時間周波数測定・校正手順の無線 LAN 応用: センサーのパワーセーブ 島田修作 (ジュビスト)
2. 超高速インターネット衛星 WINDS を介した長距離 IEEE1588 クロック同期 ○清水卓人・高橋富士信・鬼頭友祐・逸見昇平 (横浜国大)・浅井敏男・片山紀彦・高橋 卓 (NICT)
3. 無線フィードバック制御のための適応誤り訂正手法のフェージング環境下における性能評価 ○服部晋悟・小林健太郎・岡田 啓・片山正昭 (名大)
4. Coarsest quantization for networked control systems with plant uncertainties ○Xile Kang・Hideaki Ishii (東工大)
5. 制御用無線ネットワーク向け低遅延 OFDM システムの実装と評価 ○奥井寛樹・鈴木 誠・李 斗煥・長谷良裕・森川博之 (東大)

技術展示・デモンストレーション

1. 医療用 UWB-BAN 河野隆二・杉本千佳・山末耕太郎 (横浜国大)
2. シート状通信媒体を介した近接通信・非接触給電システム 張 兵・松田隆志・三浦 龍 (NICT)
3. リアルタイムワイヤレス 奥井寛樹・鈴木 誠・李 斗煥・長谷良裕・森川博之 (東大)
4. 実験用回転倒立振子のデモンストレーション 鈴木啓之 (リアルテック)
5. ピーク電力制御用のマイクログリッドデモ グエンヴァンキー (東工大)・九鬼祐介 (阪大)・ユタオ・タンザカン・荒木純道 (東工大)・阪口 啓・三瓶政一 (阪大)

招待講演

1. 医療情報システムにおける通信の信頼性 (仮題) 近藤博史 (鳥取大)

パネルセッション

テーマ: 信頼できる遠隔制御を実現するには

コーディネーター: 原 晋介 (阪市大)

パネリスト: 宮崎祐行 (日立)・矢野 智 (和研)・

鍋谷寿久 (東芝)・近藤博史 (鳥取大)・その他調整中

☆RRRC 研究会今後の予定

5月16日(木), 17日(金) 京都 テーマ: 通信方式, アクセス方式, 制御理論, ネットワーク制御, セキュリティ, 遠隔制御, 制御応用, システム紹介, その他制御通信に関するすべてのトピックス

【問合先】

RRRC 幹事団

E-mail: rrrc-sec@mail.ieice.org

◎最新情報は, RRRC 研究会ホームページ (<http://www.ieice.org/~rrrc/>) を御覧下さい。

主催 高信頼制御通信時限研究専門委員会

●第26回多値論理とその応用研究会

座長 荒木智行 (広島工大)

日時 平成25年1月12日(土) 13:00~18:00

13日(日) 9:15~12:00

会場 上智大学四谷キャンパス図書館8F会議室(千代田区紀尾井町7-1. <http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/access>

guide/access_yotsuya http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/map/map_yotsuya TEL [03] 3238-3412 和保孝夫)

プログラム

12日

1. 光によるファジィ値の可逆計算について(2) 荒木智行 (広島工大)
2. ファジィ制御に基づく車両の省エネ走行 ○飯塚諒平・涌井文雄・泉 隆 (日大)
3. アクティブキャリアモードメンバーシップ回路 ○秋本拓也・涌井文雄・泉 隆 (日大)
4. SIC ファジィ推論モデルによる医療診断システムの構築 関 宏理 (関西学院大)
5. 情景画像からの看板抽出法について一視覚障害者の視認支援を目指して ○高 源・高木 昇 (富山県立大)
6. 弱視の視線解析と視認獲得について ○巽 久行 (筑波技大)・村井保之 (日本薬科大)・関田 巖・宮川正弘 (筑波技大)
7. ヘッドマウントディスプレイによる弱視支援 ○村井保之 (日本薬科大)・Robinson THAMBURAJ (マドラス基督教大)・巽 久行・宮川正弘 (筑波技大)
8. 遺伝的アルゴリズムとサポートベクターマシーンに基づく眼内レンズパワー計算式選択 ○福田智也・上浦尚武・齋藤 歩・磯川悌次郎・松井伸之 (兵庫県立大)・田淵仁志 (ツカガネ病院)
9. Measurement and Evaluation of Backgate Driven Flipped Voltage Follower ○Arif Abdul Mannan・Takako Toyama・Hiroki Tammura・Koichi Tanno (Univ. of Miyazaki)
10. 弱反転インバータ積分器を用いた低消費電力 $\Delta\Sigma$ 変調器の試作評価 ○小谷博亮・松芝 亮・和保孝夫 (上智大)
11. スペクトルシェーピングに着目した高速信号伝送のための符号化技術 ○弓仲康史・岩下雅代・高田裕貴 (群馬大)

13日

1. 3端子 MTJ 素子を用いたコンパクト不揮発 LUT 回路の構成 ○林 玉輝・鈴木大輔・羽生貴弘 (東北大)
 2. EVMDD を用いた多状態システムの診断法 ○永山 忍 (広島市大)・笹尾 勤 (九工大)・Jon T Butler (NPS)
 3. 分割 MTMDDs for CF に基づく多値プロセッサのコード生成フローに関して ○中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤・松浦宗寛 (九工大)・中嶋亮太 (鹿児島大)
 4. 有害画像の検出方法とその実装(2) ○古谷竜実・高山朱門・井口幸洋 (明大)
 5. 不完全定義インデックス生成関数の巡回列シフト分解について 笹尾 勤 (九工大)
 6. Some results on essentially minimal clones ○H. Machida (ICU)・I.G. Rosenberg (Montreal 大)
- 参加資格 特になし
参加費 資料代1,500円を申し受けます
参加申込 当日会場で受付
主催 デイバングブルコンピューティング研究会
共催 多値論理研究会
◎多値論理研究会のホームページ <http://mvl.jpn.org/>

●第18回ネットワークソフトウェア研究会

委員長 水野 修 (工学院大)

委員会の内容

本時限研究専門委員会は、ネットワークの変革がソフトウェア技術にもたらすインパクトや、ソフトウェアの技術革新がネットワークサービスに及ぼす変革に対して問題意識を持ち、ネットワークソフトウェア技術に対する要求条件や実現技術について研究・実用化の両面に関して議論をします。

期日 平成24年1月18日(金)

会場 KDDI 研究所 (上福岡)

テーマ: ネットワークサービスソフトウェアのディペンダブル化技術+一般

概要

情報ネットワークが必要不可欠な社会基盤となるに伴い、ネットワークサービスを実現するソフトウェアに対しては、ユーザの感じる漠然とした不安を取り除き、社会から信用されるサービスを実現する信頼性、社会基盤として信用できる品質が求められる。また、同様に、サービス更新やシステムの増減などの変化に対応する継続性及び、ネットワークのトポロジ、トラフィック、需要の変動に対してサービスの揺らぎを抑制する安定性と云ったディペンダビリティ性が強く要求されるに至っている。本研究会では、このような観点から以下に例を示すテーマで研究発表を募り、ネットワークサービスソフトウェアのディペンダブル化に向けて幅広く議論を行う。

- ・ネットワークサービスを信頼あるものとして実現するためのソフトウェア技術
- ・ネットワークサービスを継続して実現するためのソフトウェア技術
- ・ネットワークサービスを安定して実現するためのソフトウェア技術
- ・ディペンダブルなネットワークサービスを実現するためのソフトウェア基盤技術
- ・その他一般

本研究会の特徴

参加者の産学のバランスがよく、更に時間にとらわれず活発に議論する風土がありますので、発表者は様々な角度から多数のフィードバックを得ることができます。また、他研究会には例を見ない独特の発表形式を採用しておりますので、発表者は目的に応じた議論を自由に展開することができます。これにより、検討結果の発表だけでなく検討経過や問題提起等についても発表・議論して頂けます。

また、本研究会では、議論を促進することを目的としてディスカッション賞を設けています。受賞対象は有意義なディスカッションを頂きました参加者となりますので、是非活発な議論をお願い致します。

発表形式: 下記2種類の発表形式からお選び下さい。

- ・一般講演: 掘り下げた議論を御希望の方向へ

1件当たり約50分(質疑含む)という十分な時間をかけ、深く掘り下げた議論や多様な視点からの広範なフィードバック獲得が可能となります。

- ・ポジションペーパー: 構想段階等にて意見を収集したい方向へ

1件当たり約5~10分程度で、一般講演するほどの内容ではないが、是非意見交換をしたい内容などについて、発表者の目的に応じた自由な形式で議論して頂けます。

[各種締切]

一般講演申込み: 12月13日(木)

一般講演原稿提出: 1月7日(月)

ポジションペーパー申込み: 1月7日(月)

研究会参加申込み: 1月7日(月)

参加費振込み: 1月17日(木)

【一般講演の申込と原稿提出】

・申込方法

講演者氏名、共著者名、所属、講演題目、概要(400字程度)、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号)、講演者の方の参加費種別(一般/学生)を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。講演者の方は参加申込もされたものとみなしますので、下記参加申込に関する注意事項も合わせて御確認下さい。

・原稿提出方法

PDFファイルにて、電子メールでお送り下さい。原稿の体裁は規定していませんが、PowerPointなどの発表スライドを原稿として提出される場合は、1ページ当り1スライドとなるようPDF化して下さい。発表スライドで頂きました原稿は、投稿状況に応じて1ページ当り2スライドまたは4スライドの形式で予稿集へ掲載させて頂きますので、あらかじめ御了承下さい。

【ポジションペーパーの申込と原稿提出】

申込方法は、上記の一般講演と同様です。原稿は、PDFファイル(A4判1枚・様式自由)にて、電子メールでお送り下さい。※ポジションペーパーの申込・原稿提出は上記期日を過ぎてからも受け付けます。ただし、期日以降の申込・原稿提出を御希望の方は、事前に電子メール等にてお問合せ下さい。また、期日以降の申込では予稿集に氏名・所属が掲載されませんので御注意下さい。

【参加申込】

氏名、所属、連絡先(住所、E-mailアドレス、電話番号、FAX番号)、参加費種別(一般/学生)を明記の上、期日までに電子メールでお申し込み下さい。研究会に参加した方々の議論・意見交換活性化のため、当日紙配布する参加者名簿に氏名・所属・E-mailを掲載予定ですが、問題等ございましたら御連絡下さい。

【参加費(予定)と参加費支払方法】

一般4,000円 学生2,000円

参加費を下記の期日までにお振り込み下さい。なお、振込後の参加費の返還には応じかねますので、御了承下さい。請求書もしくは領収書が必要な場合は、参加申込の際にその旨をお知らせ下さい。

振込先 みずほ銀行 三鷹支店

口座名: ネットワークソフトウェア研究会

口座番号: 普通 4298770

【講演・参加申込先・原稿提出先】

西村豪生 (NTT)

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL [0422] 59-7339

E-mail: nws-kanji@mail.ieice.org

【研究会全般に関する問合せ先】

別所寿一 (NTT)

TEL [0422] 59-6921

主催 ネットワークソフトウェア時限研究専門委員会

<http://www.ieice.org/nws/>

期 日 2013 年 3 月 19 日(火)~22 日(金)

会 場 岐阜大学 (岐阜市)

電子情報通信学会総合大会の講演申込み登録・原稿送付については、インターネットによる講演申込み・PDF による原稿送信となっています。

募集期間

2012 年 11 月 9 日(金)~2013 年 1 月 9 日(水)17:00(厳守)

2013 年総合大会ホームページ

http://www.toyoag.co.jp/ieice/G_top/g_top.html

(1) 講演申込みについて

「インターネット講演申込登録の受付期間」

「講演申込登録の修正・取消」

「論文集 PDF 原稿の送信期限」については、全て上記の期間となります。

(2) 講演機器について

講演機器は PC プロジェクターです。PC は御持参下さいませようお願い致します。

(3) 原稿の提出について

原稿提出期限内に原稿を頂けない場合は、講演申込み登録をされている場合でも講演申込みを取り下げたものと致しますので御注意下さい。

(4) 講演申込み Web 登録上のお願

講演申込み締切日とその 2~3 日前は回線が混雑して、アクセスに大変時間が掛かります。スムーズな登録のため余裕を持って早めの登録をして頂くようお願い申し上げます。

(5) 非会員の方も講演発表ができます。

講演参加費 (予定)

※本会会員：不課税、本会会員外：消費税込

講演参加費につきましては、DVD 論文集 (全講演収録・プログラム) のほか聴講参加費が含まれますので、聴講申込みは必要ありません。(発行日：3 月 5 日)

2 月初旬に講演者の方に講演参加費の請求書を発送致しますので、請求書到着後、振込みを行って下さい。

一般セッション

名誉員・正 員：10,000 円 (講演発表料+DVD)

学生員 : 3,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：社会人：20,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：学生 : 6,000 円 (講演発表料+DVD)

シンポジウムセッション

名誉員・正 員：11,000 円 (講演発表料+DVD)

学生員 : 3,500 円 (講演発表料+DVD)

非会員：社会人：22,000 円 (講演発表料+DVD)

非会員：学生 : 6,500 円 (講演発表料+DVD)

*電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の会員、本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いとなります。

〔講演申込みの流れ〕

学会 Web 上の〔講演申込み手順〕に従って申込み登録を行い、正しく登録が受け付けられますと最後に、「受付番号」・「登録済内容にアクセスするためのパスワード」等が記入された「登録受理票」が表示されますので、申込者で必ずプリントアウトして保管して下さい。また、登録完了時点で入力項目の確認のために「E-mail」が申込者に送付されます。必ず内容の確認を行って下さい。講演申込み受付期間内は受付番号とパスワードにより登録データの修正・取消が可能です。詳細は「講演申込み内容の確認・修正」、「講演申込み内容の取消要領」に従って下さい。論文集原稿の投稿は、トップメニューにある「PDF 原稿送信」から「受付番号」・「パスワード」を使って論文集原稿を PDF ファイルで送信して下さい。(PDF 原稿はメール添付での申込みはできません。)

なお、総合大会聴講参加・冊子講演論文集申込案内等については、2013 年 1, 2 月会告にて御案内致します。

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

電子情報通信学会大会係

TEL [03] 3433-6691, FAX [03] 3433-6659

E-mail : taikai@ieice.org

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 ……●

——東京支部——

●講演会「ビッグデータが拓く新しい情報通信の世界」

日時 平成24年12月13日(木) 15:00~17:00
会場 機械振興会館地下2階ホール(東京都港区芝公園3-5-8)
地下鉄日比谷線 神谷町駅 徒歩8分
司会 相良和彦(日立)
題目 ビッグデータが拓く新しい情報通信の世界
(—サイバーとリアルの間を取り持つデータ同化技術を中心として—)

講師 樋口知之(統計数理研究所長)

概要 世界中に張り巡らされたセンサネットワークの普及により、質的に極めて多様で膨大なデータが瞬時に手に入るようになっていきます。これらのデータを利用して、地球から人間に至る様々な対象をモデル化し、地震や津波などの予測や、エネルギーや人間行動の最適化をリアルタイムに行うことが可能となっています。現在、地球規模での低炭素社会や持続型社会を目指してICT技術の利活用が進められていますが、この実現のためには、従来の電子情報通信技術に加えて、モデリングやシミュレーションといった最新の統計科学の知見を積極的に取り入れる必要性が高まっています。

本講演会では、観測データとモデル計算結果の情報統合を行うデータ同化の概念と枠組みを紹介します。また、ビッグデータを利用することにより、どのような世界が登場し、「安心・安全でスマートなICT社会構築」に向けて、どのような貢献ができるかについての展望を紹介します。

多くの皆様の御参加をお待ちしております。

定員 200名(先着順で定員になり次第締切)
申込締切日 開催日当日まで受け付けます。
参加費 無料 ※非会員の方も無料で御参加頂けます。
申込方法: E-mail または FAX で、下記〈申込情報〉を御記入の上、東京支部までお申込み下さい。お申込み後に、E-mail または FAX で「参加番号」をお知らせ致します。
申込先: FAX [03] 3433-6659 kouen@tokyo.ieice.org
(申込情報)

①開催月日、②題目、③会員種別、④会員番号、⑤氏名、⑥勤務先、⑦勤務先 TEL

その他 講演題目、講師等は都合により変更になる場合がございます。

主催 電子情報通信学会東京支部 TEL [03] 3433-6691
協賛 IEEE 東京支部

——東海支部——

●平成24年度第3回学生会講演会

日時 平成24年12月5日(水) 13:00~
会場 三重大学工学部28番教室(津市栗真町屋町1577
<http://www.eng.mie-u.ac.jp/map/index.html>)
演題 M2M 関連の技術動向と KDDI の取り組み
講師 杉山敬三(KDDI 研)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方でも入場できます。
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。
主催 電子情報通信学会東海支部

●平成24年度第3回一般講演会

日時 平成24年12月14日(金) 16:20~17:50
会場 名古屋工業大学51号館5111講義室(名古屋市昭和区御器町) <http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>)
演題 「はやぶさ」を継ぐもの—新たな太陽系大航海時代に向かって—
講師 小笠原雅弘(日本電気航空宇宙システム)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方でも入場できます。
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。
主催 電子情報通信学会東海支部、映像情報メディア学会東海支部

●平成24年度第4回学生会講演会

日時 平成24年12月21日(金) 10:40~11:40
会場 岐阜大学工学部301番教室(長久手市横道41-1
<http://www.gifu-u.ac.jp/>)
演題 電波が切り開く次世代車載エレクトロニクス
講師 田中宏哉(豊田中研)
参加費 無料
参加資格 会員以外の方でも入場できます。
その他 詳しくは東海支部 HP: <http://www.ieice.org/tokai/> を御覧下さい。
主催 電子情報通信学会東海支部

——北陸支部——

●北陸支部講演会「ネットワークセキュリティの概要」

日時 平成24年12月5日(水) 16:00~17:30
会場 福井工業大学 FUT タワー7階 T-701 教室(福井市学園3-6-1)
演題 ネットワークセキュリティの概要
講師 桜井鐘治(三菱電機)
申込方法 事前の申込不要、聴講無料
問合せ先 福井工業大学電気電子情報工学科 鹿間敏弘
(TEL [0776] 29-2698, FAX [0776] 29-7891)
主催 電子情報通信学会北陸支部

——関西支部——

●電気四学会関西支部施設見学会「辰巳電子工業(株)新本社」

辰巳電子工業(株)はアーケードゲーム機の企画・開発・製造・販売や業務用ゲームソフトの企画・開発・販売を行っている会社です。今回見学する同社新社屋は、平成23年度照明普及賞に選出された施設で、大空間内に種類の異なる様々な光源を配置しつつも、まとまりのある空間を実現しています。新社屋建設にあたり、オーナーは、創造性を要求される業務を担う若いクリエイター達が高い満足感を持って業務に従事できる環境を切望され、建築プロデューサー、設計者、照明デザイナーの協働により、これを実現されています。奮って御参加下さい。

日時 平成24年12月14日(金) 16:10~17:30
見学先 辰巳電子工業株式会社新本社(橿原市十市町7)
集合時間 16:10(時間厳守、晴雨不問)
集合場所 近鉄大和八木駅 奈良交通バス北口乗り場、バス 八木耳成循環・外回り乗車(16:15発、「大門橋」下車徒歩1分、バス代は個人負担220円)現地へ直接行かれる方は(現地駐車場:16:25)

行程 16:30~16:45 施設概要説明
 16:45~17:30 施設見学, 質疑応答, その後, 現地にて解散. 帰りのバスは近鉄大和八木駅行き「大門橋」17:36 発

注意 当日, 職務中の見学ですので御迷惑にならないように御注意下さい.

募集人員 20名(定員になり次第, 締め切ります)

参加費用 会員・学生 2,000円, 非会員 4,000円

申込方法 参加希望者は, 氏名・年齢・所属・電話番号を電話, はがき, FAX または E-mail で下記にお申込み下さい.

申込先 〒550-0002 大阪市西区江戸堀 1-22-38
 三洋ビル 4F(有)あゆみコーポレーション内 照明学会
 関西支部事務局 加藤敏躬 電気四学会関西支部
 TEL [06] 6441-5539, FAX [06] 6441-2055
 ieil-kansai@a-youme.jp

主催 電子情報通信学会・照明学会・電気学会・映像情報メディア学会各関西支部

——— 本会・ソサイエティ・グループ
 研究専門委員会等主催・共催 ———

●有機デバイス実践ワークショップ

有機エレクトロニクスデバイスの研究の入門者を対象として, デバイスを構築する上で必要となる基礎知識を解説するとともに, デバイス作製及び評価技術の実際について実験技術とノウハウの習得を念頭に置いた講習を行います. 現在本分野において第一線で御活躍中の研究者の皆様を講師としてお招きしておりますので, 奮って御参加下さい.

日時 平成 25 年 1 月 7 日 (月) 13:00~17:30
 会場 CIVI 新大阪研修センター 805D 室 (大阪市淀川区西中島 3-9-13 NLC 新大阪 8 号館)
 定員 70 名(先着順で定員に達し次第締め切らせて頂きます.)
 申込締切日 開催日当日まで受け付けます.
 参加費 学会員 一般 3,000 円/学生 2,000 円
 非会員 一般 4,000 円/学生 2,000 円

プログラム

- (1) 開会あいさつ
- (2) 有機太陽電池作製・評価の原理と実際
 内藤裕義 (阪府大)
- (3) 有機エレクトロニクスデバイス作製の原理と実際
 梶井博武 (阪大)
- (4) 有機熱電変換材料測定 of 原理と実際
 中村雅一 (奈良先端大)
- (5) 有機焦電センサの原理と実際 石田謙司 (神戸大)

申込方法 下記の情報記載の上, 「OME 講習会参加申込」の題目をつけた電子メールでお申込み下さい.

1. 氏名, 2. 所属, 3. 連絡先 (住所・TEL・E-mail),
4. 学生/一般・会員/非会員の別

申込先 兵庫県立大学 多田和也 ome_koshu@eng.u-hyogo.ac.jp (申込受付専用)

主催 電子情報通信学会有機エレクトロニクス研究専門委員会 (OME)

協賛 応用物理学会有機分子・バイオエレクトロニクス分科会 (申請中)

——— 本会が協賛等のもの ———

(※は参加費割引あり)

第 75 回ロボット工学セミナー「歩行の生理学/力学/制御理論と歩行支援ロボティクス」(※)

期日 平成 24 年 12 月 7 日 (金)
 会場 中央大学後楽園キャンパス (東京都文京区)
 問合先 日本ロボット学会事務局 担当 水谷
 TEL [03] 3812-7594, FAX [03] 3812-4628
 soumu@rsj.or.jp http://www.rsj.or.jp/seminar

第 357 回講習会「新素材カーボンファイバの製品活用—新素材導入で一気にリード!」(※)

期日 平成 24 年 12 月 7 日 (金)
 会場 中央大学後楽園キャンパス (東京都文京区)
 問合先 精密工学会
 TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192
 http://www.jspe.or.jp/event/koshukai/seminar.html

2012 年度高専女子フォーラム in 関西

期日 平成 24 年 12 月 9 日 (日)
 会場 新大阪丸ビル別館 (大阪市)
 問合先 奈良工業高等専門学校 担当総務課 端無・中村
 TEL [0743] 55-6013, FAX [0743] 55-6019
 rikeigokoro@elec.nara-k.ac.jp
 http://rikeigokoro.jp/jyoshi-forum/

東京大学 VDEC 第 7 回 D2T シンポジウム

期日 平成 24 年 12 月 11 日 (火)
 会場 東京大学武田先端知ビル (東京都文京区)
 問合先 東京大学大規模集積システム設計教育研究センター
 小松 聡
 TEL [03] 5841-0233, FAX [03] 5841-1093
 komatsu@vdec.u-tokyo.ac.jp
 http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp

実用技術セミナー「リチウムイオン二次電池の技術動向と EV 開発」(※)

期日 平成 24 年 12 月 14 日 (金)
 会場 島津製作所関西支社 (大阪市)
 問合先 日本真空学会関西支部 実用技術セミナー担当 鈴木
 TEL [077] 583-1234 t-suzuki@shinko-seiki.com

2012 年度セミナー「技術者倫理—技術管理者のための行動の設計学—」(※)

期日 平成 25 年 1 月 17 日 (木)
 会場 日本機械学会 (東京都新宿区)
 問合先 日本機械学会関東支部 TEL [03] 5360-3510
 FAX [03] 5360-3508 kt-staff@jsme.or.jp

表面科学技術研究会 2013 「光の常識を覆すものづくり—ナノ表面と光の相互作用—」

期日 平成 25 年 1 月 22 日 (火)
 会場 神戸大学瀧川記念学術交流会館 (神戸市)
 問合先 日本表面科学会関西支部幹事
 辻村 歩 (パナソニック) TEL [0774] 98-2580
 tsujimura.ayumu@jp.panasonic.com

「デジタル画像基礎技術」技術講座（※）
 期 日 平成 25 年 1 月 24 日（木）、25 日（金）
 会 場 機械振興会館別館（東京都港区）
 問合先 日本オプトメカトロニクス協会
 TEL〔03〕3435-9321, FAX〔03〕3435-9567
 info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

薄膜・表面物理分科会・シリコンテクノロジー分科会共催特別研究会「ゲートスタック研究会—材料・プロセス・評価の物理—」（第 18 回）（※）
 期 日 平成 25 年 1 月 25 日（金）、26 日（土）
 会 場 ニューウェルシティー湯河原（熱海市）
 問合先 野平博司（東京都市大）
 FAX〔03〕5707-2172 hnohira@tcu.ac.jp

page2013：拡大！コミュニケーション支援ビジネス
 期 日 平成 25 年 2 月 6 日（水）～8 日（金）
 会 場 サンシャインシティ・コンベンションセンター TOKYO（東京都豊島区）
 問合先 日本印刷技術協会管理部
 TEL〔03〕3384-3111, FAX〔03〕3384-3481

「デジタルカラー画像の解析・評価」技術講座（※）
 期 日 平成 25 年 2 月 7 日（木）、8 日（金）
 会 場 機械振興会館別館（東京都港区）
 問合先 日本オプトメカトロニクス協会
 TEL〔03〕3435-9321, FAX〔03〕3435-9567
 info@joem.or.jp http://www.joem.or.jp

ソフトウエアジャパン 2013「ビッグデータの潮流を探る」（※）
 期 日 平成 25 年 2 月 15 日（金）
 会 場 一橋大学一橋講堂（東京都千代田区）
 問合先 情報処理学会事業部門
 TEL〔03〕3518-8373, FAX〔03〕3518-8375
 jigyo@ipsj.or.jp

JPCA Show 2013/ラージエレクトロニクスショー 2013/2013 マイクロエレクトロニクスショー/JISSO PROTEC 2013
 期 日 平成 25 年 6 月 5 日（水）～7 日（金）
 会 場 東京ビッグサイト（東京都江東区）
 問合先 日本電子回路工業会 担当 樋口・小松・吉屋
 TEL〔03〕5310-2020, FAX〔03〕5310-2021
 show@jpca.org

第 43 回信頼性・保全性シンポジウム
 期 日 平成 25 年 7 月 2 日（火）、3 日（水）
 会 場 日本教育会館（東京都千代田区）
 問合先 日本科学技術連盟
 同シンポジウム担当 安随・内田・神田
 TEL〔03〕5378-9850, FAX〔03〕5378-9842
 re-group@juse.or.jp

TECHNO-FRONTIER2013
 第 31 回 モータ技術展
 第 22 回 モーション・エンジニアリング展
 第 6 回 メカトロニクス制御技術展
 第 28 回 電源システム展
 第 26 回 EMC・ノイズ対策技術展
 第 22 回 ボード・コンピュータ展
 第 15 回 熱設計・対策技術展
 第 8 回 設計支援システム展
 第 5 回 バッテリー技術展
 第 4 回 環境発電技術展
 期 日 平成 25 年 7 月 17 日（水）～19 日（金）
 会 場 東京ビッグサイト（東京都江東区）
 問合先 TECHNO-FRONTIER 事務局（日本能率協会 産業振興第 2 ユニット内）
 TEL〔03〕3434-0587, FAX〔03〕3434-3593
 tf@convention.jma.or.jp http://www.jma.or.jp/tf

——各種証明，閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では，各種の証明，閲覧について，下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。
 なお，突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので，必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。
 TEL〔03〕3433-6691 ※は，TEL〔03〕3433-6692

種 類	内 容	料 金（税 込）	備 考
証明手数料	特許証明	会 員 200 円／件 非会員 500 円／件	
	在会証明書	無 料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会 員 無 料 非会員 300 円／冊 コピー 10 円／枚	料金は 1 冊（綴）ごととします。

（注）会員からの依頼で非会員が代行される場合は，非会員の料金となります。

第4回アドバンスト・マイクロデバイス工学に関する国際会議 (AMDE2012)

期 日 2012年12月7日(金)
会 場 桐生市市民文化会館(桐生市)
問合先 AMDE セクレタリアート 櫻井 浩(群馬大学大学院
工学研究科)
TEL [0277] 30-1714, FAX [0277] 30-1707
sakuraih@gunma-u.ac.jp

第1回アジア液晶会議

期 日 2012年12月16日(日)~18日(火)
会 場 富士カーム(富士吉田市)
問合先 日本液晶学会事務局
TEL [03] 5925-2840, FAX [03] 5925-2913
jlcs@adthree.com <http://www.aclc2012.org/>

薄膜トランジスタ国際会議 (ITC2013)

期 日 2013年3月1日(金), 2日(土)
会 場 東京大学弥生講堂(東京都文京区)
問合先 関谷 毅(東京大学大学院工学系研究科)
TEL [03] 5841-6756, FAX [03] 5841-6709
sekitani@ee.t.u-tokyo.ac.jp

第35回国際生体医工学会議・第52回日本生体医工学会大会

期 日 2013年7月3日(水)~7日(日)
会 場 大阪国際会議場(大阪市)
問合先 同会議事務局 担当 金子綾衣
TEL [092] 642-5360, FAX [092] 642-5374
embc2013@cardiol.med.kyushu-u.ac.jp

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾(著作物の引用、転載、翻訳等)に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Japan Reproduction Rights Center (JRRC) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619

——カワイサウンド技術・音楽振興財団
平成 25 年度研究助成——

助成対象 産業，生活，文化の各分野にわたる研究で，音が主役となり Quality of Life の向上に寄与する研究
 助成金 交付額は研究テーマ 1 件当り 100 万円を限度として内容により決定
 応募資格 教育関連機関または各種試験研究機関に所属する者またはグループ
 応募締切 平成 25 年 2 月 28 日（木）必着
 問合せ先 カワイサウンド技術・音楽振興財団事務局
 TEL [03] 3370-8277, FAX [03] 3379-1446
<http://www.sound-zaidan.com>

——ドイツ・イノベーション・アワード
「ゴットフリード・ワグネル賞 2013」——

応募資格 日本の大学・研究機関に所属する 45 歳以下の若手研究者（応募締切日時点）
 応募対象 (1) 環境・エネルギー，健康・医療，安心・安全のいずれかの分野における応用志向型の研究
 (2) 次の産業分野において，ソリューションを提示する研究：自動車・輸送機器，化学品・素材，エレクトロニクス・フォトニクス，医療機器・診断技術，バイオテクノロジー・医療品，ものづくり・製造プロセス・機械，エネルギー開発と供給技術（新エネルギーを含む）
 (3) 現在進行中の研究，または過去 2 年以内に完了した研究成果
 賞 金 最優秀賞：400 万円（1 件），優秀賞：200 万円（1 件），奨励賞：100 万円（3 件）
 副 賞 ドイツの大学・研究機関に最長 2 カ月間研究滞在するための助成金
 応募方法 電子申請システムで受け付けます。詳細は，ドイツ・イノベーション・アワードの HP を御覧下さい。
www.german-innovation-award.jp
 応募締切日 平成 24 年 12 月 9 日（日）必着
 問合せ先 ドイツ・イノベーション・アワード事務局
 TEL [03] 5276-8827
info@german-innovation-award.jp

総合版ハンドブック
「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は，会員限定β版での公開後 3 か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては，本会ホームページ（トップページ）→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または，以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



●…………… 求 人 欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部

TEL [03] 3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●帝京大学

公募人員 ラーニングテクノロジー開発室 助教1名

常勤、任期5年（任期なしへの移行も可能）

専門分野 教育学習支援情報システム、教育工学などの関連分野

応募資格 博士（Ph.D）の学位を有する、あるいは取得見込みで、上記専門分野における研究業績のある方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年12月20日（木）必着

問合せ先 ラーニングテクノロジー開発室長 渡辺博芳

TEL [028] 627-7243, hiro@ics.teikyo-u.ac.jp

●福岡工業大学

公募人員 教授、准教授または助教いずれか1名

所 属 情報工学部情報システム工学科

専門分野 数理物理

応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年12月20日（木）必着

問合せ先 情報工学部情報システム工学科教授 木室義彦

TEL [092] 606-4813（ダイヤルイン）

FAX [092] 606-0754（学科事務室）

kimuro@fit.ac.jp

●北陸先端科学技術大学院大学

公募人員 情報科学研究科 助教1名（任期付）

専門分野及び関連する主な職務 音声コミュニケーションに係る

音情報処理（音声認識・合成、音声符号化・伝送、音声生成・知覚機構モデル、波形・音場合成、音響信号処理、信号分離・同定、雑音抑圧等の研究分野）、学生の指導、人間情報処理領域の講義の一部を担当（音情報処理に関連する講義補助、ゼミ指導補助などを含む）

応募締切 平成24年12月21日（金）当日消印有効

問合せ先 情報科学研究科担当, is-dean@jaist.ac.jp

詳細 <http://www.jaist.ac.jp/jimu/syomu/koubo/index-jp3.htm>

●宇部工業高等専門学校

公募人員 制御情報工学科 助教1名

専門分野 電気・電子回路

担当科目 電気電子回路、ハードウェアを扱う実験実習など

応募資格 博士の学位を有すること（着任時までに取得見込み可）

着任時期 平成25年4月1日

応募締切 平成24年12月28日（金）必着

問合せ先 制御情報工学科長 三宅常時

TEL [0836] 35-4990, miyake@ube-k.ac.jp

詳細 <http://www.ube-k.ac.jp/>の教職員募集参照

●宮崎大学

公募人員 准教授1名

専門分野 情報ネットワーク及びその応用分野

応募締切 平成25年1月4日（金）必着

問合せ先 〒889-2192 宮崎市学園木花台西1-1

宮崎大学工学教育研究部情報システム工学科長

廿日出 勇

TEL [0985] 58-7385, hatukade@cs.miyazaki-u.ac.jp

詳細 <http://www.miyazaki-u.ac.jp/tech/events/teacher-recruit.html>

●東京学芸大学

公募人員 教育学部技術・情報科学講座 准教授または講師1名

専門分野 数理的な背景を有する情報教育

応募資格 博士の学位（着任時）、学校教育（特に小学校）と連携した研究・教育の遂行、教員免許の取得が望ましい、教育への情熱、十分な日本語能力

着任時期 平成25年10月1日

応募締切 平成25年1月10日（木）必着

問合せ先 情報科学分野主任 樋山淳雄

hazeyama@u-gakugei.ac.jp

詳細 <http://www.u-gakugei.ac.jp/jinjika/shokuin-bosyu/index.html>

●岩手大学

公募人員 電気電子・情報システム工学科（学部）フロンティア材料機能工学専攻（博士前期課程）、フロンティア物質機能工学専攻（博士後期課程）電子デバイス工学分野 教授1名

専門分野 電子デバイス工学分野（半導体デバイス、高周波デバイス、等）

公募締切 平成25年1月11日（金）必着

問合せ先 工学部電気電子・情報システム工学科教授 岡 英夫
TEL & FAX [019] 621-6389, hoka@iwate-u.ac.jp

詳細 <http://www.iwate-u.ac.jp/boshu/koubo.shtml>

●芝浦工業大学

公募人員 非常勤講師3名

専門分野 電気・電子・通信分野

応募締切 平成25年1月11日（金）必着（簡易書留）

封筒に「電子工学科非常勤講師応募書類在中」と朱書のここと。書類の返却は致しませんので御了承下さい

問合せ先 〒135-8548 江東区豊洲3-7-5

芝浦工業大学電気・電子学群電子工学科事務室

書記 橋本法子

TEL [03] 5859-8200, FAX [03] 5859-8201

i034995@ow.shibaura-it.ac.jp

●岩手県立大学

公募人員 講師1名

専門分野 ワイヤレスネットワーク、モバイルネットワーク、センサネットワーク、VANET、ネットワークセキュリティ、Webシステム、セマンティックWeb、分散データベース、分散処理、高信頼性システム等の教育

研究分野

応募締切 平成 25 年 1 月 24 日 (木) 必着
 問 合 先 〒020-0193 岩手郡滝沢村滝沢字巢子 152-52
 岩手県立大学ソフトウェア情報学部事務室
 TEL [019] 694-2500, soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp

●岩手県立大学

公募人員 准教授または講師 1 名
 専門分野 コンピュータネットワーク, メディア通信システム,
 セキュアコミュニケーション, トラスト, メディアシ
 ステム等に関連する教育研究分野
 応募締切 平成 25 年 1 月 24 日 (木) 必着
 問 合 先 〒020-0193 岩手郡滝沢村滝沢字巢子 152-52
 岩手県立大学ソフトウェア情報学部事務室
 TEL [019] 694-2500, soft-jimu@ml.iwate-pu.ac.jp

●豊田工業大学

募集人員 主担当教授 2 名 (各分野 1 名)
 専門分野 ①次世代エネルギー技術関連分野
 ②次世代計測・情報処理分野
 応募資格 博士の学位取得者 (詳細は本学 HP 参照のこと)
 採用予定日 平成 25 年度中 (あるいは, できるだけ早い時期)
 応募締切 平成 25 年 3 月 31 日 (日) 当日消印有効
 問 合 先 選考委員長 (副学長) 田中周治
 TEL [052] 809-1775, FAX [052] 809-1721
 tanaka_mat@toyota-ti.ac.jp
 詳 細 <http://www.toyota-ti.ac.jp/bosyu/index.html>

 ◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/koukoku/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 2 月号掲載分 平成 24 年 12 月 14 日 (金) 必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載して
 おります。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前
 の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

本会発行図書案内

通信ネットワークの信頼性評価技術が分かる!

実践 通信ネットワークの信頼性評価技術 ——基礎から R を用いたプログラミングまで——

船越裕介 著

A5 判上製 定価 3,360 円(税込)

通信ネットワークの信頼性の確保は、通信事業者にとって重要課題である。これは、信頼性を適切に測る技術と表裏一体の関係にある。信頼性工学はこのような分野を扱うが、従来の方法では運用中に装置台数やユーザ数が変動するという条件に対応できるとは限らないため、通信ネットワークの信頼性評価にそのまま適用することが困難な場合がある。本書では、通信ネットワークの信頼性を、フリーの統計解析ソフトウェア R を用いて評価する方法を解説している。具体的には、まず信頼性工学の概略を説明し、次いで R を用いた実際の評価方法を、サンプルコードを交えて詳細に説明する。通信ネットワークの保守運用に携わる企業の方々だけでなく、信頼性工学を学ぶ大学生にとっても格好の書である。なお、本書は通信ネットワークのみならず、広く社会基盤の信頼性評価にも応用が可能である。

《内容目次》信頼性工学／信頼性評価の基礎技術／通信ネットワークの信頼性評価／通信ネットワークの信頼性管理

〒105-0011 東京都港区芝公園 3 丁目 5 番 8 号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail : kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2 割引・送本費 500 円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

——シニア会員申請登録は

10月1日から開始しています！——

平成20年から発足しましたシニア会員制度は、日頃の会員活動を通して本会の発展に寄与する継続的活動が認められ、本会への貢献が大きい正員に対してシニア会員の称号を贈呈し、より具体的に敬意を表明するとともに、将来にわたって引き続き学会活動の中心となって、学会の発展、ひいては社会への貢献をお願いするものです。また、本制度は将来、フェロー選出の母体となる制度でもあります。

- ・申請期間：平成24年10月1日から平成25年1月31日まで
- ・推薦基準：本会に関連する技術分野に原則10年以上従事しており、本会会員として在籍累計5年以上の正員、あるいは顕著な業績・貢献が認められる正員を対象とする。
- ・申請方法：Webでの自己申請で推薦者2名が必要
- ・推薦者：名誉員、フェロー、シニア会員とするが、平成25年のシニア会員称号の贈呈までは、本会会員として在籍累計10年以上の正員を推薦者として認める。

該当の会員の皆様、是非登録申請して下さい。

会員の皆様の周りの該当の方々に、申請登録されるようお勧め下さいますようお願い致します。

申請方法等の詳細は下記URLを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/senior/index.html>

——平成25年度個人会員会費の御請求を

11月末にお送り致しました——

個人会員の皆様には平成25年度（平成25年4月～平成26年3月）会費御請求の振替用紙を会員証と併せて11月末にお送り致しました。なお、法人会員（維持員・特殊員）の御請求は平成25年4月末にお送りする予定です。何とぞよろしくお願い申し上げます。

——和文論文誌C 随時公開開始のお知らせ——

和文論文誌C 編集委員会

和文論文誌C 編集委員会では、論文投稿から掲載までの更なる迅速化を図るために、2013年1月号掲載分からオンライン版の論文の随時公開を開始することとしましたのでお知らせ致します。

採録された論文は、通常の編集組版作業を行い、掲載準備が整い次第、冊子版に先行してオンライン上で随時公開してまいります。

なお、冊子版は従来どおり毎月1回発行致します。

※本会論文誌においては、オンライン版が公開された日を公知日としておりますので御注意下さい。

——平成24年12月号及び平成25年1月号

和・英論文誌特集・小特集テーマ——

和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

12月号 [英文] *Information Theory and Its Applications
*VLSI Design and CAD Algorithms

1月号 [英文] *Cryptography and Information Security
*Wideband Systems

(通信ソサイエティ)

12月号 [英文] Coding and Coding Theory-Based Signal Processing for Wireless Communications

1月号 [英文] Network Virtualization, and Fusion Platform of Computing and Networking

(エレクトロニクスソサイエティ)

12月号 [和文] マイクロ波論文 (大学発)

1月号 [英文] Recent Progress in Electromagnetic Theory and Its Application

(情報・システムソサイエティ)

12月号 [英文] Parallel and Distributed Computing and Networking

1月号 [和文] ヒューマンコミュニケーション特集

一人にやさしい情報通信社会を実現するコミュニケーション技術——



●…………… 論文特集原稿募集 ……………●

——バイオメトリクス小特集

(和文論文誌 A) 論文募集——

バイオメトリクス小特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の小特集 (平成 25 年 12 月号) として、「バイオメトリクス」を企画しました。バイオメトリクスは、パターン認識の応用として研究開発がなされてきており、近年では、セキュリティへの応用を念頭に置いた技術開発が急激に進展しています。これに伴い、パターン認識、メディア情報処理の研究者に加え、情報セキュリティ、物理セキュリティの研究者もバイオメトリクスの研究を担っています。バイオメトリクスは、センサ、アルゴリズム、実装、システム構築、サービスまで広範にわたる技術領域に関連するため、境界領域を含む大きな研究分野を担っております。本小特集企画では、バイオメトリクスに関する理論から応用までの幅広い研究成果を集積し、最新の技術動向及び今後の技術開発の方向性を展望したいと考えています。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

以下のようなテーマの論文投稿を期待しておりますが、これらに限らず、広くバイオメトリクスに関する分野の論文の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

- ・指紋、虹彩、顔、静脈、掌紋、耳介、歩容、ジェスチャ、筆跡、声紋、マルチモーダルバイオメトリクスに関する認識・認証技術、及び、それらに関する画像信号処理・パターン認識技術
- ・テンプレート選択・更新、スマートカード実装、大規模認証、テンプレート保護、生体検知、システム設計
- ・サーベイラス、アクセスコントロール、エンターテインメント、決済などへの応用
- ・データベース、性能評価、プロトコル、ベンチマーク・標準化
- ・犯罪や災害時の個人同定

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは標準 2 ページ最大 4 ページとします。4 ページを超過しているレター原稿は受理しませんので御注意下さい。詳細は「和文論文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

- (1) 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist_j.aspx を使って投稿して下さい。ソサイエティ/特集では [特集 JA] バイオメトリクス小特集を選択して下さい。[一般 JA] 基礎・境界は選択しないで下さい。
- (2) 登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンし PDF 化したものの

メール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6692, E-mail: wabun-a@ieice.org

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 12 日 (火) 必着

投稿者チェックリスト・著作権譲渡書がこの期日までに学会事務局に届くようにして下さい。

5. 採否判定通知

著者には平成 25 年 8 月下旬までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

6. 問合せ先

伊藤康一 東北大学大学院情報科学研究科
TEL [022] 795-7169, FAX [022] 263-9308
Email: ito@aoki.ecei.tohoku.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 中西 功 (鳥取大)

編集幹事 伊藤康一 (東北大)

編集委員 今岡 仁 (NEC), 大木哲史 (早大), 梶川嘉延 (関西大), 鷺見和彦 (青学大), 高野博史 (富山県立大), 高橋健太 (日立), 西内信之 (首都大東京), 西垣正勝 (静岡大), 村松大吾 (阪大), 山崎 恭 (北九州市大)

——ワイドバンドシステム小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

ワイドバンドシステム小特集編集委員会

基礎・境界ソサイエティ英文論文誌では、平成 26 年 1 月号に、ワイドバンドシステム小特集を企画致しました。

情報通信におけるワイドバンドシステム全般に関する論文を広く募集致します。募集テーマは下記のとおりですが、特にその分野を特定するものではありませんので、多数の御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

・ワイドバンドシステム一般

グリーン通信、高速電力線伝送システム・モデリング、高速 xDSL 通信、ITS、スペクトル拡散技術、マルチキャリア技術、OFDM 技術、ウルトラワイドバンド (UWB) 技術、カオス通信、光通信、可視光通信、ソフトウェア無線技術、デジタル TV 技術、無線 LAN 技術など

・ワイドバンドシステムのための通信方式・信号処理

変復調方式、同期捕捉、同期追尾、符号、送受信装置、多重アクセス技術 (CDMA, SDMA, TDMA, FDMA, またその複合技術)、信号処理技術、モデリング、測距技術、MIMO 技術など

・ワイドバンドシステムのためのデバイス・モジュール・装置
同期回路、低消費電力化技術、モデム、アンテナ、アンプ (PA, LNA など)、LSI 設計・試作、高速動作技術など

2. 論文の執筆と取扱い、投稿方法

投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist_e.aspx で行えます。論文は刷り上がり 8 ページ、レターは 2 ページ以内を原則とします。学会ホームページ

ジの“Information for Authors”に記載された様式で原稿の準備をお願いします。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先（編集幹事）までメール添付、FAX、郵送のいずれかの手段でお送り下さい。その他の詳細は <http://www.ieice.org/eng/shiori/index.html> で閲覧できます。査読後の再提出期間（通常 60 日）を短縮する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。採録された全ての論文・レターに関して、掲載別刷代を請求致します。掲載別刷代は、<http://www.ieice.org/eng/shiori/appb.html> にて閲覧できます。

3. WBS 学生奨励賞

採録された論文の中から優れた内容のものにはワイドバンドシステム（WBS）研究専門委員会から WBS 学生奨励賞を贈呈致します。受賞論文の対象は、第一著者が学生であるものに限りません。

4. 論文投稿締切 平成 25 年 3 月 15 日（金）必着

5. 小特集編集委員会

編集委員長 佐々木重信（新潟大）

幹事 小野文枝（NICT）、藤井雅弘（宇都宮大）

編集委員 井家上哲史（明大）、伊丹 誠（東京理科大）、岩切直彦（東大）、大内浩司（静岡大）、落合秀樹（横浜国大）、片山正昭（名大）、亀田 卓（東北大）、佐藤慎一（モバイルテクノ）、齋藤将人（琉球大）、眞田幸俊（慶大）、清水昌彦（富士通研）、庄納 崇（インテル）、高橋 賢（広島市大）、滝沢賢一（NICT）、羽瀨裕真（茨城大）、浜村昌則（高知工科大）、前原文明（早大）、宮嶋照行（茨城大）、村田英一（京大）、森 香津夫（三重大）

6. 問合せ先及び送付先

WBS 研究専門委員会幹事 藤井雅弘

宇都宮大学大学院工学研究科情報システム科学専攻

〒321-8585 宇都宮市陽東 7-1-2

TEL & FAX [028] 689-7118

E-mail : fujii@is.utsunomiya-u.ac.jp

Web site : <http://www.ieice.org/~wbs/>

7. 付記

本小特集に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——知的環境を実現するセンサネットワークの 基盤と応用技術論文特集

（和文論文誌 B）論文募集——

知的環境を実現するセンサネットワークの基盤と
応用技術論文特集編集委員会

実空間に存在する人やモノ、あるいは実空間それ自体の状態をセンシングする機器同士をネットワーク化するセンサネットワークは、研究ターゲットが初期の研究段階から応用技術に向いつつあり、その実現環境も、センサ機能を搭載したタブレット端末、スマートフォンの普及や、IEEE802.15.4g/e による省電力無線デバイスの標準化により、徐々に整いつつあります。

一方、センサネットワークの応用として、センサネットワークにより得られたデータを処理・解析して、人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する知的環境が、スマートグリッド、スマートシティなどの実現に向けて注目を浴び始めています。

本特集（平成 25 年 12 月号）では、こうした背景を踏まえて、知的環境を実現するセンサネットワーク基盤技術と応用技術にフォーカスを当てております。センサネットワークの特徴・利点を生かして、知的環境を構築する際の技術課題、及びその課題を解決するためのアイデアの知見や、実際の応用例やそのキー技術などを論文として発表して頂くことにより、センサネットワークの社会活用への一例として知的環境へ貢献する優れた創意工夫を共有し、今後のセンサネットワークの発展・並びに社会活用への促進に寄与することを目的としております。

なお、本特集では、センサネットワークに携わる分野であれば、知的環境に直接関係する技術論文に限らず、その実現を支えるセンサネットワークの基礎技術の投稿も歓迎致します。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

センサネットワークに寄与する技術、それを用いて知的環境を実現する技術に関する論文を募集致します。例えば以下のような技術項目を含みます。

a. センサネットワークを支える理論に関する研究

情報理論、通信理論、信号処理、制御理論、分散処理、分散制御など

b. センサネットワークの要素技術に関する研究

フュージョン、トポロジー、リソース管理、プロトコルデザイン、無線タグ技術、無線マルチホップ技術、アドホックネットワーク技術、オートコンフィグレーション技術、モビリティサポート技術など

c. センサネットワーク・プラットフォームに関する研究

デバイス／アプライアンス技術、RFID、省電力デバイス、低電磁干渉、超小形デバイスの最適設計、制御・管理技術、基盤ソフトウェア技術、ミドルウェア技術、スマートスペース技術、サイバーフィジカルなど

d. センサネットワークと知的環境に関連する技術

センサデータベース、コンテキスト適応技術、データマイニング、位置情報技術、ストリーム処理、セキュリティ・プライバシー保護技術、ビッグデータ、学習・信号処理

e. センサネットワーク・アプリケーションに関する研究

災害救助、娯楽、環境計測、自動制御、生活支援、医療支援、コンテキスト適応型アプリケーション、位置適応型アプリケーション、実空間指向アプリケーション、ロボットなど

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 25 年 3 月 4 日（月）厳守

最終判定予定：平成 25 年 7 月下旬

発行月：平成 25 年 12 月号

4. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡

書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
E-mail: wabun-b@ieice.org, FAX [03] 3433-6616

5. 特集編集委員会

委員長 大槻知明 (慶大)
幹事 塩川茂樹 (神奈川工科大), 内田大誠 (NTT)
編集委員 岡田 啓 (名大), 若宮直紀 (阪大), 張 兵 (NICT), 松井 進 (阪工大), 森野博章 (芝浦工大), 山本尚生 (東京都市大), 梅比良正弘 (茨城大), 内藤克浩 (三重大), 五十嵐悠一 (日立), 今田美幸 (NTT)

6. 問合せ先

内田大誠 (NTT 未来ねっと研究所)
〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1
TEL [046] 859-2369, FAX [046] 855-1497
E-mail: usn-an-2013@mail.ieice.org

——サステイナブルな社会の実現に向けた ネットワーク・システム技術小特集 (英文論文誌 B) 論文募集——

サステイナブルな社会の実現に向けた ネットワーク・システム技術小特集編集委員会

近年、エネルギー、流通、医療、農業等の様々な分野で、通信ネットワークを核とした ICT 技術の社会基盤としての役割が高まっています。サステイナブル (持続可能) な社会の実現には、省エネルギーや環境への配慮、高いロバスト性等の新しい視点からの無線/有線ネットワーク技術が必要になり、Green by/of ICT, スマートグリッド, M2M (Machine-to-Machine) 通信、可視化、ロバストネス、高信頼ネットワーク等の研究開発が盛んに行われています。「サステイナブルな社会の実現に向けたネットワーク・システム技術」小特集 (平成 25 年 12 月号) では、サステイナブル社会の実現に向けたネットワーク技術及びシステム技術の提案や新発見、及びネットワーク技術を用いたサステイナブルな社会の実現・応用技術などについての論文を広く募集します。多数の方々の積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

- ・Green by/of ICT
- ・スマートグリッド
- ・データセンターのグリーン化

- ・可視化
- ・次世代・新世代ネットワークのグリーン化、高信頼化
- ・サステイナビリティを考慮したネットワーク技術、システム技術
- ・サステイナブルな社会実現に向けたネットワーク・アプリケーション技術
- ・M2M (Machine-to-Machine)
- ・省電力ルータ
- ・ネットワーク仮想化
- ・ロバストネス、耐故障性
- ・センサネットワーク
- ・有線・無線ネットワーク機器グリーン化
- ・SDN (Software-Defined Network)
- ・高信頼ネットワーク

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とし、原則として刷り上がり 8 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。なお登録時には必ず “Type of Section (Issue)/Transactions” で “[Special-EB] Network and System Technologies for Sustainable Society” を選択して下さい。[Regular-EB] を選択しないで下さい。

手順 2: 印刷した “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” 及び “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” にサインをしたものを、論文投稿締切日である平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着で以下の書類送付先に到着するように、メール、FAX、または郵送にて送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 14 日 (木) 必着

5. 書類送付先及び問合せ先

萬代雅希 上智大学理工学部情報理工学科
〒102-8554 千代田区紀尾井町 7-1
TEL & FAX [03] 3238-3272
E-mail: ns-ss2013-kanji@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 漆谷重雄 (NII)
幹事 橘 拓至 (福井大), 萬代雅希 (上智大)
委員 荒川 豊 (九大), 伊瀬恒太郎 (東芝), 内田真人 (千葉工大), 大木英司 (電通大), 太田 能 (神戸大), 上山憲昭 (NTT), 中内清秀 (NICT), 長谷川 剛 (阪大), 藤田範人 (NEC)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。郵送の場合にも締切日に間に合うようにして下さい。
- * 論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——情報通信分野における新しい情報 ネットワーク科学の展開小特集

(英文論文誌 B) 論文募集——

情報通信分野における新しい情報ネットワーク 科学の展開小特集編集委員会

情報ネットワークは、私たちの生活や社会を支える最重要技術として目覚ましい発展を遂げてきました。特に最近では、持続発展可能な社会を支えるインフラ技術としてなお一層の高度な要求に対応すべく、量的にも質的にも更なる飛躍が期待されています。しかし、現在の情報ネットワークは、個別の問題を解決する技術を組み合わせたパッチワーク的なアプローチによって成り立っており、背後にあるべき体系立てられた科学的な理論が欠けています。このようなアプローチを続ける限り、大規模化及び多様化に伴って増すネットワークの複雑さの前に、いずれ我々はなすすべを失ってしまうことが危惧されます。そこで、情報ネットワークを理論的に体系化し、発展させることを大きな目標として、既存のいわゆる情報通信工学を新たな観点から体系付けるような理論や技術に関する研究成果を募集致します。また、情報通信工学やその周辺分野に限らず、異種分野からの接近、数理・物理に基づく理論、生物システムの応用、計算機科学・応用数学を用いた分析など、多様な視座からのアプローチも対象と致します。以上のように、今後の情報通信分野における情報ネットワーク科学の一層の促進を目的として、本小特集(平成25年11月号掲載予定)を企画致します。

1. 対象分野

情報通信分野における新しい情報ネットワーク科学の展開に関する以下の分野を対象とします。

- ・新しい情報ネットワーク科学を開拓する試み
- ・複雑システムとしての情報ネットワークに関する理論、設計概念と応用
- ・自律分散ネットワーク・自己組織化ネットワークの理論と応用
- ・Internet of Things (IoT) のような超大規模システムを扱う新しい理論と応用
- ・情報ネットワークのための新しいモデリング、評価指標、評価分析手法
- ・ネットワークコーディングなどネットワーク情報理論とその応用
- ・光・量子等の先進物理原理と情報ネットワークへの展開
- ・自然界の仕組みに学ぶ情報ネットワークの基礎理論
- ・ソーシャルネットワークとしての情報ネットワークに関する新しい理論と応用
- ・ネットワーク科学の知見に基づく新たな物理システム、具現化のための物理デバイス
- ・情報通信のための新しいエネルギー基礎理論
- ・計算機科学や応用数学に基づく新しいネットワーク分析手法

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、刷り上がり8ページを標準とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。レターの投稿は受け付けておりません。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿

下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx より登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で “[Special-EB] Progress in Information Network Science” を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が受け付けられないことがあります。

4. 論文投稿締切日 平成25年3月15日(金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

井上 武 (独) 科学技術振興機構 ERATO 湊離散構造処理系プロジェクト

〒060-0814 札幌市北区北14条西9丁目

北海道大学情報科学研究科工学系 C306

TEL [011] 728-8280, FAX [011] 728-8277

E-mail: netsci-ss@mail.ieice.org

6. 小特集編集委員会

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

幹事 井上 武 (JST), 久保 健 (KDDI 研)

委員 浅井哲也 (北大), 石田賢治 (広島市大), 内田真人 (千葉工大), 大久保 潤 (京大), 加美伸治 (NEC), 中村 元 (KDDI), 成瀬 誠 (NICT), 長谷川幹雄 (東京理科大), 原井洋明 (NICT), 巳波弘佳 (関西学院大), 村山立人 (NTT), 若宮直紀 (阪大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——電子ディスプレイ小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

電子ディスプレイ小特集編集委員会

情報ネットワーク技術が次世代の基幹産業になると予測されており、それを実現するヒューマンインタフェースとして、電子ディスプレイの果たす役割はますます大きくなっています。その電子ディスプレイの原理や用途は、極めて多彩であり、また構成部材も多様性に富んでいます。現在も各種ディスプレイ技術を進展させるため、材料からシステムに至るまで幅広い研究・開発が精力的に続けられています。

今回、電子ディスプレイ分野の一層の発展を期して、小特集(平成25年11月号)を企画しました。多数の方々の積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

- ・フレキシブル、電子ペーパー、三次元、無機/有機 EL、電界放出、プラズマ、投射形、液晶、CRT などを用いたディスプレイ技術
- ・携帯用、テレビ用、デジタルサイネージ用、高臨場感用などのディスプレイシステム
- ・電子ディスプレイの基礎となる科学・技術全般
- ・ディスプレイ用材料及び部品（タッチパネル等の入力デバイスを含む）
- ・ディスプレイ作製方法、パネル製造・量産装置、測定装置、検査装置
- ・ディスプレイシステムの駆動回路、画像処理技術
- ・ディスプレイに関わる評価技術、人間工学、応用システム

2. 論文の執筆と取扱い

- ・本小特集では、フルペーパーとブリーフペーパーの種別のみ受け付けます。フルペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内、ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。執筆の詳細については、Information for Authors: http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html を御参照下さい。
- ・一般の会議 Proceedings と比べて頁数制限が緩和されています。より一般的な研究者を対象として、詳細な記述になるよう御配慮下さい。
- ・本小特集では原著論文のみ受け付けますので、それを踏まえて原稿作成をお願い致します。（レビュー論文やサーベイ論文は受け付けません。）
- ・採録論文が小特集の予定件数を越えた場合、一般論文として掲載される場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。
- ・本小特集への論文投稿については、下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EC] Electronic Displays を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement)、仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの関係書類がないと査読手続きが開始されません。

4. 書類送付先及び問合せ先

藤田悦昌

シャープ株式会社研究開発本部材料・デバイス技術研究所第二研究室

〒277-0005 柏市柏 273-1

TEL [04] 7135-6215, FAX [04] 7135-6296

E-mail: fujita.yoshimasa@sharp.co.jp

(学会事務局への関係書類の送付は不要です)

5. 論文投稿締切日 平成 25 年 2 月 22 日 (金) 必着

6. 電子ディスプレイ小特集編集委員会

編集委員長 服部励治 (九大)

編集幹事 藤田悦昌 (シャープ), 新田博幸 (ジャパンディ

スプレイースト)

編集委員 志賀智一 (電通大), 小南裕子 (静岡大), 伊達宗和 (NTT コムウェア), 山口雅浩 (東工大), 山口留美子 (秋田大), 山口 一 (東芝), 小澤史朗 (NTT), 中田 充 (NHK)

7. 付記

* 招待論文を含め論文採録の場合には、掲載別刷代が必要となりますのであらかじめ御了承下さい。

* 投稿に際しては著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし、招待論文に関しては、この限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けませんこととなりますので御注意下さい。

* 入会の案内は、<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

——情報ストレージのための最新要素技術小特集

(英文論文誌 C) 論文募集——

情報ストレージのための最新要素技術
小特集編集委員会

HDDはその誕生以来、多くのアプリケーションやコンテンツのデジタル保存に貢献してきており、現在の情報ストレージにおいては他に置き換えることのできないデバイスとなりました。今後も、用途の拡大が予想されること、また、エネルギー省力化の観点からも、高記録密度化への期待が従来以上に高くなるものと予想されます。しかしながら更なる高密度化達成のためには、熱安定性やSN比、記録能力の両立という難題に直面しており、それを克服する技術の確立が急務となります。そこで、今後の情報ストレージに関する最新動向の把握と、研究開発の一層の促進を目的として、本小特集 (2013年12月号) を企画致します。

1. 対象分野

情報ストレージに関する以下の分野を対象とします。

- 磁気記録媒体
- 記録・再生ヘッド
- 熱アシスト磁気記録
- ビットパターン媒体
- マイクロ波アシスト磁気記録
- 瓦記録
- ホログラムメモリ
- 光体積記録
- 信号処理方式
- スピントロニクス技術
- 観察・測定技術
- コンピュータシミュレーション技術
- その他関連技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、フルペーパーは原則として刷り上がり8ページ以内とします。標準ページ数を越えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。ブリーフペーパーは4ページ以内（厳守）とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は60日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word), 図, 著者の写真, biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で “[Special-EC] Advanced Elementary Technologies for Information Storage” を選択して下さい。“[Regular-EC] Electronics”を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付, FAX, 郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 3 月 25 日 (月) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

三浦健司

岩手大学工学部電気電子・情報システム工学科

〒020-8551 盛岡市上田 4-3-5

TEL & FAX [019] 621-6458

E-mail: kmiura@iwate-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 中川茂樹 (東工大)

幹事 三浦健司 (岩手大), 杉田龍二 (茨城大), 吉田和悦 (工学院大)

委員 遠藤哲郎 (東北大), 五十嵐万壽和 (日立), 高岸雅幸 (東芝), 仲村泰明 (愛媛大), 山川清志 (秋田産業技術センター), 小出大一 (NHK), 山本 学 (東京理科大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本学会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——ヒューマンコミュニケーション

～価値ある生活環境構築のための情報技術～

特集 (和文論文誌 D) 論文募集——

ヒューマンコミュニケーション特集編集委員会

情報通信技術 (ICT) は急速に発展, 普及し, 我々の日常生活に欠かすことのできないものとなっています。この ICT の発展は, 日常生活と密接に関係している医療福祉や環境保全などの情報インフラ構築に恩恵をもたらしています。少子高齢化, 省エネ, ヘルスケアが目目されている現代において, この状況を生かし, 社会及び個人にとってより価値の高い生活環境を構築するための利用現場の声も反映した情報技術の研究が望まれています。

論文特集原稿募集

ヒューマンコミュニケーションの研究のカバーする分野は幅広く, 人間の感覚・心理から, 福祉, 医療など日常生活に密着した技術, 更に, マルチメディア・仮想環境から, ICT 倫理まで様々です。

このような幅広い分野を横断的に議論する必要性から, ヒューマンコミュニケーショングループでは, これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として, 和文論文誌 D (平成 26 年 1 月号) にて特集を企画致します。本特集では, 人間の知覚, 認知, メディア処理, 人工現実感などを用いた情報環境構築のための基礎技術, 及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。ヒューマンコミュニケーションの視点から様々な技術を統一的に俯瞰することで, 価値ある生活環境構築を実現するための議論となることを期待します。幅広い分野からの多数の方々からの積極的な御投稿を期待します。

1. 対象分野

- ・ヒューマンコミュニケーション基礎
- ・ヒューマン情報処理
- ・マルチメディア
- ・仮想環境基礎
- ・福祉情報工学
- ・Web インテリジェンスとインタラクション
- ・先端医科学技術
- ・発達障害支援
- ・ヒューマンプロンプト
- ・バーバル・ノンバーバルコミュニケーション
- ・料理メディア
- ・人間と ICT 倫理
- ・未来世代から見たコミュニケーション科学の魅力と学習意欲向上
- ・その他ヒューマンコミュニケーション全般

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とします。原則として, 論文は刷り上がり 8 ページ以内, レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると, 掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間 (通常は 60 日間) が短縮される場合があること, また, 採録論文数が多い場合には, 一般論文として掲載される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

投稿は, 本会電子投稿システム (https://review.ieice.org/regist_j.aspx) による電子投稿 (PDF ファイル) のみと致します。印刷物及びメールでの投稿は受け付けません。なお, 上記 Web での登録の際, “ソサイエティ/特集” は “[JD] ヒューマンコミュニケーション特集” を選択して下さい。“[一般 JD] 情報・システム” や他の特集を選択されませんよう御注意下さい。仮登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【送付先】

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

FAX [03] 3433-6616, E-mail: wabun-dl@ieice.org

※郵送時は, 封筒に「ヒューマンコミュニケーション特集」を朱記して下さい。

4. 投稿締切日 平成 25 年 3 月 28 日 (木) 厳守

5. 特集編集委員会

委員長 川原靖弘 (放送大)
副委員長 飯塚重善 (神奈川大)
幹事 安藤英由樹 (阪大), 和田親宗 (九工大)
委員 伊藤京子 (阪大), 伊藤昌毅 (鳥取大), 遠藤 守 (中京大), 行場次朗 (東北大), 繁榊博昭 (高知工科大), 原澤賢充 (NHK), 平山高嗣 (名大), 廣富哲也 (島根大), 坊垣友美 (愛知医科大), 前田義信 (新潟大), 矢野博明 (筑波大), 山肩洋子 (京大), 渡辺昌洋 (NTT)

6. 問合せ先

編集幹事 安藤英由樹 大阪大学
TEL [06] 6879-7830 E-mail: hide@ist.osaka-u.ac.jp

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。
* 論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
* 投稿に際して、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、受け付けませんこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。(<<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>>)

本会発行図書案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス、フォトリソグラフィをはじめ種々の光技術は、今や社会を支える上でなくてはならない基盤技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し、光波利用の新しい着想を得たり、技術分野を切り開いていく上で、光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが、極めて重要である。

本書ではその基礎として、光波を電磁波として捉え、マクスウェルの方程式を土台に、平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には、電気系の大学卒業程度の知識を前提とし、大学院学生、あるいは、技術分野で活躍する社会人が、これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波／平面波の反射と透過／多層構造における反射と透過／フーリエ解析／応答とスペクトル／光波と媒質／複屈折／回折／ビーム波／光導波現象、導波モード／放射モード、その他のモード／種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

会誌 DVD 第 2 版「学会誌 90 年の歩み」好評発売中 ——創刊号から平成 19 年 12 月号までの記事を集約——

平成 17 年 2 月に販売した会誌 DVD に引き続き、現在会誌 DVD 第 2 版を好評発売中です。

今回の DVD は、前回のものから平成 17 年 1 月号以降の 3 年間分を追加した「創刊号から平成 19 年 12 月号までの会誌記事」と本会の「50 年史」、「75 年史」を DVD 2 枚組みにして収録し、1976 年以降のものは全文検索ができます。

期間限定の割引価格にて販売しておりますので、この機会にぜひお申し込み頂きたく御案内申し上げます。
なお、前回の DVD を御購入頂いている会員の方には、特別価格で販売しておりますのでお申し出下さい。

◎ 期間限定割引価格

個人会員	10,000 円 (定価 12,000 円)
個人非会員	30,000 円 (定価 50,000 円)
企業・図書館等	50,000 円 (定価 80,000 円)

下記の申込書をコピーの上、郵送またはファクシミリにて本会宛お送り下さい。



..... キ リ ト リ

会誌 DVD 第 2 版購入申込書 (この用紙をコピーの上、郵送または FAX して下さい。)

※ FAX の誤送信に御注意下さい。

- (1) 会誌 DVD 第 2 版 (DVD 2 枚組み) _____ 組を申し込みます。
- (2) 必要書類 ・ 本会書式の請求書 _____ 通, 見積書 _____ 通, 納品書 _____ 通が必要
(書類は現品に同封してお送り致します)
・ 請求関係書類の記載名義 _____
- (3) 該当箇所の にチェックして下さい。
 個人会員 (会員番号 _____) 個人非会員 企業・図書館等
- (4) 送付先 ・ 住 所 _____

* 部課名, 研究室名, アパート名等まで御記入願います。
・ 氏 名 _____
- (5) 連絡先 TEL : _____ E-mail : _____

申込み先 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
一般社団法人電子情報通信学会会員サービス部会員課
FAX [03] 3433-6659 TEL [03] 3433-6691 E-mail : kaiin@ieice.org

IEICE Communications Express (ComEX)

投稿のご案内

IEICE Communications Express 編集委員会

通信ソサイエティでは、2012年6月にWebを用いたオンライン英文レター誌 IEICE Communications Express (ComEX)を創刊致しました。査読付き原著論文のオンラインジャーナルで、下記の特徴を有します。

- Webを用いた論文公開により世界中の読者へ発信可能
- 動画等のマルチメディアコンテンツの掲載が可能
- 迅速な論文公開(目標:投稿受付から約1ヵ月での掲載)

2013年5月31日までに投稿されますと**掲載料が半額になるキャンペーン**を実施しております。この機会に、是非、速報性の高いComEXへの論文投稿を御検討下さい。

○ 対象分野

基礎、光、ネットワーク、無線、無線システム、マルチメディアシステムなど、通信ソサイエティ英文論文誌と同一分野

詳細は、下記 URL をご参照下さい。

<http://www.comex.ieice.org/>

○ 問合せ先

一般社団法人 電子情報通信学会 編集出版部 (comex@ieice.org)

IEICE Communications Express 編集委員会 (2012年10月1日現在)

編集委員長: 菊間信良(名工大)

編集副委員長: 山田寛喜(新潟大), 太田能(神戸大)

編集委員: 大槻知明(慶大), 上山憲昭(NTT), 関口高志(三菱電機),
関屋大雄(千葉大), 関谷勇司(東大), 太郎丸真(福岡大),
長谷川幹雄(東京理科大), 原井洋明(NICT), 萬代雅希(上智大),
藤元美俊(福井大), 松本隆太郎(東工大), 米永一茂(NTT),
Jian Yang(清華大)

アドバイザーメンバ(国内):

青山友紀(慶大), 井上友二(トヨタIT開発センター), 酒井善則(放送大),
吉田進(京大)

アドバイザーメンバ(海外):

Vijay K. Bhargava (The University of British Columbia, Canada) ,
Nevil Brownlee (The University of Auckland, New Zealand) ,
Serge Fdida (Pierre and Marie Curie University, France) ,
Lajos Hanzo (University of Southampton, UK) ,
Jim Kurose (University of Massachusetts, USA) ,
Kyeong-Sik Min (Korea Maritime University, Korea) ,
Toshio Morioka (Technical University of Denmark, Denmark) ,
Theodore S. Rappaport (New York University, USA) ,
Raymond Wai-Ho Yeung (The Chinese University of Hong Kong, China)